

大学番号：065

注3

[令和2年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

広島大学 大学院人間社会科学研究科
人文社会科学専攻，教育科学専攻，
教職開発専攻，実務法学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人広島大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

財務・総務室財務・総務部総務グループ

職名・氏名 ジュニン キタ ヨウコ
主任・北 陽子

電話番号 082-424-6014

（夜間） 082-424-6014

F A X 082-424-6020

e-mail soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院人間社会科学研究科

＜人文社会科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	127
7. その他全般的事項	129

＜教育科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	133
2. 授業科目の概要	139
3. 施設・設備の整備状況、経費	153
4. 既設大学等の状況	155
5. 教員組織の状況	161
6. 附帯事項等に対する履行状況等	223
7. その他全般的事項	225

＜教職開発専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	229
2. 授業科目の概要	233
3. 施設・設備の整備状況、経費	239
4. 既設大学等の状況	241
5. 教員組織の状況	247
6. 附帯事項等に対する履行状況等	271
7. その他全般的事項	273

＜実務法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	277
2. 授業科目の概要	281
3. 施設・設備の整備状況、経費	287
4. 既設大学等の状況	289
5. 教員組織の状況	295
6. 附帯事項等に対する履行状況等	311
7. その他全般的事項	313

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-0046

広島県東広島市鏡山一丁目2番3号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(コバヤシ シンイチ) 小林 信一 (令和2年4月)		
専攻長	(エガシラ ダイゾウ) 江頭 大藏 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間社会科学研究科 人文社会科学専攻	文学関係	年	人	年次 人	人	総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部
(博士課程前期) 修士（文学）	法学関係	2	257	—	514	
修士（心理学）	社会学・社会 福祉学関係					
修士（法学）						
修士（経済学）	経済学関係					
修士（経営学）						
修士（マネジメント）						
修士（国際協力学）						
修士（学術）						
(博士課程後期) 博士（文学）		3	85	—	255	
博士（心理学）						
博士（法学）						
博士（経済学）						
博士（経営学）						
博士（マネジメント）						
博士（国際協力学）						
博士（学術）						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻(博士課程前期)>

区分	対象年度 令和2年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	257 (-) [-]		() () []		0.59倍	1倍	令和2年度 春季入学 者数に、 新型コロナ ウイルス感 染症に対 応として 入学時期 を変更し た入学 者14名は 含まない。 (2)
志願者数	310 (-) [198]	() () []	() () []				
受験者数	302 (-) [193]	() () []	() () []				
合格者数	178 (-) [111]	() () []	() () []				
B 入学者数	154 (-) [90]	() () []	() () []				
入学定員超過率 B/A	0.59						

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻(博士課程後期)>

区分	対象年度 令和2年度		令和 年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	85 (-) [-]		() () []		() () []		0.54倍	1倍	
志願者数	52 (-) [21]	() () []	() () []	() () []	() () []				
受験者数	51 (-) [21]	() () []	() () []	() () []	() () []				
合格者数	47 (-) [19]	() () []	() () []	() () []	() () []				
B 入学者数	46 (-) [19]	() () []	() () []	() () []	() () []				
入学定員超過率 B/A	0.54								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻 (博士課程前期)>

対象年度 学 年	令和2年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	154 [90] (-)	[] ()	[] ()	[] ()							
2年次	/		[] ()	[] ()							
3年次			/								
4年次	/										
計			154 [90] (-)		[] ()						

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻 (博士課程後期)>

対象年度 学 年	令和2年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	46 [19] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
3年次			/				[] ()	[] ()			
4年次	/										
計			46 [19] (-)		[] ()						

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻(博士課程前期)>

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	154 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{154} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況
 <人間社会科学研究科 人文社会科学専攻(博士課程後期)>

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	46人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
プログラム専門科目	日本中世資料解析論A	1・2前	2		1						
	日本中世資料解析論B	1・2後	2		1						
	日本中世社会文化研究A	1・2前	2		1						
	日本中世社会文化研究B	1・2後	2		1						
	日本近世資料解析論A	1・2前	2		1						
	日本近世資料解析論B	1・2後	2		1						
	日本近世社会文化研究A	1・2前	2		1						
	日本近世社会文化研究B	1・2後	2		1						
	日本近代資料解析論A	1・2前	2			1					
	日本近代資料解析論B	1・2後	2			1					
	日本近代社会文化研究A	1・2前	2			1					
	日本近代社会文化研究B	1・2後	2			1					
	日本社会文化史特論	1・2前	2		2						
	アジア歴史文化論A	1・2②	2		1						
	アジア歴史文化論B	1・2②	2		1						
	アジア社会史史料研究A	1・2①	2		1						
	アジア社会史史料研究B	1・2③	2		1						
	アジア政治史史料研究A	1・2①	2		1						
	アジア政治史史料研究B	1・2③	2		1						
	アジア地域史研究A	1・2①	2		1						
	アジア地域史研究B	1・2①	2		1						
	アジア地域文化論A	1・2①	2			1					
	アジア地域文化論B	1・2①	2			1					
	アジア交流史史料研究A	1・2②	2			1					
	アジア交流史史料研究B	1・2④	2			1					
	中国制度史史料講義A	1・2③	2			1					
	中国制度史史料講義B	1・2③	2			1					
	中国経済史史料研究A	1・2②	2		1						
	中国経済史史料研究B	1・2④	2		1						
	中国政治史史料講義A	1・2③	2		1						
	中国政治史史料講義B	1・2③	2		1						
	中国文化史史料研究A	1・2②	2			1					
	中国文化史史料研究B	1・2④	2			1					
	中国社会史史料研究A	1・2②	2		1						
	中国社会史史料研究B	1・2④	2		1						
	アジア歴史社会論A	1・2④	2		1						
	アジア歴史社会論B	1・2④	2		1						
	近代国家論研究	1・2後	2		1						
	欧米社会構造論研究	1・2前	2		1						
	欧米政治文化史史料研究A	1・2前	2		1						
	欧米政治文化史史料研究B	1・2後	2		1						
	欧米社会経済史史料研究A	1・2前	2		1						
	欧米社会経済史史料研究B	1・2後	2		1						
	欧米社会経済史史料研究C	1・2前	2		1						
	欧米社会経済史史料研究D	1・2後	2		1						
	西洋社会史文書研究A	1・2前	2			1					
西洋社会史文書研究B	1・2後	2			1						
西洋文化史文書研究A	1・2前	2			1						
西洋文化史文書研究B	1・2後	2			1						
地中海世界史研究A	1・2前	2		1							
地中海世界史研究B	1・2後	2		1							
地中海文書解析学A	1・2前	2		1							
地中海文書解析学B	1・2後	2		1							
日本古典文学注釈研究A	1・2前	2		1							
日本古典文学注釈研究B	1・2後	2		1							
日本古典文学注釈研究C	1・2前	2		1							
日本古典文学注釈研究D	1・2後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
プログラム専門科目	日本中世資料解析論A	1・2前	2		1						
	日本中世資料解析論B	1・2後	2		1						
	日本中世社会文化研究A	1・2前	2		1						
	日本中世社会文化研究B	1・2後	2		1						
	日本近世資料解析論A	1・2前	2		1						
	日本近世資料解析論B	1・2後	2		1						
	日本近世社会文化研究A	1・2前	2		1						
	日本近世社会文化研究B	1・2後	2		1						
	日本近代資料解析論A	1・2前	2			1					
	日本近代資料解析論B	1・2後	2			1					
	日本近代社会文化研究A	1・2前	2			1					
	日本近代社会文化研究B	1・2後	2			1					
	日本社会文化史特論	1・2前	2		2						
	アジア歴史文化論A	1・2②	2		1						
	アジア歴史文化論B	1・2②	2		1						
	アジア社会史史料研究A	1・2①	2		1						
	アジア社会史史料研究B	1・2③	2		1						
	アジア政治史史料研究A	1・2①	2		1						
	アジア政治史史料研究B	1・2③	2		1						
	アジア地域史研究A	1・2①	2		1						
	アジア地域史研究B	1・2①	2		1						
	アジア地域文化論A	1・2①	2			1					
	アジア地域文化論B	1・2①	2			1					
	アジア交流史史料研究A	1・2②	2			1					
	アジア交流史史料研究B	1・2④	2			1					
	中国制度史史料講義A	1・2③	2			1					
	中国制度史史料講義B	1・2③	2			1					
	中国経済史史料研究A	1・2②	2		1						
	中国経済史史料研究B	1・2④	2		1						
	中国政治史史料講義A	1・2③	2		1						
	中国政治史史料講義B	1・2③	2		1						
	中国文化史史料研究A	1・2②	2			1					
	中国文化史史料研究B	1・2④	2			1					
	中国社会史史料研究A	1・2②	2		1						
	中国社会史史料研究B	1・2④	2		1						
	アジア歴史社会論A	1・2④	2		1						
	アジア歴史社会論B	1・2④	2		1						
	近代国家論研究	1・2後	2		1						
	欧米社会構造論研究	1・2前	2		1						
	欧米政治文化史史料研究A	1・2①	2		1						
	欧米政治文化史史料研究B	1・2①	2		1						
	欧米社会経済史史料研究A	1・2①	2		1						
	欧米社会経済史史料研究B	1・2③	2		1						
	欧米社会経済史史料研究C	1・2④	2		1						
	欧米社会経済史史料研究D	1・2④	2		1						
	西洋社会史文書研究A	1・2①	2			1					
西洋社会史文書研究B	1・2②	2			1						
西洋文化史文書研究A	1・2③	2			1						
西洋文化史文書研究B	1・2④	2			1						
地中海世界史研究A	1・2①	2		1							
地中海世界史研究B	1・2③	2		1							
地中海文書解析学A	1・2①	2		1							
地中海文書解析学B	1・2③	2		1							
日本古典文学注釈研究A	1・2前	2		1							
日本古典文学注釈研究B	1・2後	2		1							
日本古典文学注釈研究C	1・2前	2		1							
日本古典文学注釈研究D	1・2後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
人文 学 プ ロ グ ラ ム	自然地理学基礎論演習B	1・2前		2				1				
	自然地理学特論演習A	1・2前		2			1					
	自然地理学特論演習B	1・2前		2			1					
	地表変動論演習A	1・2後		2			1					
	地表変動論演習B	1・2後		2			1					
	自然地域形成論演習A	1・2後		2			1					
	自然地域形成論演習B	1・2後		2			1					
	自然地域システム論研究	1・2前		2			1					
	地表変動論研究	1・2後		2				1				
	地理情報システム学講義	1・2①		2				1				
	地理情報システム学演習	1・2④		2				1				
	地理学研究法A	1・2前		2			2					
	地理学研究法B	1・2後		2			2					
	地理学野外実験	1・2前		1		2	2					
	地理学野外演習	1・2後		2		2	2					
	日本考古学解析A	1・2①		2		2	1					
	日本考古学解析B	1・2①		2		1						
	アジア考古学解析	1・2後		2		1						
	日本考古学特論	1・2後		2		1						
	世界考古学解析A	1・2④		2			1					
	世界考古学解析B	1・2④		2			1					
	考古学広領域講義	1・2後		2		1						
	考古文献評論A	1・2②		2		1						
	考古文献評論B	1・2②		2		1						
	考古資料評論	1・2③		2		1						
	アジア比較考古学演習A	1・2③		2		1	1					
	アジア比較考古学演習B	1・2③		2		1						
	考古学資料実習A	1・2①		1		2	1					
	考古学資料実習B	1・2④		1		2	1					
	考古学資料実習C	1・2①		1		2	1					
	総合文化財研究法 I	1・2後		2		1						
	総合文化財研究法 II	1・2後		2		1						
	総合文化財調査実習 I	1・2前		1		1						
	総合文化財調査実習 II	1・2後		1		1						
	総合文化財解析演習 I	1・2前		2		1						
	総合文化財解析演習 II	1・2後		2		1						
	有形文化財研究法 I	1・2前		2		1						
	有形文化財研究法 II	1・2前		2		1						
有形文化財解析演習 I	1・2前		2		1							
有形文化財解析演習 II	1・2後		2		1							
有形文化財調査実習 I	1・2前		1		1							
有形文化財調査実習 II	1・2後		1		1							
文化財学特殊講義 I	1・2後		2								兼1	
文化財学特殊講義 II	1・2後		2								兼1	
小計 (359科目)			0	708	0	32	22	0	5	0	兼6	
心理 学 プ ロ グ ラ ム	心理学研究法基礎演習A	1②		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法基礎演習B	1④		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法応用演習A	2②		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法応用演習B	2④		1		6	4	1	1		兼1	
	Academic writing in psychology A	1①		1		6	4	1	1		兼1	
	Academic writing in psychology B	1③		1		6	4	1	1		兼1	
	Advanced academic writing in psychology A	2①		1		6	4	1	1		兼1	
	Advanced academic writing in psychology B	2③		1		6	4	1	1		兼1	
	臨床心理学特講 I	1①		2		1	2					兼1
	心理学特講A	1~2前		2		6	4	1	1		兼1	
	心理学特講B	1~2後		2		6	4	1	1		兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
人文 学 プ ロ グ ラ ム	自然地理学基礎論演習B	1・2前		2				1				
	自然地理学特論演習A	1・2前		2				1				
	自然地理学特論演習B	1・2前		2				1				
	地表変動論演習A	1・2後		2				1				
	地表変動論演習B	1・2後		2				1				
	自然地域形成論演習A	1・2後		2				1				
	自然地域形成論演習B	1・2後		2				1				
	自然地域システム論研究	1・2前		2				1				
	地表変動論研究	1・2後		2				1				
	地理情報システム学講義	1・2①		2				1				
	地理情報システム学演習	1・2④		2				1				
	地理学研究法A	1・2前		2			2					1
	地理学研究法B	1・2後		2			2					1
	地理学野外実験	1・2前		1		2	2					
	地理学野外演習	1・2後		2		2	2					
	日本考古学解析A	1・2①		2		2	1					
	日本考古学解析B	1・2①		2		1						
	アジア考古学解析	1・2後		2		1						
	日本考古学特論	1・2後		2		1						
	世界考古学解析A	1・2④		2			1					
	世界考古学解析B	1・2④		2			1					
	考古学広領域講義	1・2②		2		1						
	考古文献評論A	1・2②		2		1						
	考古文献評論B	1・2②		2		1						
	考古資料評論	1・2③		2		1						
	アジア比較考古学演習A	1・2③		2		1	1					
	アジア比較考古学演習B	1・2③		2		1						
	考古学資料実習A	1・2②		1		2	1					
	考古学資料実習B	1・2④		1		2	1					
	考古学資料実習C	1・2①		1		2	1					
	総合文化財研究法 I	1・2④		2		1						
	総合文化財研究法 II	1・2後		2		1						
	総合文化財調査実習 I	1・2前		1		1						
	総合文化財調査実習 II	1・2後		1		1						
	総合文化財解析演習 I	1・2②		2		1						
	総合文化財解析演習 II	1・2④		2		1						
	有形文化財研究法 I	1・2前		2		1						
	有形文化財研究法 II	1・2前		2		1						
有形文化財解析演習 I	1・2前		2		1							
有形文化財解析演習 II	1・2後		2		1							
有形文化財調査実習 I	1・2前		1		1							
有形文化財調査実習 II	1・2後		1		1							
地域文化財研究法 I	1・2前		2								1	
地域文化財研究法 II	1・2前		2								1	
地域文化財解析演習 I	1・2前		2								1	
地域文化財解析演習 II	1・2後		2								1	
地域文化財調査実習 I	1・2前		1								1	
地域文化財調査実習 II	1・2後		1								1	
文化財学特殊講義 I	1・2後		2								兼1	
文化財学特殊講義 II	1・2後		2								兼1	
小計 (365科目)			0	718	0	33	19	0	8	0	兼15	
心理 学 プ ロ グ ラ ム	心理学研究法基礎演習A	1②		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法基礎演習B	1④		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法応用演習A	2②		1		6	4	1	1		兼1	
	心理学研究法応用演習B	2④		1		6	4	1	1		兼1	
	Academic writing in psychology A	1①		1		6	4	1	1		兼1	
	Academic writing in psychology B	1③		1		6	4	1	1		兼1	
	Advanced academic writing in psychology A	2①		1		6	4	1	1		兼1	
	Advanced academic writing in psychology B	2③		1		6	4	1	1		兼1	
	臨床心理学特講 I	1①		2		1	2					3
	心理学特講A	1~2前		2		6	4	1	1			2
	心理学特講B	1~2後		2		6	4	1	1			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合科学プログラム	認知科学論	1・2①	2			1	2					兼1
	比較認知論	1・2④	2			1	2					
	環境行動論	1・2①	2			1						
	適応行動論	1・2②	2			1	1					
	社会行動論	1・2③	2			1	1					
	BCM (Business Community Management)	1・2後		2								兼1
	現代哲学	1・2②	2				1					兼1
	美的感性論	1・2②	2			1	1					
	文化哲学	1・2③	2				1					兼1
	比較芸術論	1・2②	2			1	1					
	実践倫理学	1・2④	2				1					兼1
	比較宗教思想史	1・2③	2				2					
	マイノリティ文化思想	1・2③	2				2					
	日本地域研究	1・2②	2				2					
	日本文藝社会研究	1・2①	2				2					
	アジア文化論(現代文化)	1・2③	2				2					
	アジア文化論(表象文化)	1・2④	2			1	1					
	アジア文化論(伝統文化)	1・2②	2			1	1					
	ヨーロッパ社会論	1・2①	2			1		1				
	ヨーロッパ文化論	1・2④	2			1		1				
	欧米地域研究	1・2②	2				2					
	アジア地域研究	1・2①	2			2						
	英米社会論(国際関係)	1・2②	2									兼1
	ヒロシマ平和学	1・2③	2			2						
	英米文化論	1・2③	2				2					
	英米文藝社会研究	1・2①	2				2					
	宗教学	1・2③	2			1	1					
	宗教聖典論	1・2④	2			1	1					
	社会人類学	1・2③	2			1	1					
	民族誌論	1・2②	2			1	1					
	科学・技術・社会論	1・2②	2			1	1					
	社会文化史	1・2③	2			2						
	教育文化史	1・2③	2			2						
	異文化理解	1・2①	2			1	1					
	持続可能な観光発展論	1・2②	2			1		1				
	文化観光論	1・2③	2			1		1				
	社会動態論	1・2④	2			1	1					
	社会構造論	1・2③	2			1	1					
	社会学研究法	1・2①	2				2					
	福祉社会論	1・2②	2				2					
	世界経済体制論	1・2③	2				2					
	産業システム論	1・2④	2				2					
農村環境社会論	1・2③	2			1	1						
持続可能地域論	1・2②	2			1	1						
地域情報論	1・2②	2				2						
生命機能化学	1・2③	2									兼3	
生態系循環論	1・2③	2									兼3	
情報システム論	1・2③	2									兼2	
地球表層物質輸送論	1・2②	2									兼2	
自然環境リスク論	1・2②	2									兼7	
気候変動災害論	1・2②	2									兼2	
生物多様性科学	1・2②	2									兼2	
小計(63科目)	—	0	126	2	25	36	2	1	0		兼22	
特別研究	特別研究	1~2	4		102	91	5	8			兼13	
小計(680科目)	—	4	1325	2	103	93	6	15	0		兼64	
合計(705科目)	—	6	1360	2	103	93	6	17	0		兼123	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合科学プログラム	認知科学論	1・2①	2			1	2						
	比較認知論	1・2④	2			1	2						兼1
	環境行動論	1・2①	2			1							
	適応行動論	1・2②	2			1	1						
	社会行動論	1・2③	2			1	1						
	BCM (Business Continuity Management)	1・2後		2									兼1
	現代哲学	1・2②	2				1						兼1
	美的感性論	1・2②	2			1	1						
	文化哲学	1・2③	2				1						兼1
	比較芸術論	1・2②	2			1	1						
	実践倫理学	1・2前	2				1						兼1
	比較宗教思想史	1・2③	2				2						
	マイノリティ文化思想	1・2③	2				2						
	日本地域研究	1・2②	2				2						
	日本文藝社会研究	1・2①	2				2						
	日本現代史	1・2③	2			1	1						
	アジア文化論(現代文化)	1・2③	2				2						
	アジア文化論(表象文化)	1・2④	2			1	1						
	アジア文化論(伝統文化)	1・2②	2			1	1						
	ヨーロッパ社会論	1・2①	2			1	1	0					
	ヨーロッパ文化論	1・2④	2			1	1	0					
	欧米地域研究	1・2②	2				2						
	アジア地域研究	1・2①	2				2						1
	英米社会論(国際関係)	1・2②	2										兼1
	ヒロシマ平和学	1・2③	2			2							1
	英米文化論	1・2③	2				2						
	英米文藝社会研究	1・2①	2				2						
	宗教学	1・2③	2			1	1						
	宗教聖典論	1・2④	2			1	1						
	社会人類学	1・2③	2			2	2	0					1
	民族誌論	1・2②	2			2	2	0					1
	科学・技術・社会論	1・2②	2			1	1	0					
	社会文化史	1・2③	2			2							
	教育文化史	1・2③	2			2							
	異文化理解	1・2①	2			1	1						
	持続可能な観光発展論	1・2②	2			1			1				
	文化観光論	1・2③	2			1			1				
	社会動態論	1・2④	2			1	1						
	社会構造論	1・2③	2			1	1						
	社会学研究法	1・2①	2				2						
	福祉社会論	1・2②	2				2						
	世界経済体制論	1・2②	2				2						
産業システム論	1・2④	2				2							
農村環境社会論	1・2③	2			1	1							
持続可能地域論	1・2②	2				1	1						
地域情報論	1・2②	2					2						
生命機能化学	1・2③	2										兼3	
生態系循環論	1・2③	2										兼3	
情報システム論	1・2③	2										兼2	
地球表層物質輸送論	1・2②	2										兼2	
自然環境リスク論	1・2③	2										兼6	
気候変動災害論	1・2①	2										兼2	
生物多様性科学	1・2②	2										兼2	
小計(64科目)	—	0	128	2	28	35	2	3	0			兼21	
特別研究	特別研究	1~2	4		105	89	5	18				兼12	
小計(700科目)	—	4	1363	2	106	91	5	31	0			兼84	
合計(729科目)	—	6	1402	2	106	91	5	31	0			兼167	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。 修了要件											
科目区分		要修得単位数	指定科目等								
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上									
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上									
研究科共通科目		4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位								
専攻共通科目		2単位以上									
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上									
	特別研究	4単位	「必修」 特別研究：4単位								
他プログラム専門科目		2単位以上									
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目		4単位以上									
合計		30単位以上									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。 修了要件											
科目区分		要修得単位数	指定科目等								
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上									
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上									
研究科共通科目		4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位								
専攻共通科目		2単位以上									
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上									
	特別研究	4単位	「必修」 特別研究：4単位								
他プログラム専門科目		2単位以上									
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目		4単位以上									
合計		30単位以上									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

＜大学院共通科目＞

- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、兼任・兼任3から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教員の退職により、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「1・2①」から「1・2①②」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「1・2③」から「1・2③④」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①②」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「アントレプレナーシップ概論」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。

＜研究科共通科目＞

- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学特別講義」の専任教員等の配置を「教授21」から「教授25」、准教授11から「准教授12」、「助教4」から「助教3」、「兼任・兼任12」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学のための科学史」の専任教員等の配置を「准教授13」から「准教授15」、「助教4」から「助教6」、「兼任・兼任14」から「兼任・兼任22」に変更。
- ・学生の履修機会の増やすため、「異分野協働プロジェクト」の配当年次を「1・2①」から「1・2後」に変更。
- ・授業科目の名称を「国際標準化論」から「ルール形成のための国際標準化」に変更。
- ・人間社会科学研究科の設置が認められたのちに、広島大学・グラーツ大学国際連携サステナビリティ学専攻の設置（令和2年10月開設）が認められたことを受け、また、研究科共通科目の英語科目を充実させるため、次の授業科目を新規科目として開講。
「データビジュアライゼーションA」、「データビジュアライゼーションB」、「環境原論A」、「環境原論B」

＜専攻共通科目＞

- ・教員の見直しにより、「人文社会科学のための研究法と倫理」の専任教員等の配置を「教授16」から「教授19」、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「人文社会科学と社会」の専任教員等の配置を「准教授15」から「准教授18」、「助教1」から「助教3」に変更。

＜プログラム専門科目：人文学プログラム＞

- ・学生の履修機会の確保のため、「日本文化論演習A」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の見直しにより、「表象文化論講義A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「言語文化論講義A」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び教員の見直しにより、「言語文化論講義B」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋哲学演習A」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋哲学演習B」の配当年次を「1・2②」から「1・2③」に変更。
- ・教員の見直しにより、「西洋哲学特講」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業科目充実のため、「仏教学演習A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業科目充実のため、「仏教学演習B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「倫理想史文献研究A」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「倫理想史文献研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「応用倫理想基礎演習A」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「応用倫理想基礎演習B」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「中国思想学専攻講義」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業科目充実のため、「中国思想学専攻研究」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に、専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・授業科目充実のため、「中国思想文化学研究法A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・授業科目充実のため、「中国思想文化学研究法B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・授業科目充実のため、「中国思想文化学研究法C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・授業科目充実のため、「中国思想文化学研究法D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「歴史文化研究」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・教員の見直しにより、「日本古代資料解析論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員の見直しにより、「日本古代社会文化研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授0」から「教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米政治文化史史料研究A」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米政治文化史史料研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米社会経済史史料研究A」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米社会経済史史料研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米社会経済史史料研究C」の配当年次を「1・2前」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米社会経済史史料研究D」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋社会史文書研究A」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋社会史文書研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋文化史文書研究A」の配当年次を「1・2前」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋文化史文書研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地中海世界史研究A」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地中海世界史研究B」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地中海文書解析学A」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地中海文書解析学B」の配当年次を「1・2後」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「中国古典詩演習C」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

- ・教員の見直しにより、「中国文学特殊講義A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保,教員の昇任及び教員の就任辞退により,「欧米文学語学・言語学概説」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に,専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」,「准教授4」から「准教授2」に変更。
 - ・教員の就任辞退により,「イギリス小説作品研究演習A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の就任辞退により,「イギリス小説作品研究演習B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の就任辞退により,「イギリス小説作品演習A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の就任辞退により,「イギリス小説作品演習B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため,「英語圏文学概論A」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
- ・教員の就任辞退により,「英語圏文学特殊講義A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の就任辞退により,「英語圏文学特殊講義B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任及び授業科目充実のため,「英語学概論A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」,「准教授1」から「准教授0」,「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教員の昇任及び授業科目充実のため,「英語学概論B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」,「准教授1」から「准教授0」,「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教員の昇任により,「中期英語概論A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任により,「中期英語概論B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任により,「中期英語作品研究演習A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任により,「中期英語作品研究演習B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任及び授業科目充実のため,「英語学特殊講義A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」,「准教授1」から「准教授0」,「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・教員の昇任及び授業科目充実のため,「英語学特殊講義B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」,「准教授1」から「准教授0」,「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の見直しにより,「ドイツ文学語学特殊講義A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の見直しにより,「理論・応用言語学演習A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の見直しにより,「理論・応用言語学特別演習A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・教員の見直しにより,「自然地理学特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」,「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 - ・授業科目充実のため,「地理学研究法A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
 - ・授業科目充実のため,「地理学研究法B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため,「考古学広領域講義」の配当年次を「1・2後」から「1・2②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため及び教員の見直しにより,「考古学資料実習A」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に,専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - ・教員の見直しにより,「考古学資料実習B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
 - ・教員の見直しにより,「考古学資料実習C」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため,「総合文化財研究法I」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため,「総合文化財解析演習I」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため,「総合文化財解析演習II」の配当年次を「1・2後」から「1・2④」に変更。
 - ・文化財の建築系の授業科目充実のため,新規科目として開講。「地域文化財研究法I」,「地域文化財研究法II」,「地域文化財解析演習I」,「地域文化財解析演習II」,「地域文化財調査実習I」,「地域文化財調査実習II」
- <プログラム専門科目:心理学プログラム>
- ・授業科目の充実のため,「心理学研究法基礎演習A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学研究法基礎演習B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学研究法応用演習A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学研究法応用演習B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「Academic writing in psychology A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「Academic writing in psychology B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「Advanced academic writing in psychology A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「Advanced academic writing in psychology B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「臨床心理学特講I」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」,「助教0」から「助教2」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学基礎演習I」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学基礎演習II」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学基礎演習III」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学基礎演習IV」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学応用演習I」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学応用演習II」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学応用演習III」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教4」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理学応用演習IV」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心理療法特講」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」に変更。
 - ・授業科目の充実のため,「心の健康教育に関する理論と実践」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に変更。

- ・授業科目名称の見直し及び授業科目の充実のため、授業科目名称を「心理支援に関する理論と実践（臨床心理面接特講Ⅰ）」から「臨床心理面接特講Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）」に、専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「臨床心理面接特講Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目名称の見直し及び授業科目の充実のため、授業科目名称を「心理的アセスメントに関する理論と実践（臨床心理査定演習Ⅰ）」から「臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）」に、専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「臨床心理査定演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「臨床心理基礎実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「臨床心理基礎実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目名称の見直し及び授業科目の充実のため、授業科目名称を「心理実践実習Ⅳ（臨床心理実習Ⅰ）」から「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅳ）」に、専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「臨床心理実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目名称の見直し及び授業科目の充実のため、授業科目名称を「心理実践実習Ⅰ」から「心理実践実習Ⅰ（臨床心理実習Ⅳ）」に、専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習Ⅴ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習A」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習B」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習C」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「心理実践実習D」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」から「准教授Ⅲ」、「助教Ⅰ」から「助教Ⅱ」に変更。

<プログラム専門科目：法学・政治学プログラム>

- ・学生の履修機会を増やすため、「法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「憲法理論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「行政法理論」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「刑事システム論」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「比較自治体論」の配当年次を「1・2前」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「憲法理論演習」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「行政法理論演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「刑事システム論演習」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「刑事システム論演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会変動分析論演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会構造分析論演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「家族支援社会論演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「物件管理法」の配当年次を「1・2①」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経営法務」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「企業組織法」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経営法務演習」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「企業組織法演習」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「民事訴訟の理論と実務演習」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「外交論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「国際関係私法」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際関係私法」の配当年次を「1・2②」から「1・2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「比較政治思想論」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際刑事法」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際刑事政策演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「国際関係私法演習」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際関係私法演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「比較政治思想論演習」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「医事刑法論」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会調査論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の新規採用により、次に掲げる科目を新規科目として開講。
「現代日本政治論」、「現代日本政治論演習」、「近代日中関係論」、「帝国日本と東アジア」
- ・学生の留学促進及び交換留学生の受け入れ促進のため、次に掲げる科目を新規科目として開講。
「グローバル法政特講（アジアにおける人権発展）」、「グローバル法政特講（サンパウロ大学サマースクール）」、「グローバル法政特講（海外フィールドスタディ・スペイン）」、「グローバル法政特講（海外人権発展論演習）」

<プログラム専門科目：経済学プログラム>

- ・教員の新規採用および教員の就任辞退に伴い、授業科目の充実のため「経済学プログラム特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅷ」から「准教授Ⅸ」に変更。
- ・教員の新規採用および教員の就任辞退に伴い、授業科目の充実のため「経済学プログラム特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅷ」から「准教授Ⅸ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経済統計分析」の配当年次を「1・2①」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「財政学」の配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「財政学」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「教授Ⅱ」に、「兼任・兼任Ⅰ」から「兼任・兼任Ⅱ」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経済戦略論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開講時期の延期により、「経済情報分析」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「医療経済学」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・教員の新規採用に伴い、授業科目の充実のため「産業組織と政策分析」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会の確保のため、「欧米経済史」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開講時期の延期により、「政治経済学Ⅰ」の配当年次を「1・2②」から「1・2③」に変更。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う開講時期の延期により、「経済学特講」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。

<プログラム専門科目：マネジメントプログラム>

- ・授業科目の充実、教員の退職のため、「リサーチ・リテラシー」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授5」、「准教授3」から「准教授5」、「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教2」、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経営戦略論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の未就任により、「国際マーケティング戦略論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の退職により、「人的資源管理論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「財務会計論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「会計政策論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、「公共経営論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。兼任教員1名が担当予定（選考中）。
- ・担当教員の見直しのため、「地域経営論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。兼任教員1名が担当予定（選考中）。
- ・授業科目の充実のため、「アジアビジネス事情」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担当4」に変更。
- ・教員の退職により、「アジアベンチャービジネス論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の退職及び授業科目の充実のため、「マネジメント特講（日本の組織と経営）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担8」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「マネジメント特講（地域活性化）」の専任教員等の配置を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担8」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「マネジメント特講（ビジネス・エコシステム論）」、「マネジメント特講（ビジネスデータ解析）」を新規科目として開講。

<プログラム専門科目：国際平和共生プログラム>

- ・担当教員の見直しのため、「Peace and Co-existence A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「International Ethics I」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「International Ethics II」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Law and Human Rights」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・担当教員の退職のため、「Identity and Co-existence」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に変更。

<プログラム専門科目：国際経済開発プログラム>

- ・教員の見直しのため、「開発ミクロ経済学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「開発ミクロ経済学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「開発マクロ経済学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「開発マクロ経済学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「開発計量経済学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「開発計量経済学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。
- ・教員の見直しのため、「労働政策論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「農村開発論」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「技術経営論」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人的資源開発論」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「公共管理論」の配当年次を「1④」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経営組織論」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「経営戦略論」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・教員の昇任のため、「都市政策論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際協力論」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「公共経済論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「農業生産経済分析」を新規科目として開講。

<プログラム専門科目：人間総合科学プログラム>

- ・担当教員の見直しのため、「人間総合科学特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」に変更。
- ・誤植があったため、授業科目名を「BCM (Business Community Management)」から「BCM (Business Continuity Management)」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「現代哲学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保、授業科目の充実のため、「文化哲学」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保、授業科目の充実のため、「実践倫理学」の配当年次を「1・2④」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「日本現代史」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任のため、「ヨーロッパ社会論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の昇任のため、「ヨーロッパ文化論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「アジア地域研究」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ヒロシマ平和学」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の昇任、授業科目の充実のため、「社会人類学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の昇任、授業科目の充実のため、「民族誌論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の就任辞退のため、「科学・技術・社会論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「世界経済体制論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・授業科目、担当教員の見直しにより、「自然環境リスク論」の配当年次を「1・2②」から「1・2③」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担7」から「兼任・兼担6」に変更。
- ・授業科目の見直しにより、授業科目の名称を「気候変動災害論」から「地球流体防災論」に、配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・授業科目の見直しにより、授業科目の名称を「生物多様性科学」から「生物多様性科学(環境科学入門)」に変更。

<プログラム専門科目：特別研究>

- ・授業科目の充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授102」から「教授105」、「准教授91」から「准教授89」、「助教8」から「助教18」、「兼任・兼担13」から「兼任・兼担12」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	702 科目	1 科目	705 科目	2 科目 [0]	726 科目 [24]	1 科目 [0]	729 科目 [24]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{705} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻（博士課程後期）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
持続可能な発展科目	スペシャリスト型SDGsアイデアメイニング学生セミナー	1・2・3 ②③	1								兼1
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3 ②	1								兼1
	普遍的平和を目指して	1・2・3 ①②④	1			2					兼2
大学院共通科目	データサイエンス	1・2・3 ④	2								兼1
	パターン認識と機械学習	1・2・3 ②	2								兼1
	データサイエンティスト養成	1・2・3 ②	1								兼1
	医療情報リテラシー活用	1・2・3 ④	1								兼9
	リーダーシップ手法	1・2・3 ①	1								兼1
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3 ②④	1								兼1
	イノベーション演習	1・2・3 ③	2								兼1
	長期インターンシップ	1・2・3 前後	2								兼1
	事業創造概論	1・2・3 ①	1								兼1
	小計（12科目）	—	0	16	0	0	2	0	0	0	0
研究科共通科目	プロジェクト研究	1・2・3 ④	2			6	1				兼4
	人間社会科学講究	1・2・3 ②	2			5			1		兼5
	小計（2科目）	—	0	4	0	10	1	0	1	0	兼8
ムブ専門科目	特別研究	1~3	6			95	89	4			兼12
	小計（1科目）	—	6	0	0	95	89	4	0	0	兼12
合計（15科目）	—	6	20	0	95	89	4	1	0	0	兼34
卒業要件及び履修方法											
修了に必要な単位数を10単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 修了要件											
科目区分		要修得単位数	指定科目等								
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上									
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上									
研究科共通科目		2単位以上									
プログラム専門科目	特別研究	6単位	「必修」特別研究：6単位								
合計		10単位以上									

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
持続可能な発展科目	スペシャリスト型SDGsアイデアメイニング学生セミナー	1・2・3 前後	1								兼8
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3 後	1								兼1
	普遍的平和を目指して	1・2・3 ①②④	1			1		4			兼4
大学院共通科目	データサイエンス	1・2・3 ③	2								兼1
	パターン認識と機械学習	1・2・3 ④	2								兼1
	データサイエンティスト養成	1・2・3 前	1								兼3
	医療情報リテラシー活用	1・2・3 ③	1								兼7
	リーダーシップ手法	1・2・3 前後	1								兼2
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3 ②④	1								兼1
	イノベーション演習	1・2・3 ③	2								兼4
	長期インターンシップ	1・2・3 前後	2								兼1
	事業創造概論	1・2・3 ①	1								兼1
	小計（12科目）	—	0	16	0	1	4	0	0	0	0
研究科共通科目	プロジェクト研究	1・2・3 ④	2			8	1				兼4
	人間社会科学講究	1・2・3 通年	2			8			1		兼4
	小計（2科目）	—	0	4	0	11	1	0	1	0	兼7
ムブ専門科目	特別研究	1~3	6			100	85	4			兼11
	小計（1科目）	—	6	0	0	100	85	4	0	0	兼11
合計（15科目）	—	6	24	0	100	85	4	1	0	0	兼44
卒業要件及び履修方法											
修了に必要な単位数を10単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 修了要件											
科目区分		要修得単位数	指定科目等								
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上									
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上									
研究科共通科目		2単位以上									
プログラム専門科目	特別研究	6単位	「必修」特別研究：6単位								
合計		10単位以上									

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3②③」から「1・2・3前後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3後」に変更。 ・授業科目の充実のため、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」, 「准教授2」から「准教授4」, 「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「データサイエンス」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「パターン認識と機械学習」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3④」に変更。 ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「データサイエンティスト養成」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3前」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。 ・学生の履修機会の確保及び教員の見直しのため、「医療情報リテラシー活用」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「リーダーシップ手法」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3前後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・授業科目の充実のため、「イノベーション演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。 ・授業科目の充実のため、「プロジェクト研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授8」に変更。 ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「人間社会科学講究」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3通年」に、専任教員等の配置を「教授5」から「教授8」, 「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。 ・授業科目の充実及び教員の見直しのため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授95」から「教授100」, 「准教授89」から「准教授85」, 「兼任・兼任12」から「兼任・兼任11」に変更。
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	14 科目	0 科目	15 科目	1 科目 [0]	14 科目 [0]	0 科目 [0]	15 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡				
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡				
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡				
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡				
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	514,567㎡ (514,567㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	514,567㎡ (514,567㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	116室	136室	317室	8室 (補助職員 13人)	8室 (補助職員 18人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	人間社会科学部 人文社会科学専攻		233 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位で特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					点
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	人間社会科学部 人文社会科学専攻	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)		
計	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	27,030㎡		1,775	2,786,389					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	610	—	1.06	1.08	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	490	学士(総合科学)	1.05	1.08	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	入学定員変更(△10)
国際共創学科	4	40	—	120	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	550	—	1.06	1.04	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	550	学士(文学)	1.06	1.04	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	入学定員変更(△10)
教育学部	4	445	—	1,810	—	1.02	1.03	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	631	学士(教育学)	1.01	1.03	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	入学定員変更(△3)
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	334	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△6)
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	303	学士(教育学)	1.02	1.00	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△11)
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	331	学士(教育学)	1.04	1.03	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△7)
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	211	学士(心理学)	1.04	1.07	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△3)
法学部	4	170	3年次20	730	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.02	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	150	学士(法学)	1.10	1.06	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番89号	入学定員変更(△10)
経済学部	4	195	3年次10	815	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.06	1.04	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	編入学定員変更(△5)
(夜間主コース)	4	45	3年次5	205	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番89号	入学定員変更(△15) 編入学定員変更(△5)
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.05	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47	—	188	学士(理学)	1.04	1.04	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.06	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59	—	236	学士(理学)	1.04	1.00	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34	—	136	学士(理学)	1.06	1.05	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24	—	96	学士(理学)	1.06	1.04	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	718	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.00	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	718	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.00	1.00	—	平成4	同上	
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.02	—	平成21	—	

歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.05	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	
薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.13	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.13	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,465	—	1.03	1.02	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	455	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	464	学士(工学)	1.01	1.01	平成30	平成13	同上	編入学定員変更(第三類4人)
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.07	1.05	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.10	1.05	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.10	1.05	—	昭和54	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	245	—	1.07	1.10	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	245	学士(情報科学)	1.07	1.10	—	平成30	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	6	209	—	1,264	—	1.00	1.00	—	—	—	
	4	2,127	80	8,273	—	1.04	1.03	—	—	—	

大学の名称	広島大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会科学部	前期2	420	—	420	—	0.76	0.76	—	令和2	—	
	後期3	135	—	135	—	0.74	0.74	—	令和2	—	
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	令和2	—	
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	令和2	—	
	前期2	257	—	257	修士(文学)	0.59	0.59	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
人文社会科学専攻 (博士課程)	後期3	85	—	85	修士(心理学)	0.54	0.54	—	令和2		
					修士(法学)						
					修士(経済学)						
					修士(経営学)						
					修士(マネジメント)						
教育科学専攻 (博士課程)	前期2	163	—	163	修士(国際協力)	1.03	1.03	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
					修士(学術)						
					修士(教育学)						
					修士(教育心理学)						
					修士(国際協力)						
後期3	50	—	50	修士(学術)	1.08	1.08	—	令和2			
				博士(教育学)							
				博士(教育心理学)							
				博士(国際協力)							
				博士(学術)							
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	30	教職修士(専門職)	0.80	0.80	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
実務法学専攻 (専門職学位課程)	3	20	—	20	法務博士(専門職)	0.90	0.90	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	
先進理工系科学研究科	前期2	449	—	449	—	1.06	1.06	—	令和2	—	
	後期3	128	—	128	—	0.41	0.41	—	令和2	—	
先進理工系科学専攻 (博士課程)	前期2	449	—	449	修士(理学)	1.06	1.06	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
					修士(工学)						
					修士(情報科学)						
					修士(国際協力)						
	後期3	128	—	128	修士(学術)	0.41	0.41	—	令和2		
					博士(理学)						
					博士(工学)						
					博士(情報科学)						
					博士(国際協力)						
					博士(学術)						
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.93	0.90	—	平成31	—	
	後期3	70	—	140	—	0.39	0.24	—	平成31	—	
統合生命科学専攻 (博士課程)	前期2	170	—	340	修士(理学)	0.93	0.90	—	平成31	広島県東広島市鏡山1丁目4番4号	
					修士(工学)					広島県東広島市鏡山1丁目3番1号	
					修士(農学)					広島県東広島市鏡山1丁目7番1号	
					修士(学術)						
	後期3	70	—	140	博士(理学)	0.39	0.24	—	平成31		
					博士(工学)						
					博士(農学)						
					博士(学術)						
医系科学研究科	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.96	0.86	—	平成31	—	
	後期3	25	—	50	—	0.82	0.84	—	平成31	—	

医歯薬学専攻 (博士課程)	4	97	—	194	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.07	1.00	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学) 修士(学術)	0.96	0.86	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
	後期3	25	—	50	博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	0.82	0.84	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	—	—	—	教職修士(専門職)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
学習開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止

マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12		令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
数理分子生命理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(歯学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(薬学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(看護学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
医歯科学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(医科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(歯科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
機械物理工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止

応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		
					博士(学術)	—	—	—	平成18		
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成11		
					博士(学術)	—	—	—	平成11		
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成14	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		
					博士(薬学)	—	—	—	平成14		
					博士(学術)	—	—	—	平成14	同上	平成24年度学生募集停止
					博士(医学)	—	—	—	平成14		
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		
					博士(薬学)	—	—	—	平成14		
					博士(学術)	—	—	—	平成14		
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成6	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					修士(農学)	—	—	—	平成6		
					博士(学術)	—	—	—	平成6		
					博士(工学)	—	—	—	平成6		
					博士(農学)	—	—	—	平成6		
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成7	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成7		
					博士(教育学)	—	—	—	平成7		
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	平成16	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	前期2	1,115	—	1,361	—	0.95	0.91	—	—	—	—
	後期3	358	—	453	—	0.57	0.53	—	—	—	—
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	—	—	—
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	—	—	—
	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻（博士課程前期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川野 徳幸 <令和2年4月> 博士(医学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ Peace and Co-existence B※ Hiroshima Peace Studies I Hiroshima Peace Studies II 特別研究
専	教授	吉田 修 <令和2年4月> 法学修士
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 国際秩序構築論 国際秩序構築論演習 Peace and Co-existence B※ International Politics I International Politics II 特別研究
専	教授	片柳 真理 <令和2年4月> (PhD in Law) (英国)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※ Peace and Co-existence B※ Peacebuilding I Peacebuilding II Law and Human Rights 特別研究
専	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL <令和2年4月> 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 農村開発論 国際協力論 特別研究
専	教授	関 恒樹 <令和2年4月> 博士(文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人文社会科学と社会※ Peace and Co-existence A※ Basic Cultural Anthropology II Contemporary Anthropology II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川野 徳幸 <令和2年4月> 博士(医学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ Peace and Co-existence B※ Hiroshima Peace Studies I Hiroshima Peace Studies II 特別研究
専	教授	吉田 修 <令和2年4月> 法学修士
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 国際秩序構築論 国際秩序構築論演習 Peace and Co-existence B※ International Politics I International Politics II 特別研究
専	教授	片柳 真理 <令和2年4月> (PhD in Law) (英国)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※ Peace and Co-existence B※ Peacebuilding I Peacebuilding II Law and Human Rights 特別研究
専	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL <令和2年4月> 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 農村開発論 国際協力論 特別研究
専	教授	関 恒樹 <令和2年4月> 博士(文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人文社会科学と社会※ Peace and Co-existence A※ Basic Cultural Anthropology II Contemporary Anthropology II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会人類学 民族誌論 特別研究
専	教授	坂田 桐子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		ダイバーシティの理解※ 社会行動論※ 特別研究
専	教授	大池 真知子 ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		ダイバーシティの理解※ 異文化理解 特別研究
専	教授	溝渕 園子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 表象文化論講義A 表象文化論講義B 表象文化論演習A 表象文化論演習B 特別研究
専	教授	衛藤 吉則 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 倫理思想史文献研究A 倫理思想史文献研究B 応用倫理思想基礎演習A 応用倫理思想基礎演習B 特別研究
専	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 中国哲学文献研究A 中国哲学文献研究B 中国哲学文献研究C 中国哲学文献研究D 中国思想学專題講義【隔年】 中国思想文化学研究法A 中国思想文化学研究法B 中国思想文化学研究法C 中国思想文化学研究法D 特別研究
		本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会人類学 民族誌論 特別研究
専	教授	坂田 桐子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		ダイバーシティの理解※ 社会行動論※ 特別研究
専	教授	大池 真知子 ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学)
		ダイバーシティの理解※ 異文化理解 特別研究
専	教授	溝渕 園子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 表象文化論講義B 表象文化論演習A 表象文化論演習B 特別研究
専	教授	衛藤 吉則 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 倫理思想史文献研究A 倫理思想史文献研究B 応用倫理思想基礎演習A 応用倫理思想基礎演習B 特別研究
専	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 中国哲学文献研究A 中国哲学文献研究B 中国哲学文献研究C 中国哲学文献研究D 中国思想学專題講義【隔年】 中国化学專題研究【隔年】 中国思想文化学研究法A 中国思想文化学研究法B 中国思想文化学研究法C 中国思想文化学研究法D 特別研究
		本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	文化交流—日本と世界—※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本社会文化史特論【隔年】※ 日本中世資料解析論A【隔年】 日本中世資料解析論B【隔年】 日本中世社会文化研究A【隔年】 日本中世社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	教授	前野 弘志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 地中海世界史研究A【隔年】 地中海世界史研究B【隔年】 地中海文書解析学A【隔年】 地中海文書解析学B【隔年】 特別研究
専	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 中国古典散文演習B 中国古典散文演習D 中国古典詩演習A 中国古典詩演習B 中国古典詩演習C 中国古典詩演習D 特別研究
専	教授	今林 修 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ 英語学概論A 英語学概論B 英語学理論演習A【隔年】 英語学理論演習B【隔年】 近代英語作品研究演習A【隔年】 近代英語作品研究演習B【隔年】 英語学特殊講義A 英語学特殊講義B 特別研究
		小林 英起子 〈令和2年4月〉 DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ) 人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ ドイツ文学理論演習A【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	文化交流—日本と世界—※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本古代資料解析論【隔年】 日本古代社会文化研究【隔年】 日本社会文化史特論【隔年】※ 日本中世資料解析論A【隔年】 日本中世資料解析論B【隔年】 日本中世社会文化研究A【隔年】 日本中世社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	教授	前野 弘志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 地中海世界史研究A【隔年】 地中海世界史研究B【隔年】 地中海文書解析学A【隔年】 地中海文書解析学B【隔年】 特別研究
専	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 中国古典散文演習B 中国古典散文演習D 中国古典詩演習A 中国古典詩演習B 中国古典詩演習C 中国古典詩演習D 特別研究
専	教授	今林 修 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ 英語学概論A 英語学概論B 英語学理論演習A【隔年】 英語学理論演習B【隔年】 近代英語作品研究演習A【隔年】 近代英語作品研究演習B【隔年】 英語学特殊講義A 英語学特殊講義B 特別研究
		小林 英起子 〈令和2年4月〉 DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ) 人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ ドイツ文学理論演習A【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ドイツ文学理論演習B【隔年】 ドイツ語圏文化論演習A【隔年】 ドイツ語圏文化論演習B【隔年】 ドイツ文学語学特殊講義A【隔年】 ドイツ文学語学特殊講義B【隔年】 ドイツ文学語学特殊講義C【隔年】 ドイツ文学発展演習A【隔年】 ドイツ文学発展演習B【隔年】 特別研究
専	教授	安嶋 紀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 有形文化財研究法Ⅰ【隔年】 有形文化財研究法Ⅱ【隔年】 有形文化財解析演習Ⅰ【隔年】 有形文化財解析演習Ⅱ【隔年】 有形文化財調査実習Ⅰ【隔年】 有形文化財調査実習Ⅱ【隔年】 特別研究
専	教授	服巻 豊 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※ 臨床心理学特講Ⅰ 心理療法特講 家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践※ 臨床心理基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅳ(臨床心理実習Ⅰ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	教授	江頭 大蔵 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 人文社会科学と社会※ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 社会変動分析論 社会変動分析論演習 社会調査論【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ドイツ文学理論演習B【隔年】 ドイツ語圏文化論演習A【隔年】 ドイツ語圏文化論演習B【隔年】 ドイツ文学語学特殊講義B【隔年】 ドイツ文学語学特殊講義C【隔年】 ドイツ文学発展演習A【隔年】 ドイツ文学発展演習B【隔年】 特別研究
専	教授	安嶋 紀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 有形文化財研究法Ⅰ【隔年】 有形文化財研究法Ⅱ【隔年】 有形文化財解析演習Ⅰ【隔年】 有形文化財解析演習Ⅱ【隔年】 有形文化財調査実習Ⅰ【隔年】 有形文化財調査実習Ⅱ【隔年】 特別研究
専	教授	服巻 豊 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※ 臨床心理学特講Ⅰ 心理療法特講 家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践※ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(臨床心理実習Ⅳ) 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	教授	江頭 大蔵 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 人文社会科学と社会※ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 社会変動分析論 社会変動分析論演習 社会調査論【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 人文社会科学と社会※ 民事訴訟の理論と実務【隔年】 裁判外紛争処理論【隔年】 民事訴訟の理論と実務演習【隔年】 裁判外紛争処理論演習【隔年】 特別研究
専	教授	大澤 俊一 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 地方財政論 特別研究
専	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 公共政策論 特別研究
専	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※ 組織行動論 人的資源管理論 特別研究
専	教授	星野 一郎 〈令和2年4月〉 博士(会計学)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 財務会計論 会計政策論 特別研究
専	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※ 運動適応学※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 人文社会科学と社会※ 民事訴訟の理論と実務【隔年】 裁判外紛争処理論【隔年】 民事訴訟の理論と実務演習【隔年】 裁判外紛争処理論演習【隔年】 特別研究
専	教授	大澤 俊一 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 地方財政論 特別研究
専	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 公共政策論 特別研究
専	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ リサーチ・リテラシー※ 組織行動論 人的資源管理論 特別研究
専	教授	
専	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※ 運動適応学※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ コンピュータと言語研究・教育※ 特別研究
専	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III 心理学応用演習 IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ コンピュータと言語研究・教育※ 特別研究
専	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III 心理学応用演習 IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 言語文化論講義A 言語文化論講義B 言語文化論演習A 言語文化論演習B 特別研究
専	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 中国文化文献研究A 中国文化文献研究B 中国文化文献研究C 中国文化文献研究D 中国化学専題研究【隔年】 中国思想化学研究法A 中国思想化学研究法B 中国思想化学研究法C 中国思想化学研究法D 特別研究
専	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流ー日本と世界ー※【隔年】 アジア歴史文化論A【隔年】 アジア歴史文化論B【隔年】 アジア社会史史料研究A【隔年】 アジア社会史史料研究B【隔年】 アジア政治史史料研究A【隔年】 アジア政治史史料研究B【隔年】 アジア歴史社会論A【隔年】 アジア歴史社会論B【隔年】 特別研究
		井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流ー日本と世界ー※【隔年】 近代国家論研究【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 言語文化論講義A 言語文化論演習A 言語文化論演習B 特別研究
専	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 中国文化文献研究A 中国文化文献研究B 中国文化文献研究C 中国文化文献研究D 中国化学専題研究【隔年】 中国思想化学研究法A 中国思想化学研究法B 中国思想化学研究法C 中国思想化学研究法D 特別研究
専	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流ー日本と世界ー※【隔年】 アジア歴史文化論A【隔年】 アジア歴史文化論B【隔年】 アジア社会史史料研究A【隔年】 アジア社会史史料研究B【隔年】 アジア政治史史料研究A【隔年】 アジア政治史史料研究B【隔年】 アジア歴史社会論A【隔年】 アジア歴史社会論B【隔年】 特別研究
		井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流ー日本と世界ー※【隔年】 近代国家論研究【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
専	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
専	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
専	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
専	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	今田 良信 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ 言語研究法講義 I A【隔年】 言語研究法講義 I B【隔年】 言語研究法講義 II A【隔年】 言語研究法講義 II B【隔年】 一般言語学演習 A【隔年】 一般言語学演習 B【隔年】 一般言語学特別演習 A【隔年】 一般言語学特別演習 B【隔年】 理論・応用言語学特別演習 A【隔年】 理論・応用言語学特別演習 B【隔年】 特別研究
専	教授	友澤 和夫 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 人文地理学特論演習 A【隔年】 人文地理学特論演習 B【隔年】 グローバル経済地域論演習 A【隔年】 グローバル経済地域論演習 B【隔年】 現代インド地誌学【隔年】 経済地理学研究【隔年】 地理学研究法 A 地理学研究法 B 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	教授	奥村 晃史 〈令和2年4月〉 理学博士 人間社会科学のための科学史※ 自然地理学特論演習 A【隔年】 自然地理学特論演習 B【隔年】 自然地域形成論演習 A【隔年】 自然地域形成論演習 B【隔年】 自然地域システム論研究 地理学研究法 A 地理学研究法 B 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	教授	野島 永 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ アジア考古学解析【隔年】 日本考古学特論【隔年】 考古学広領域講義【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	今田 良信 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ 言語研究法講義 I A【隔年】 言語研究法講義 I B【隔年】 言語研究法講義 II A【隔年】 言語研究法講義 II B【隔年】 一般言語学演習 A【隔年】 一般言語学演習 B【隔年】 一般言語学特別演習 A【隔年】 一般言語学特別演習 B【隔年】 理論・応用言語学特別演習 B【隔年】 特別研究
専	教授	友澤 和夫 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 人文地理学特論演習 A【隔年】 人文地理学特論演習 B【隔年】 グローバル経済地域論演習 A【隔年】 グローバル経済地域論演習 B【隔年】 現代インド地誌学【隔年】 経済地理学研究【隔年】 地理学研究法 A 地理学研究法 B 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	教授	奥村 晃史 〈令和2年4月〉 理学博士 人間社会科学のための科学史※ 自然地理学特論演習 A【隔年】 自然地理学特論演習 B【隔年】 自然地域形成論演習 A【隔年】 自然地域形成論演習 B【隔年】 自然地域システム論研究 地理学研究法 A 地理学研究法 B 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	教授	野島 永 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 日本考古学解析 A【隔年】 アジア考古学解析【隔年】 日本考古学特論【隔年】 考古学広領域講義【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		考古文献評論A【隔年】 考古文献評論B【隔年】 アジア比較考古学演習A【隔年】 考古学資料実習A【隔年】 考古学資料実習B 考古学資料実習C【隔年】 特別研究
専	教授	角谷 快彦 ＜令和2年4月＞ PhD (Economics) (オーストラリア) 人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 医療経済学 特別研究
専	教授	築達 延征 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国) 人間社会科学のための科学史※ 経営組織論 CSR論 特別研究
専	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト 税法コンプレッション 税法ケーススタディ
専	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		考古文献評論A【隔年】 考古文献評論B【隔年】 アジア比較考古学演習A【隔年】 考古学資料実習A【隔年】 考古学資料実習B 考古学資料実習C【隔年】 特別研究
専	教授	角谷 快彦 ＜令和2年4月＞ PhD (Economics) (オーストラリア) 人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 医療経済学 特別研究
専	教授	築達 延征 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国) 人間社会科学のための科学史※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ リサーチ・リテラシー※ 経営組織論 CSR論 特別研究
専	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト リサーチ・リテラシー※ 税法コンプレッション 税法ケーススタディ 特別研究
専	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士 異分野協働プロジェクト 総合科学系演習 人間総合科学特論 環境行動論※ 適応行動論※ 特別研究
専	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学) 異分野協働プロジェクト 人文社会科学のための研究法と倫理※ 日本古典文学注釈研究E【隔年】 日本古典文学注釈研究F【隔年】 日本古典文学解読研究E【隔年】 日本古典文学解読研究F【隔年】 特別研究
専	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学) 異分野協働プロジェクト 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 幼児心理学観察演習 心の健康教育に関する理論と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士 異分野協働プロジェクト 総合科学系演習 人間総合科学特論 環境行動論※ 適応行動論※ 特別研究
専	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学) 異分野協働プロジェクト 人文社会科学のための研究法と倫理※ 日本古典文学注釈研究E【隔年】 日本古典文学注釈研究F【隔年】 日本古典文学解読研究E【隔年】 日本古典文学解読研究F【隔年】 特別研究
専	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学) 異分野協働プロジェクト 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 幼児心理学観察演習 心の健康教育に関する理論と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	後藤 弘志 ＜令和2年4月＞ Doktor der Philosophie (ドイツ)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 西洋哲学特別演習A 西洋哲学特別演習B 西洋哲学史特別演習A 西洋哲学史特別演習B 西洋哲学特講 特別研究
専	教授	妹尾 好信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 日本古典文学注釈研究A【隔年】 日本古典文学注釈研究B【隔年】 日本古典文学注釈研究C【隔年】 日本古典文学注釈研究D【隔年】 日本古典文学解読研究A【隔年】 日本古典文学解読研究B【隔年】 日本古典文学解読研究C【隔年】 日本古典文学解読研究D【隔年】 特別研究
専	教授	鈴木 喜久 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II 理論ファイナンス 日本銀行連携講義1※【隔年】 日本銀行連携講義2※【隔年】 金融庁連携講義1※【隔年】 金融庁連携講義2※【隔年】 特別研究
専	教授	千田 隆 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Economics) (米国)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II マクロ金融分析 経済時系列分析 特別研究
専	教授	井口 容子 ＜令和2年4月＞ 哲学修士
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 言語構造論※ 言語類型研究※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	後藤 弘志 ＜令和2年4月＞ Doktor der Philosophie (ドイツ)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 西洋哲学特別演習A 西洋哲学特別演習B 西洋哲学史特別演習A 西洋哲学史特別演習B 特別研究
専	教授	妹尾 好信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 日本古典文学注釈研究A【隔年】 日本古典文学注釈研究B【隔年】 日本古典文学注釈研究C【隔年】 日本古典文学注釈研究D【隔年】 日本古典文学解読研究A【隔年】 日本古典文学解読研究B【隔年】 日本古典文学解読研究C【隔年】 日本古典文学解読研究D【隔年】 特別研究
専	教授	鈴木 喜久 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II 理論ファイナンス 日本銀行連携講義1※【隔年】 日本銀行連携講義2※【隔年】 金融庁連携講義1※【隔年】 金融庁連携講義2※【隔年】 特別研究
専	教授	千田 隆 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Economics) (米国)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II マクロ金融分析 経済時系列分析 特別研究
専	教授	井口 容子 ＜令和2年4月＞ 哲学修士
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 言語構造論※ 言語類型研究※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	船瀬 広三 〈令和2年4月〉 医学博士 人文社会科学のための研究法と倫理※ 運動制御学※ 特別研究
専	教授	荒見 泰史 〈令和2年4月〉 文学博士 (中国) 人文社会科学のための研究法と倫理※ アジア文化論(表象文化) アジア文化論(伝統文化) 特別研究
専	教授	市川 浩 〈令和2年4月〉 博士(商学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 科学・技術・社会論※ 特別研究
専	教授	浅野 敏久 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 農村環境社会論 持続可能地域論 特別研究
専	教授	青木 利夫 〈令和2年4月〉 博士(社会学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 社会文化史 教育文化史 特別研究
専	教授	中村 平 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 歴史文化論講義A 歴史文化論講義B 歴史文化論演習A 歴史文化論演習B 特別研究
専	教授	根本 裕史 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 仏教学研究 仏教思想史研究 仏教学演習A 仏教学演習B 仏教思想史講義A 仏教思想史講義B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	船瀬 広三 〈令和2年4月〉 医学博士 人文社会科学のための研究法と倫理※ 運動制御学※ 特別研究
専	教授	荒見 泰史 〈令和2年4月〉 文学博士 (中国) 人文社会科学のための研究法と倫理※ アジア文化論(表象文化) アジア文化論(伝統文化) 特別研究
専	教授	市川 浩 〈令和2年4月〉 博士(商学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 科学・技術・社会論※ 特別研究
専	教授	浅野 敏久 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 農村環境社会論 持続可能地域論 特別研究
専	教授	青木 利夫 〈令和2年4月〉 博士(社会学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 社会文化史 教育文化史 特別研究
専	教授	中村 平 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 歴史文化論講義A 歴史文化論講義B 歴史文化論演習A 歴史文化論演習B 特別研究
専	教授	根本 裕史 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 仏教学研究 仏教思想史研究 仏教学演習A 仏教学演習B 仏教思想史講義A 仏教思想史講義B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		インド哲学仏教学総合演習A インド哲学仏教学総合演習B 特別研究
専	教授	中山 富廣 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本社会文化史特論【隔年】※ 日本近世資料解析論A【隔年】 日本近世資料解析論B【隔年】 日本近世社会文化研究A【隔年】 日本近世社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	教授	金子 肇 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 アジア地域史研究A【隔年】 アジア地域史研究B【隔年】 中国経済史史料研究A【隔年】 中国経済史史料研究B【隔年】 中国政治史史料講義A【隔年】 中国政治史史料講義B【隔年】 中国社会史史料研究A【隔年】 中国社会史史料研究B【隔年】 特別研究
専	教授	川島 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 中国古典散文演習A 中国古典散文演習C 中国古典小説演習A 中国古典小説演習B 中国古典小説演習C 中国古典小説演習D 中国文学特殊講義A【隔年】 中国文学特殊講義B【隔年】 特別研究
専	教授	吉中 孝志 ＜令和2年4月＞ D.Phil.(英文学) (英国)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 批評理論演習A【隔年】 批評理論演習B【隔年】 イギリス戯曲文学演習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		インド哲学仏教学総合演習A インド哲学仏教学総合演習B 特別研究
専	教授	中山 富廣 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本社会文化史特論【隔年】※ 日本近世資料解析論A【隔年】 日本近世資料解析論B【隔年】 日本近世社会文化研究A【隔年】 日本近世社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	教授	金子 肇 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 アジア地域史研究A【隔年】 アジア地域史研究B【隔年】 中国経済史史料研究A【隔年】 中国経済史史料研究B【隔年】 中国政治史史料講義A【隔年】 中国政治史史料講義B【隔年】 中国社会史史料研究A【隔年】 中国社会史史料研究B【隔年】 特別研究
専	教授	川島 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 中国古典散文演習A 中国古典散文演習C 中国古典小説演習A 中国古典小説演習B 中国古典小説演習C 中国古典小説演習D 中国文学特殊講義B【隔年】 特別研究
専	教授	吉中 孝志 ＜令和2年4月＞ D.Phil.(英文学) (英国)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 批評理論演習A【隔年】 批評理論演習B【隔年】 イギリス戯曲文学演習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		イギリス戯曲文学演習B イギリス戯曲文学演習C イギリス戯曲文学演習D 英語圏文学特殊講義A 英語圏文学特殊講義B 特別研究
専	教授	竹広(竹廣) 文明 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 日本考古学解析A【隔年】 日本考古学解析B【隔年】 考古資料評論 アジア比較考古学演習B【隔年】 考古学資料実習A【隔年】 考古学資料実習B 考古学資料実習C【隔年】 特別研究
専	教授	石田 弓 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 心理支援に関する理論と実践(臨床心理面接特講I) 教育分野に関する理論と支援の展開 臨床心理査定演習II 臨床心理基礎実習I 臨床心理基礎実習II 心理実践実習IV(臨床心理実習I) 臨床心理実習II 心理実践実習I 心理実践実習II 心理実践実習III 心理実践実習V 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	教授	瀧 敦弘 ＜令和2年4月＞ 農学修士
		人文社会科学と社会※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II 労働市場分析 特別研究
		友田 康信 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人文社会科学と社会※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		イギリス戯曲文学演習B イギリス戯曲文学演習C イギリス戯曲文学演習D 英語圏文学特殊講義A 英語圏文学特殊講義B 特別研究
専	教授	竹広(竹廣) 文明 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本考古学解析B【隔年】 考古資料評論 アジア比較考古学演習B【隔年】 特別研究
専	教授	石田 弓 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 心の健康教育に関する理論と実践※ 臨床心理面接特講I(心理支援に関する理論と実践) 教育分野に関する理論と支援の展開 臨床心理査定演習II 臨床心理基礎実習I 臨床心理基礎実習II 臨床心理実習I(心理実践実習IV) 臨床心理実習II 心理実践実習I(臨床心理実習IV) 心理実践実習II 心理実践実習III 心理実践実習V 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	教授	瀧 敦弘 ＜令和2年4月＞ 農学修士
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 人文社会科学と社会※ 経済学プログラム特別演習I 経済学プログラム特別演習II 労働市場分析 特別研究
		友田 康信 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人文社会科学と社会※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 開放マクロ経済学 特別研究
専	教授	小柏(河原) 葉子 〈令和2年4月〉 国際学修士
		人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 国際関係論 地域協力論 特別研究
専	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 異文化コミュニケーション論 異文化ビジネスコミュニケーション 特別研究
専	教授	岩崎 克己 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ コンピュータと言語研究・教育※ 特別研究
専	教授	中條 和光 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 開放マクロ経済学 特別研究
専	教授	小柏(河原) 葉子 〈令和2年4月〉 国際学修士
		人間社会科学特別講義※ リサーチ・リテラシー※ 国際関係論 地域協力論 特別研究
専	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 異文化コミュニケーション論 異文化ビジネスコミュニケーション 特別研究
専	教授	岩崎 克己 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ コンピュータと言語研究・教育※ 特別研究
専	教授	中條 和光 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	VALLINS DAVID MCNEILL 〈令和2年4月〉 哲学博士
		世界英語圏文学批評演習A 世界英語圏文学批評演習B 英語圏文学作品演習A 英語圏文学作品演習B 英語圏文学作品研究演習A 英語圏文学作品研究演習B 英語圏詩文学作品演習A 英語圏詩文学作品演習B 特別研究
専	教授	FEDERMAIR LEOPOLD 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (オーストリア)
		ドイツ語圏言語文化演習A【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習B【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習C【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習D【隔年】 特別研究
専	教授	湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II 心理学基礎演習III 心理学基礎演習IV 心理学応用演習I 心理学応用演習II 心理学応用演習III 心理学応用演習IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	折橋 洋介 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		行政法理論 行政法理論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	VALLINS DAVID MCNEILL 〈令和2年4月〉 哲学博士
		世界英語圏文学批評演習A 世界英語圏文学批評演習B 英語圏文学作品演習A 英語圏文学作品演習B 英語圏文学作品研究演習A 英語圏文学作品研究演習B 英語圏詩文学作品演習A 英語圏詩文学作品演習B 特別研究
専	教授	FEDERMAIR LEOPOLD 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (オーストリア)
		ドイツ語圏言語文化演習A【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習B【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習C【隔年】 ドイツ語圏言語文化演習D【隔年】 特別研究
専	教授	湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II 心理学基礎演習III 心理学基礎演習IV 心理学応用演習I 心理学応用演習II 心理学応用演習III 心理学応用演習IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	教授	折橋 洋介 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		行政法理論 行政法理論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横藤田 誠 〈令和2年4月〉 法学修士
		現代憲法論【隔年】 現代憲法論演習【隔年】 医療と人権【隔年】 精神科医療法制論【隔年】 特別研究
専	教授	鈴木 玉緒 〈令和2年4月〉 文学修士
		社会構造分析論 社会構造分析論演習 特別研究
専	教授	浅利 宙 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		家族支援社会論【隔年】 家族支援社会論演習【隔年】 医療社会学特論【隔年】 特別研究
専	教授	森邊 成一 〈令和2年4月〉 法学修士
		政策過程論【隔年】 日本政治論 日本政治論演習【隔年】 Politics in Japan 特別研究
専	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		租税法【隔年】 国際租税法【隔年】 租税法演習【隔年】 国際租税法演習【隔年】 特別研究
専	教授	堀田 親臣 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		不動産法 不動産法演習 特別研究
専	教授	松原 正至 〈令和2年4月〉 法学修士
		経営法務【隔年】 経営法務戦略論【隔年】 経営法務演習【隔年】 経営法務戦略論演習【隔年】 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横藤田 誠 〈令和2年4月〉 法学修士
		現代憲法論【隔年】 現代憲法論演習【隔年】 医療と人権【隔年】 精神科医療法制論【隔年】 特別研究
専	教授	鈴木 玉緒 〈令和2年4月〉 文学修士
		人文社会科学と社会※ 社会構造分析論 社会構造分析論演習 特別研究
専	教授	浅利 宙 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 家族支援社会論【隔年】 家族支援社会論演習【隔年】 医療社会学特論【隔年】 特別研究
専	教授	森邊 成一 〈令和2年4月〉 法学修士
		政策過程論【隔年】 日本政治論 日本政治論演習【隔年】 Politics in Japan 特別研究
専	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 租税法【隔年】 国際租税法【隔年】 租税法演習【隔年】 国際租税法演習【隔年】 特別研究
専	教授	堀田 親臣 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		不動産法 不動産法演習 特別研究
専	教授	松原 正至 〈令和2年4月〉 法学修士
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経営法務【隔年】 経営法務戦略論【隔年】 経営法務演習【隔年】 経営法務戦略論演習【隔年】 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三井 正信 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		雇用関係法【隔年】 雇用関係法演習 医療労務管理と法【隔年】 特別研究
専	教授	西谷 元 ＜令和2年4月＞ Master of Jurisprudence(Distinguished) (ニュージーランド)
		国際法【隔年】 国際機構法【隔年】 国際法演習【隔年】 国際機構法演習【隔年】 International Law and International Institutional Law 特別研究
専	教授	吉中 信人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		国際刑事政策 国際刑事法 国際刑事政策演習 医事法制度論【隔年】 医療刑事手続論【隔年】 特別研究
専	教授	山田 宏 ＜令和2年4月＞ 博士(社会経済)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 計量経済学Ⅰ 特別研究
専	教授	早川 和彦 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 計量経済学Ⅱ 特別研究
専	教授	西埜 晴久 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済統計分析

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三井 正信 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		雇用関係法【隔年】 雇用関係法演習 医療労務管理と法【隔年】 特別研究
専	教授	西谷 元 ＜令和2年4月＞ Master of Jurisprudence(Distinguished) (ニュージーランド)
		国際法【隔年】 国際機構法【隔年】 国際法演習【隔年】 国際機構法演習【隔年】 International Law and International Institutional Law 特別研究
専	教授	吉中 信人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 国際刑事政策 国際刑事法 国際刑事政策演習 医事法制度論【隔年】 医療刑事手続論【隔年】 特別研究
専	教授	山田 宏 ＜令和2年4月＞ 博士(社会経済)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 計量経済学Ⅰ 特別研究
専	教授	早川 和彦 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 計量経済学Ⅱ 特別研究
専	教授	西埜 晴久 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済統計分析

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	二村 博司 〈令和2年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 財政学 特別研究
専	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 国際公共政策 特別研究
専	教授	森 良次 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 欧米経済史1【隔年】 欧米経済史2【隔年】 特別研究
専	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		開発ミクロ経済学Ⅰ 開発ミクロ経済学Ⅱ 公共管理論 労働政策論 特別研究
専	教授	柿中 真 〈令和2年4月〉 博士(経済学) (米国)
		開発マクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅱ 国際金融論 特別研究
専	教授	長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		総合科学系演習 人間総合科学特論 ヨーロッパ社会論※ ヨーロッパ文化論※ 特別研究
専	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		総合科学系演習 人間総合科学特論 宗教学※ 宗教聖典論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 国際公共政策 特別研究
専	教授	森 良次 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 欧米経済史1【隔年】 欧米経済史2【隔年】 特別研究
専	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		公共管理論 労働政策論 特別研究
専	教授	柿中 真 〈令和2年4月〉 博士(経済学) (米国)
		開発マクロ経済学Ⅰ 開発マクロ経済学Ⅱ 国際金融論 特別研究
専	教授	長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		総合科学系演習 ヨーロッパ社会論※ ヨーロッパ文化論※ 特別研究
専	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		総合科学系演習 宗教学※ 宗教聖典論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	柴田 美紀 〈令和2年4月〉 Ph. D. (第二言語習得と教育) (米国) 心理言語学的アプローチからの第二言語習得※ 特別研究
専	教授	和田 正信 〈令和2年4月〉 博士 (体育科学) 運動生理・生化学※ 特別研究
専	教授	関矢 寛史 〈令和2年4月〉 Ph. D. (学術博士) (米国) 運動精神科学※ 特別研究
専	教授	坂田 省吾 〈令和2年4月〉 医学博士 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	教授	桑島 秀樹 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 美的感性論※ 比較芸術論 特別研究
専	教授	水羽 信男 〈令和2年4月〉 文学修士 アジア地域研究※ ヒロシマ平和学 特別研究
専	教授	丸田 孝志 〈令和2年4月〉 博士 (文学) アジア地域研究※ ヒロシマ平和学 特別研究
専	教授	平手 友彦 〈令和2年4月〉 博士 (言語文化学) 社会文化史 教育文化史 特別研究
専	教授	FUNCK, CAROLIN・ELISABETH HANNA 〈令和2年4月〉 Dr. rer. nat (博士理学) (ドイツ) 持続可能な観光発展論※ 文化観光論※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	教授	柴田 美紀 〈令和2年4月〉 Ph. D. (第二言語習得と教育) (米国) 心理言語学的アプローチからの第二言語習得※ 特別研究
専	教授	和田 正信 〈令和2年4月〉 博士 (体育科学) 運動生理・生化学※ 特別研究
専	教授	関矢 寛史 〈令和2年4月〉 Ph. D. (学術博士) (米国) 運動精神科学※ 特別研究
専	教授	坂田 省吾 〈令和2年4月〉 医学博士 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	教授	桑島 秀樹 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 美的感性論※ 比較芸術論 特別研究
専	教授	水羽 信男 〈令和2年4月〉 文学修士 アジア地域研究※ ヒロシマ平和学 特別研究
専	教授	丸田 孝志 〈令和2年4月〉 博士 (文学) アジア地域研究※ ヒロシマ平和学 特別研究
専	教授	平手 友彦 〈令和2年4月〉 博士 (言語文化学) 社会文化史 教育文化史 特別研究
専	教授	FUNCK, CAROLIN・ELISABETH HANNA 〈令和2年4月〉 Dr. rer. nat (博士理学) (ドイツ) 持続可能な観光発展論※ 文化観光論※ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	材木 和雄 〈令和2年4月〉 文学修士 社会動態論 社会構造論 特別研究
専	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える※ 人間社会科学特別講義※ Peace and Co-existence A※ Peace and Conflict Research I Peace and Conflict Research II 特別研究
専	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 公共経済学 特別研究
専	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ インド哲学研究 インド哲学史講義 インド哲学演習A インド哲学演習B インド哲学史演習A インド哲学史演習B インド哲学仏教学総合演習A インド哲学仏教学総合演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小池 聖一 〈令和2年4月〉 博士(史学) 日本現代史 特別研究
専	教授	関村 誠 〈令和2年4月〉 Ph.D.(哲学) (ベルギー) 文化哲学※ 実践倫理学※ 現代哲学※
専	教授	材木 和雄 〈令和2年4月〉 文学修士 社会動態論 社会構造論 特別研究
専	教授	宮崎 浩一 〈令和2年4月〉 Ph.D.(Economics) (米国) 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える※ 人間社会科学特別講義※ Peace and Co-existence A※ Peace and Conflict Research I Peace and Conflict Research II 特別研究
専	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ SDGsへの学問的アプローチB※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 公共経済学 特別研究
専	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ インド哲学研究 インド哲学史講義 インド哲学演習A インド哲学演習B インド哲学史演習A インド哲学史演習B インド哲学仏教学総合演習A インド哲学仏教学総合演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	後藤 雄太 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 倫理学基礎演習A 倫理学基礎演習B 応用倫理学方法論研究A 応用倫理学方法論研究B 特別研究
専	准教授	奈良 勝司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本近代資料解析論A【隔年】 日本近代資料解析論B【隔年】 日本近代社会文化研究A【隔年】 日本近代社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ 言語研究法講義I A【隔年】 言語研究法講義I B【隔年】 言語研究法講義II A【隔年】 言語研究法講義II B【隔年】 歴史・対照言語学演習A【隔年】 歴史・対照言語学演習B【隔年】 歴史・対照言語学特別演習A【隔年】 歴史・対照言語学特別演習B【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論講義A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論講義B【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習B【隔年】 理論・応用言語学演習A【隔年】 理論・応用言語学演習B【隔年】 特別研究
専	准教授	伊藤 奈保子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 総合文化財研究法I【隔年】 総合文化財研究法II【隔年】 総合文化財調査実習I【隔年】 総合文化財調査実習II【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	後藤 雄太 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 倫理学基礎演習A 倫理学基礎演習B 応用倫理学方法論研究A 応用倫理学方法論研究B 特別研究
専	准教授	奈良 勝司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 日本地域文献資料実習【隔年】 日本地域史研究実習【隔年】 日本近代資料解析論A【隔年】 日本近代資料解析論B【隔年】 日本近代社会文化研究A【隔年】 日本近代社会文化研究B【隔年】 特別研究
専	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ 言語研究法講義I A【隔年】 言語研究法講義I B【隔年】 言語研究法講義II A【隔年】 言語研究法講義II B【隔年】 歴史・対照言語学演習A【隔年】 歴史・対照言語学演習B【隔年】 歴史・対照言語学特別演習A【隔年】 歴史・対照言語学特別演習B【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論講義A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論講義B【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習B【隔年】 理論・応用言語学演習B【隔年】 特別研究
専	准教授	伊藤 奈保子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人文社会科学と社会 ※ 総合文化財研究法I【隔年】 総合文化財研究法II【隔年】 総合文化財調査実習I【隔年】 総合文化財調査実習II【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		総合文化財解析演習Ⅰ【隔年】 総合文化財解析演習Ⅱ【隔年】 特別研究
専	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 臨床心理学特講Ⅰ 心の健康教育に関する理論と実践※ 臨床心理面接特講Ⅱ 心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習Ⅰ) 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅳ(臨床心理実習Ⅰ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	准教授	大河内 治 ＜令和2年4月＞ Ph.D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済戦略論 特別研究
専	准教授	松嶋 健 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※ フィールドワーク論 コミュニケーション原論 特別研究
専	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 適応行動論※ 適応行動論※
		梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph.D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		総合文化財解析演習Ⅰ【隔年】 総合文化財解析演習Ⅱ【隔年】 特別研究
専	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 臨床心理学特講Ⅰ 心理療法特講 心の健康教育に関する理論と実践※ 臨床心理面接特講Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(臨床心理実習Ⅳ) 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	准教授	大河内 治 ＜令和2年4月＞ Ph.D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済戦略論 特別研究
専	准教授	松嶋 健 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※ リサーチ・リテラシー※ フィールドワーク論 コミュニケーション原論 特別研究
専	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 適応行動論※ 特別研究
		梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph.D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	赤井 清晃 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学のための科学史※ 哲学文献資料研究A 哲学文献資料研究B 西洋哲学史文献資料研究A 西洋哲学史文献資料研究B 特別研究
専	准教授	船田 善之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 アジア地域文化論A【隔年】 アジア地域文化論B【隔年】 アジア交流史史料研究A【隔年】 アジア交流史史料研究B【隔年】 中国制度史史料講義A【隔年】 中国制度史史料講義B【隔年】 中国文化史史料研究A【隔年】 中国文化史史料研究B【隔年】 特別研究
		後藤 秀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 自然地理学特別講義【隔年】 自然地理学基礎論演習A【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	人分社会科学と社会 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	赤井 清晃 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学のための科学史※ 哲学文献資料研究A 哲学文献資料研究B 西洋哲学史文献資料研究A 西洋哲学史文献資料研究B 特別研究
専	准教授	船田 善之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流—日本と世界—※【隔年】 アジア地域文化論A【隔年】 アジア地域文化論B【隔年】 アジア交流史史料研究A【隔年】 アジア交流史史料研究B【隔年】 中国制度史史料講義A【隔年】 中国制度史史料講義B【隔年】 中国文化史史料研究A【隔年】 中国文化史史料研究B【隔年】 特別研究
		後藤 秀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※ 自然地理学基礎論演習A【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	自然地理学基礎論演習B【隔年】 地表変動論演習A【隔年】 地表変動論演習B【隔年】 地表変動論研究 地理情報システム学講義 地理情報システム学演習 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph.D (経済学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 応用ファイナンス 特別研究
専	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士 (工学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済情報分析 特別研究
専	准教授	陳 俊甫 〈令和2年4月〉 博士 (経営学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ 市場戦略論 サービス経営論
専	准教授	徐 恩之 〈令和2年4月〉 博士 (商学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ マーケティング論 国際マーケティング戦略論 特別研究
		清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士 (臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	自然地理学基礎論演習B【隔年】 地表変動論演習A【隔年】 地表変動論演習B【隔年】 地表変動論研究 地理情報システム学講義 地理情報システム学演習 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph.D (経済学)
専	准教授	人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 応用ファイナンス 特別研究
専	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士 (工学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済情報分析 特別研究
専	准教授	陳 俊甫 〈令和2年4月〉 博士 (経営学)
専	准教授	人間社会科学のための科学史※ リサーチ・リテラシー※ 市場戦略論 サービス経営論 特別研究
		清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士 (臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 幼児心理学観察演習 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	上泉(木庭) 康樹 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学) 人間社会科学のための科学史※ 運動精神科学※ 特別研究
専	准教授	小川 景子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※ 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	准教授	有賀 敦紀 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学のための科学史※ 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	准教授	大嶋 広美 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) (中国) 人間社会科学のための科学史※ 言語構造論※ 言語類型研究※ 特別研究
専	准教授	山根 明子 ＜令和2年4月＞ Ph. D(言語学) (カナダ) 異分野協働プロジェクト 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 金融資本市場分析 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 幼児心理学観察演習 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	上泉(木庭) 康樹 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学) 人間社会科学のための科学史※ 運動精神科学※ 特別研究
専	准教授	小川 景子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※ 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	准教授	有賀 敦紀 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学のための科学史※ 認知科学論※ 比較認知論※ 特別研究
専	准教授	大嶋 広美 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) (中国) 人間社会科学のための科学史※ 言語構造論※ 言語類型研究※ 特別研究
専	准教授	山根 明子 ＜令和2年4月＞ Ph. D(言語学) (カナダ) 異分野協働プロジェクト 経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 金融資本市場分析 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) (英国)
		異分野協働プロジェクト Peace and Co-existence B※ Hiroshima Peace Heritage I Hiroshima Peace Heritage II 特別研究
専	准教授	秋山 高志 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ リサーチ・リテラシー※ イノベーション・マネジメント論 経営戦略論 特別研究
専	准教授	奥居 正樹 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ 経営情報システム論 企業とコミュニケーション アジアビジネス事情 特別研究
専	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence B※ Conflict Resolution I Conflict Resolution II 特別研究
専	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ International Security I International Security II 特別研究
専	准教授	眞嶋 俊造 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Ethics) (英国)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence A※ International Ethics I International Ethics II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) (英国)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ 異分野協働プロジェクト Peace and Co-existence B※ Hiroshima Peace Heritage I Hiroshima Peace Heritage II 特別研究
専	准教授	秋山 高志 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		イノベーション・マネジメント論 経営戦略論 特別研究
専	准教授	奥居 正樹 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ リサーチ・リテラシー※ 経営情報システム論 企業とコミュニケーション アジアビジネス事情 特別研究
専	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence B※ Conflict Resolution I Conflict Resolution II 特別研究
専	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ 人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ International Security I International Security II 特別研究
専	准教授	眞嶋 俊造 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Ethics) (英国)
		人文社会科学のための研究法と倫理※ Peace and Co-existence A※ International Ethics I International Ethics II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		現代哲学※ 文化哲学※ 実践倫理学※ 特別研究
専	准教授	三村 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 科学・技術・社会論※ 特別研究
専	准教授	中島 健一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II 心理学基礎演習III 心理学基礎演習IV 心理学応用演習I 心理学応用演習II 心理学応用演習III 心理学応用演習IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	深見 兼孝 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人文社会科学のための研究法と倫理※ 特別研究
専	准教授	碓 智樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 西洋哲学演習A 西洋哲学演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		現代哲学※ 文化哲学※ 実践倫理学※ 特別研究
専	准教授	中島 健一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II 心理学基礎演習III 心理学基礎演習IV 心理学応用演習I 心理学応用演習II 心理学応用演習III 心理学応用演習IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	深見 兼孝 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人文社会科学のための研究法と倫理※ ヨーロッパ語比較構文論講義A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論講義B【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習A【隔年】 ヨーロッパ語比較構文論演習B【隔年】 特別研究
専	准教授	碓 智樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 西洋哲学演習A 西洋哲学演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		西洋哲学史演習A 西洋哲学史演習B 特別研究
専	准教授	足立 孝 ＜令和2年4月＞ 博士(歴史学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 西洋社会史文書研究A 西洋社会史文書研究B 西洋文化史文書研究A 西洋文化史文書研究B 特別研究
専	准教授	下岡 友加 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ 日本近現代文学注釈研究C【隔年】 日本近現代文学注釈研究D【隔年】 日本近現代文学解読研究C【隔年】 日本近現代文学解読研究D【隔年】 特別研究
専	准教授	白井 純 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		人文社会科学と社会※ 日本語学研究A【隔年】 日本語学研究B【隔年】 日本語史研究A【隔年】 日本語史研究B【隔年】 特別研究
専	准教授	陳 チュウ ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 中国古典韻文演習A 中国古典韻文演習B 中国古典韻文演習C 中国古典韻文演習D 特別研究
専	准教授	大野 英志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 英語学概論A 英語学概論B 中期英語概論A【隔年】 中期英語概論B【隔年】 中期英語作品研究演習A【隔年】 中期英語作品研究演習B【隔年】 英語学特殊講義A 英語学特殊講義B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		西洋哲学史演習A 西洋哲学史演習B 特別研究
専	准教授	足立 孝 ＜令和2年4月＞ 博士(歴史学)
		人文社会科学と社会※ 歴史文化研究※【隔年】 文化交流－日本と世界－※【隔年】 西洋社会史文書研究A 西洋社会史文書研究B 西洋文化史文書研究A 西洋文化史文書研究B 特別研究
専	准教授	下岡 友加 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ 日本近現代文学注釈研究C【隔年】 日本近現代文学注釈研究D【隔年】 日本近現代文学解読研究C【隔年】 日本近現代文学解読研究D【隔年】 特別研究
専	准教授	白井 純 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		人文社会科学と社会※ 日本語学研究A【隔年】 日本語学研究B【隔年】 日本語史研究A【隔年】 日本語史研究B【隔年】 特別研究
専	准教授	陳 チュウ ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 中国古典韻文演習A 中国古典韻文演習B 中国古典韻文演習C 中国古典韻文演習D 特別研究
専	教授	大野 英志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 英語学概論A 英語学概論B 中期英語概論A【隔年】 中期英語概論B【隔年】 中期英語作品研究演習A【隔年】 中期英語作品研究演習B【隔年】 英語学特殊講義A 英語学特殊講義B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	今道 晴彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 近現代ドイツ語学演習A【隔年】 近現代ドイツ語学演習B【隔年】 ドイツ語コーパス言語学A【隔年】 ドイツ語コーパス言語学B【隔年】 特別研究
専	准教授	後藤 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 人文地理学特別講義【隔年】 人文地理学基礎論演習A【隔年】 人文地理学基礎論演習B【隔年】 世界地域システム論演習A【隔年】 世界地域システム論演習B【隔年】 条件不利地域の地理学【隔年】 農村地理学研究【隔年】 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	准教授	有松 唯 ＜令和2年4月＞ Docteur des langues, histoire et civilisations des mondes anciens (フランス)
		人文社会科学と社会※ 世界考古学解析A【隔年】 世界考古学解析B【隔年】 アジア比較考古学演習A【隔年】 考古学資料実習A【隔年】 考古学資料実習B 考古学資料実習C【隔年】 特別研究
専	准教授	尾形(宮崎) 明子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 臨床心理学特講Ⅰ 臨床心理学特講Ⅱ 心の健康教育に関する理論と実践※ 教育分野に関する理論と支援の展開 臨床心理基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅳ(臨床心理実習Ⅰ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	今道 晴彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ 欧米文学語学・言語学概説※ 近現代ドイツ語学演習A【隔年】 近現代ドイツ語学演習B【隔年】 ドイツ文学言語学特殊講義B ドイツ語コーパス言語学A【隔年】 ドイツ語コーパス言語学B【隔年】 特別研究
専	准教授	後藤 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学と社会※ 人文地理学特別講義【隔年】 人文地理学基礎論演習A【隔年】 人文地理学基礎論演習B【隔年】 世界地域システム論演習A【隔年】 世界地域システム論演習B【隔年】 条件不利地域の地理学【隔年】 農村地理学研究【隔年】 地理学野外実験 地理学野外演習 特別研究
専	准教授	有松 唯 ＜令和2年4月＞ Docteur des langues, histoire et civilisations des mondes anciens (フランス)
		人文社会科学と社会※ 世界考古学解析A【隔年】 世界考古学解析B【隔年】 アジア比較考古学演習A【隔年】 考古学資料実習A【隔年】 考古学資料実習B 考古学資料実習C【隔年】 特別研究
専	准教授	尾形(宮崎) 明子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人文社会科学と社会※ 臨床心理学特講Ⅰ 臨床心理学特講Ⅱ 心理療法特講 心の健康教育に関する理論と実践※ 教育分野に関する理論と支援の展開 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ) 臨床心理実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ(臨床心理実習Ⅳ) 心理実践実習Ⅱ 心理実践実習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理実践実習V 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	准教授	相馬 敏彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 社会心理学特論 社会行動データ解析 特別研究
専	准教授	原田 隆 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 情報システム管理学 情報ネットワーク論 特別研究
専	准教授	山根 典子 ＜令和2年4月＞ Ph. D (言語学) 人文社会科学と社会※ 実験言語学※
専	准教授	田中 亮 ＜令和2年4月＞ 博士(マネジメント) 人文社会科学と社会※ 運動適応学※ 特別研究
専	准教授	中尾 敬 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理実践実習V 心理実践実習A 心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D 特別研究
専	准教授	相馬 敏彦 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ マーケティング論 社会心理学特論 社会行動データ解析 特別研究
専	准教授	原田 隆 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 人文社会科学と社会※ リサーチ・リテラシー※ 情報システム管理学 情報ネットワーク論 特別研究
専	准教授	山根 典子 ＜令和2年4月＞ Ph. D (言語学) 人文社会科学と社会※ 実験言語学※ 特別研究
専	准教授	田中 亮 ＜令和2年4月＞ 博士(マネジメント) 人文社会科学と社会※ 運動適応学※ 特別研究
専	准教授	中尾 敬 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	LAURI KITSNIK ＜令和2年4月＞ 博士(日本学)
		超域文化論講義A 超域文化論講義B 超域文化論演習A 超域文化論演習B 特別研究
専	准教授	倉田 賢一 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (英文学・比較文学)
		欧米文学語学・言語学概説※ イギリス小説作品研究演習A イギリス小説作品研究演習B イギリス小説作品演習A イギリス小説作品演習B 英語圏文学特殊講義A 英語圏文学特殊講義B 特別研究
専	准教授	BEAUVIEUX MARIE NOELLE BENEDICTE ISABELL ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		フランス語文学研究A【隔年】 フランス語文学研究B【隔年】 フランス語文学・フランス語学演習A【隔年】 フランス語文学・フランス語学演習B【隔年】 フランス語圏文化論演習A【隔年】 フランス語圏文化論演習B【隔年】 特別研究
専	准教授	LORRILLARD OLIVIER ALAIN ＜令和2年4月＞ Master 2, français langue étrangère (フランス) C. A. P. E. S., lettres classiques (フランス)
		フランス語コミュニケーションと修辞学演習A【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習B【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習C【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習D【隔年】 フランス語圏文化論演習C【隔年】 フランス語圏文化論演習D【隔年】 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	准教授	LAURI KITSNIK ＜令和2年4月＞ 博士(日本学)
		超域文化論講義A 超域文化論講義B 超域文化論演習A 超域文化論演習B 特別研究
専	准教授	BEAUVIEUX MARIE NOELLE BENEDICTE ISABELL ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		フランス語文学研究A【隔年】 フランス語文学研究B【隔年】 フランス語文学・フランス語学演習A【隔年】 フランス語文学・フランス語学演習B【隔年】 フランス語圏文化論演習A【隔年】 フランス語圏文化論演習B【隔年】 特別研究
専	准教授	LORRILLARD OLIVIER ALAIN ＜令和2年4月＞ Master 2, français langue étrangère (フランス) C. A. P. E. S., lettres classiques (フランス)
		フランス語コミュニケーションと修辞学演習A【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習B【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習C【隔年】 フランス語コミュニケーションと修辞学演習D【隔年】 フランス語圏文化論演習C【隔年】 フランス語圏文化論演習D【隔年】 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 昌浩 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 企業組織法【隔年】 企業ファイナンス法【隔年】 企業組織法演習【隔年】 企業ファイナンス法演習【隔年】 特別研究
専	准教授	井上 嘉仁 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		憲法理論 憲法理論演習 特別研究
専	准教授	田中 優輝 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		刑事システム論 刑事システム論演習 医事刑法論【隔年】 特別研究
専	准教授	茂木 康俊 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		比較自治体論【隔年】 比較自治体論演習【隔年】 公共経営論 地域経営論 特別研究
専	准教授	山口 幹雄 ＜令和2年4月＞ Master of Laws(米国)
		契約法 契約法演習 特別研究
専	准教授	長久(野井) 明日香 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		国際政治経済論 国際政治経済論演習 特別研究
専	准教授	湯川 勇人 ＜令和2年4月＞ 博士(政治学)
		外交論 外交論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 昌浩 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人文社会科学と社会※ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 企業組織法【隔年】 企業ファイナンス法【隔年】 企業組織法演習【隔年】 企業ファイナンス法演習【隔年】 特別研究
専	准教授	井上 嘉仁 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学のための科学史※ 憲法理論 憲法理論演習 特別研究
専	准教授	茂木 康俊 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		比較自治体論【隔年】 比較自治体論演習【隔年】 特別研究
専	准教授	山口 幹雄 ＜令和2年4月＞ Master of Laws(米国)
		契約法 契約法演習 特別研究
専	准教授	長久(野井) 明日香 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		人文社会科学と社会※ 国際政治経済論 国際政治経済論演習 特別研究
専	准教授	湯川 勇人 ＜令和2年4月＞ 博士(政治学)
		外交論 外交論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 紫帆 ＜令和2年4月＞ 博士(現代法学)
		国際関係私法 国際関係私法演習 特別研究
専	准教授	安武 公一 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 応用国際公共政策 特別研究
専	准教授	宮澤 和敏 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済学史1【隔年】 経済学史2【隔年】 特別研究
専	准教授	増澤 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ ミクロ経済学 特別研究
専	准教授	長坂 格 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Contemporary Anthropology II 社会人類学 民族誌論 特別研究
専	准教授	高橋 新吾 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) (米國)
		人間社会科学のための科学史※ 開発計量経済学Ⅰ 開発計量経済学Ⅱ 労働政策論 特別研究
専	准教授	高橋 与志 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		技術経営論 技術経営論 人的資源開発論 特別研究
専	准教授	町田 章 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		言語構造論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安武 公一 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 応用国際公共政策 特別研究
専	准教授	宮澤 和敏 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ 経済学史1【隔年】 経済学史2【隔年】 特別研究
専	准教授	増澤 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		経済学プログラム特別演習Ⅰ 経済学プログラム特別演習Ⅱ ミクロ経済学 特別研究
専	教授	長坂 格 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Peace and Co-existence A※ Contemporary Anthropology II 社会人類学 民族誌論 特別研究
専	准教授	高橋 新吾 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) (米國)
		人間社会科学のための科学史※ 開発計量経済学Ⅰ 開発計量経済学Ⅱ 特別研究
専	准教授	高橋 与志 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人文社会科学と社会※ 技術経営論 人的資源開発論 特別研究
専	准教授	町田 章 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		言語構造論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		言語類型研究※ 特別研究
専	准教授	TAFERNER ROBERT HORST 〈令和2年4月〉 修士(教育学) (米国) 心理言語学的アプローチからの第二言語習得※ 特別研究
専	准教授	CLENTON JONATHAN STUART MICHAEL 〈令和2年4月〉 博士(応用言語学) 実験言語学※ 特別研究
専	准教授	緒形(大下) ひとみ 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ医学) 運動生理・生化学※ 特別研究
専	准教授	小宮 あすか 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会行動論※ 特別研究
専	准教授	GRAJDIAN MARIA MIHAELA 〈令和2年4月〉 Ph. D.(音楽学) (ドイツ) 美的感性論※ 比較芸術論 特別研究
専	准教授	RIGSBY CURTIS ANDREW 〈令和2年4月〉 博士(哲学) 比較宗教思想史※ マイノリティ文化思想※ 特別研究
専	准教授	辻 輝之 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Comparative Sociology) (米国) 比較宗教思想史※ マイノリティ文化思想※ 特別研究
専	准教授	渡邊 誠 〈令和2年4月〉 博士(文学) 日本地域研究 日本古代資料解析論【隔年】 日本古代社会文化研究【隔年】 アジア文化論(伝統文化) 特別研究
専	准教授	柳瀬 善治 〈令和2年4月〉 博士(学術) 日本地域研究 日本文藝社会研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		言語類型研究※ 特別研究
専	准教授	TAFERNER ROBERT HORST 〈令和2年4月〉 修士(教育学) (米国) 心理言語学的アプローチからの第二言語習得※ 特別研究
専	准教授	CLENTON JONATHAN STUART MICHAEL 〈令和2年4月〉 博士(応用言語学) 実験言語学※ 特別研究
専	准教授	緒形(大下) ひとみ 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ医学) 運動生理・生化学※ 特別研究
専	准教授	小宮 あすか 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会行動論※ 特別研究
専	准教授	GRAJDIAN MARIA MIHAELA 〈令和2年4月〉 Ph. D.(音楽学) (ドイツ) 美的感性論※ 比較芸術論 特別研究
専	准教授	RIGSBY CURTIS ANDREW 〈令和2年4月〉 博士(哲学) 比較宗教思想史※ マイノリティ文化思想※ 特別研究
専	准教授	辻 輝之 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Comparative Sociology) (米国) 比較宗教思想史※ マイノリティ文化思想※ 特別研究
専	准教授	渡邊 誠 〈令和2年4月〉 博士(文学) 日本地域研究 アジア文化論(伝統文化) 特別研究
専	准教授	柳瀬 善治 〈令和2年4月〉 博士(学術) 日本近現代文学解読研究C 日本地域研究 日本文藝社会研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	李 郁恵 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		日本文藝社会研究 アジア文化論(現代文化) 特別研究
専	准教授	崔 真碩 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		アジア文化論(現代文化) アジア文化論(表象文化) 特別研究
専	准教授	薩摩 真介 ＜令和2年4月＞ Ph. D(History) (英国)
		欧米地域研究※ 特別研究
専	准教授	春日 あゆか ＜令和2年4月＞ Ph. D (Geography) (英国)
		欧米地域研究※ 特別研究
専	准教授	的場 いづみ ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		英米文化論 英米文藝社会研究 特別研究
専	准教授	城戸(竹野) 光世 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		英米文化論 英米文藝社会研究 特別研究
専	准教授	杉木(柴田) 恒彦 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		宗教学※ 宗教聖典論 特別研究
専	准教授	SCHLARB HANS MICHAEL ＜令和2年4月＞ M. A (文学修士) (ドイツ)
		異文化理解 特別研究
専	准教授	園井 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会動態論 社会構造論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		日本現代史 特別研究
専	准教授	李 郁恵 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		日本文藝社会研究 アジア文化論(現代文化) 特別研究
専	准教授	崔 真碩 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		アジア文化論(現代文化) アジア文化論(表象文化) 特別研究
専	准教授	薩摩 真介 ＜令和2年4月＞ Ph. D(History) (英国)
		欧米地域研究※ 特別研究
専	准教授	春日 あゆか ＜令和2年4月＞ Ph. D (Geography) (英国)
		欧米地域研究※ 特別研究
専	准教授	的場 いづみ ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		英米文化論 英米文藝社会研究 特別研究
専	准教授	城戸(竹野) 光世 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		英米文化論 英米文藝社会研究 特別研究
専	准教授	杉木(柴田) 恒彦 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		宗教学※ 宗教聖典論 特別研究
専	准教授	SCHLARB HANS MICHAEL ＜令和2年4月＞ M. A (文学修士) (ドイツ)
		異文化理解 特別研究
専	准教授	園井 ゆり ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		社会動態論 社会構造論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	白川 俊之 〈令和2年4月〉 博士(社会学)
		社会学研究法 特別研究
専	准教授	佐々木 宏 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		社会学研究法 福祉社会論※ 特別研究
専	准教授	河本 尚枝 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		福祉社会論※ 特別研究
専	准教授	李 東碩 〈令和2年4月〉 経済学修士
		世界経済体制論 産業システム論 特別研究
専	准教授	山崎 修嗣 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		世界経済体制論 産業システム論 特別研究
専	准教授	福田 恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		農村環境社会論 地域情報論 特別研究
専	准教授	匹田 篤 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		持続可能地域論 地域情報論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	白川 俊之 〈令和2年4月〉 博士(社会学)
		社会学研究法 特別研究
専	准教授	佐々木 宏 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		社会学研究法 福祉社会論※ 特別研究
専	准教授	河本 尚枝 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		福祉社会論※ 特別研究
専	准教授	李 東碩 〈令和2年4月〉 経済学修士
		世界経済体制論 産業システム論 特別研究
専	准教授	山崎 修嗣 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		世界経済体制論 産業システム論 特別研究
専	准教授	福田 恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		農村環境社会論 地域情報論 特別研究
専	准教授	匹田 篤 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		持続可能地域論 地域情報論 特別研究
専	准教授	田村 典久 〈令和2年4月〉 博士(臨床心理学)
		臨床心理学特講 I 心の健康教育に関する理論と実践 ※ 臨床心理基礎実習 II 心理実践実習 I (臨床心理実習 IV) 臨床心理実習 II 心理実践実習 II 心理実践実習 III 心理実践実習 V 心理実践実習 A 心理実践実習 B 心理実践実習 C 心理実践実習 D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 人間社会科学特別講義※ コスト・マネジメント 管理会計論 特別研究
専	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※ Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ Basic Cultural Anthropology I Contemporary Anthropology I 特別研究
専	講師	平川 真 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		特別研究
専	准教授	高島 伸幸 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 経済学プログラム特別演習 I 経済学プログラム特別演習 II 産業組織と政策分析 特別研究
専	准教授	NIRAJ PRAKASH JOSHI 〈令和2年4月〉 博士(学術) 農業生産経済分析
専	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 人間社会科学特別講義※ リサーチ・リテラシー※ コスト・マネジメント 管理会計論 財務会計論 特別研究
専	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※ Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ Basic Cultural Anthropology I Contemporary Anthropology I 特別研究
専	講師	平川 真 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 人文社会科学のための研究法と倫理※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	講師	葛 虹 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		日本法概説 1 日本法概説 2
専	講師	河合 信晴 ＜令和2年4月＞ Ph.D (Zeitgeschichte:現代史) (ドイツ)
		ヨーロッパ社会論※ ヨーロッパ文化論※ 特別研究
専	講師	張 慶在 ＜令和2年4月＞ 博士(観光学)
		持続可能な観光発展論※ 文化観光論※ 特別研究
専	助教	古川 昌文 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ ドイツ近現代文学演習A【隔年】 ドイツ近現代文学演習B【隔年】 ドイツ小説演習A【隔年】 ドイツ小説演習B【隔年】 特別研究
		吉田 有紀 ＜令和2年4月＞ 博士(サステイナビリティ学)
		人間社会科学特別講義※ マネジメント特講(サステイナビリティ・マネジメント論) マネジメント特講(地域創成論) 特別研究
		人間社会科学のための科学史※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	講師	葛 虹 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		日本法概説 1 日本法概説 2 特別研究
専	准教授	河合 信晴 ＜令和2年4月＞ Ph.D (Zeitgeschichte:現代史) (ドイツ)
		ヨーロッパ社会論※ ヨーロッパ文化論※ 特別研究
専	講師	張 慶在 ＜令和2年4月＞ 博士(観光学)
		持続可能な観光発展論※ 文化観光論※ 特別研究
専	助教	古川 昌文 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 欧米文学語学・言語学概説※ ドイツ近現代文学演習A【隔年】 ドイツ近現代文学演習B【隔年】 ドイツ小説演習A【隔年】 ドイツ小説演習B【隔年】 特別研究
		吉田 有紀 ＜令和2年4月＞ 博士(サステイナビリティ学)
		人文社会科学と社会※ 人間社会科学特別講義※ リサーチ・リテラシー※ マネジメント特講(サステイナビリティ・マネジメント論) マネジメント特講(地域創成論) 特別研究
		井上 祐樹 ＜令和2年4月＞ 博士(技術経営) 人間社会科学のための科学史※ リサーチ・リテラシー※ マネジメント特講(ビジネス・エコシステム論) マネジメント特講(ビジネスデータ解析) マネジメント特講(日本の組織と経営) 特別研究
		藤田 衛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中国思想文献研究 A 中国思想文献研究 B 中国思想文献研究 C 中国思想文献研究 D 特別研究
専	助教	松本 舞 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ イギリス詩文学作品演習 A イギリス詩文学作品演習 B イギリス詩文学作品研究演習 A イギリス詩文学作品研究演習 B 英語圏文学概論 A 英語圏文学概論 B 英語圏文学特殊講義 A 英語圏文学特殊講義 B 特別研究
専	助教	奥村 真理子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ フランス文学特別研究演習 A【隔年】 フランス文学特別研究演習 B【隔年】 特別研究
専	助教	神原 利宗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習 A 心理学研究法基礎演習 B 心理学研究法応用演習 A 心理学研究法応用演習 B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講 A【隔年】 心理学特講 B【隔年】 心理学特講 C【隔年】 心理学特講 D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中国思想文献研究 A 中国思想文献研究 B 中国思想文献研究 C 中国思想文献研究 D 中国思想文化学研究法 A 中国思想文化学研究法 B 中国思想文化学研究法 C 中国思想文化学研究法 D 特別研究
専	助教	松本 舞 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ イギリス詩文学作品演習 A イギリス詩文学作品演習 B イギリス詩文学作品研究演習 A イギリス詩文学作品研究演習 B 英語圏文学概論 A 英語圏文学概論 B 英語圏文学特殊講義 A 英語圏文学特殊講義 B 特別研究
専	助教	奥村 真理子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 欧米文学語学・言語学概説※ フランス文学特別研究演習 A【隔年】 フランス文学特別研究演習 B【隔年】 特別研究
専	助教	神原 利宗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		人間社会科学のための科学史※ 心理学研究法基礎演習 A 心理学研究法基礎演習 B 心理学研究法応用演習 A 心理学研究法応用演習 B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講 A【隔年】 心理学特講 B【隔年】 心理学特講 C【隔年】 心理学特講 D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	助教	吉本 早苗 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学のための研究法と倫理※
専	助教	劉 金鵬 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 比較日本文化学研究A 比較日本文化学研究B 日本文化論講義B 日本文化論演習B 特別研究
専	助教	ISLAM MOINUL ＜令和2年4月＞ 博士(工学) リサーチメソッド
専	助教	古田 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 政治倫理論【隔年】 政治倫理論演習【隔年】 比較政治思想論【隔年】 比較政治思想論演習【隔年】
専	助教	金 ミンジュ ＜令和2年4月＞ 修士(法学) (韓国) 物件管理法 物件管理法演習
専	助教	中川 雅央 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学特別講義※ マクロ経済学
専	助教	SIMANGAN DAHLIA COLLADO ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy (オーストラリア) Peace and Co-existence A※ Peacebuilding Case Studies グローバルガバナンス論
専	助教	伊藤 岳 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ International Relations

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
専	助教	吉本 早苗 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学のための研究法と倫理※
専	助教	劉 金鵬 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人文社会科学と社会※ 比較日本文化学研究A 比較日本文化学研究B 日本文化論講義B 日本文化論演習B 特別研究
専	助教	ISLAM MOINUL ＜令和2年4月＞ 博士(工学) リサーチメソッド
専	助教	古田 拓也 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※ 政治倫理論【隔年】 政治倫理論演習【隔年】 比較政治思想論【隔年】 比較政治思想論演習【隔年】 特別研究
専	助教	金 ミンジュ ＜令和2年4月＞ 修士(法学) (韓国) 物件管理法 物件管理法演習 特別研究
専	助教	中川 雅央 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人文社会科学と社会※ マクロ経済学
専	助教	SIMANGAN DAHLIA COLLADO ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy (オーストラリア) Peacebuilding Case Studies グローバルガバナンス論
専	助教	伊藤 岳 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) Peace and Co-existence A※ Peace and Co-existence B※ International Relations

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会科学のための数理・計量分析
専	助教	SHARIFI AYYOUB ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		都市政策論
専	助教	加藤 荘志 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		運動制御学※
専	助教	笛吹 理絵 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		社会科学のための数理・計量分析
専	准教授	SHARIFI AYYOUB ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		都市政策論
専	助教	加藤 荘志 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		運動制御学※
専	助教	笛吹 理絵 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
		地理学研究法A 地理学研究法B 特別研究
専	助教	重松 恵梨 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		英語学概論A 英語学概論B 英語学特殊講義A 英語学特殊講義B 特別研究
専	助教	中村 泰朗 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		地域文化財研究法I【隔年】 地域文化財研究法II【隔年】 地域文化財解析演習I【隔年】 地域文化財解析演習II【隔年】 地域文化財調査実習I【隔年】 地域文化財調査実習II【隔年】 特別研究
専	助教	日原 尚吾 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学基礎演習I 心理学基礎演習II 心理学基礎演習III 心理学基礎演習IV 心理学応用演習I 心理学応用演習II 心理学応用演習III

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		古川 善也 <令和2年4月> 博士(心理学)
専	助教	心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III
		安倍 主晃 <令和2年4月> 博士(心理学)
専	助教	臨床心理学特講 I 臨床心理査定演習 I (心理的アセ スメントに関する理論と実践) 臨床心理査定演習 II 臨床心理基礎実習 I 臨床心理実習 I (心理実践実習 IV) 臨床心理実習 II 心理実践実習 I (臨床心理実習 IV) 心理実践実習 II 心理実践実習 III 心理実践実習 V 心理実践実習 A 心理実践実習 B 心理実践実習 C 心理実践実習 D 特別研究
		神原 広平 <令和2年4月> 博士(心理学)
専	助教	臨床心理学特講 I 臨床心理面接特講 I (心理支援に 関する理論と実践) 臨床心理面接特講 II 臨床心理基礎実習 II 臨床心理実習 I (心理実践実習 IV) 臨床心理実習 II 心理実践実習 I (臨床心理実習 IV) 心理実践実習 II 心理実践実習 III 心理実践実習 V 心理実践実習 A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		心理実践実習B 心理実践実習C 心理実践実習D
		難波 修史 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
専	助教	心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学基礎演習Ⅲ 心理学基礎演習Ⅳ 心理学応用演習Ⅰ 心理学応用演習Ⅱ 心理学応用演習Ⅲ 心理学応用演習Ⅳ
専	助教	趙 テキ ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		近代日中関係論 帝国日本と東アジア 特別研究
専	助教	小林 悠太 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		現代日本政治論 現代日本政治論演習 特別研究
専	助教	楼 ジェ ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		特別研究
専	助教	佐本 英規 ＜令和2年4月＞ 博士(国際政治経済学)
		社会人類学 民族誌論
専	助教	哈木裕園 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		アジア地域研究※ ヒロシマ平和学
専	助教	DALMI KATALIN ＜令和2年4月＞ 修士(日本学)
		特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮谷 真人 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III 心理学応用演習 IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
兼任	教授	佐藤 利行 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 特別研究
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※ 生態系循環論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	CARO BURNETT JOHANN ＜令和2年4月＞ Ph. D (Economics) (米国) 公共経済論
兼任	教授	宮谷 真人 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人文社会科学と社会※ 心理学研究法基礎演習A 心理学研究法基礎演習B 心理学研究法応用演習A 心理学研究法応用演習B Academic writing in psychology A Academic writing in psychology B Advanced academic writing in psychology A Advanced academic writing in psychology B 心理学特講A【隔年】 心理学特講B【隔年】 心理学特講C【隔年】 心理学特講D【隔年】 心理学基礎演習 I 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 III 心理学基礎演習 IV 心理学応用演習 I 心理学応用演習 II 心理学応用演習 III 心理学応用演習 IV 心の健康教育に関する理論と実践※ 特別研究
兼任	教授	佐藤 利行 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 特別研究
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※ 生態系循環論※
兼任	教授	保田 浩志 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	志賀 賢治 ＜令和2年4月＞ 学士(法学) Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D (Economics) (米国)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, 人間社会科学のための科学史※ 開発計量経済学I 開発計量経済学II 都市経済学 特別研究
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト 環境政策論 特別研究
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人文社会科学と社会※ 開発マクロ経済学I 開発マクロ経済学II 経済統計分析論 特別研究
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼担	教授	森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D (Economics) (米国)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, 人間社会科学のための科学史※ 都市経済学 特別研究
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト 環境政策論 特別研究
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人文社会科学と社会※ 経済統計分析論 特別研究
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼担	教授	森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 Ph. D. (英国)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 Ph. D. (英国)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報セキュリティ※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 比較日本文化学研究C 比較日本文化学研究D 特別研究
兼任	教授	岡本 百合 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 保健医療分野に関する理論と支援の 展開
兼任	教授	永山 博之 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト 人文社会科学と社会※ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 安全保障論【隔年】 国際政治学【隔年】 安全保障論演習【隔年】 国際政治学演習【隔年】 特別研究
兼任	教授	小山 正孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	松見 法男 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	柳澤 浩哉 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森 玲子 ＜令和2年4月＞ M.A(Social Science) 人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報セキュリティ※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 比較日本文化学研究C 比較日本文化学研究D 特別研究
兼任	教授	岡本 百合 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 保健医療分野に関する理論と支援の 展開
兼任	教授	永山 博之 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト 人文社会科学と社会※ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅰ 法学・政治学プログラム特別演習Ⅱ 安全保障論【隔年】 国際政治学【隔年】 安全保障論演習【隔年】 国際政治学演習【隔年】 特別研究
兼任	教授	小山 正孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	松見 法男 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	柳澤 浩哉 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	加藤 厚海 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※ リサーチ・リテラシー※ 経営管理論 人的資源管理論 アントレプレナーシップ アジアベンチャービジネス論 マネジメント特講(日本の組織と経営) 特別研究
兼担	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	田村 耕一 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	田村 耕一 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	林 光緒 ＜令和2年4月＞ 学術博士 環境行動論※ 特別研究
兼任	教授	山崎 岳 ＜令和2年4月＞ 理学博士 生命機能化学
兼任	教授	相原 玲二 ＜令和2年4月＞ 工学博士 情報システム論※
兼任	教授	小野寺 真一 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) 地球表層物質輸送論※ 自然環境リスク論※
兼任	教授	奥田 敏統 ＜令和2年4月＞ 理学博士 生物多様性科学※
兼任	教授	山田 俊弘 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) 生物多様性科学※
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) MOT入門
兼任	教授	河本 健 ＜令和2年4月＞ 医学博士 リサーチ・リテラシー※
兼任	准教授	小宮山 道夫 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR ＜令和2年4月＞ 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	間瀬 茂夫 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	CHOURAK MOHAMED ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	林 光緒 ＜令和2年4月＞ 学術博士 環境行動論※ 特別研究
兼任	教授	山崎 岳 ＜令和2年4月＞ 理学博士 生命機能化学
兼任	教授	石田 敦彦 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 生命機能化学
兼任	教授	相原 玲二 ＜令和2年4月＞ 工学博士 情報システム論※
兼任	教授	小野寺 真一 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) 地球表層物質輸送論※ 自然環境リスク論※
兼任	教授	奥田 敏統 ＜令和2年4月＞ 理学博士 生物多様性科学(環境科学入門)※
兼任	教授	山田 俊弘 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) 生物多様性科学(環境科学入門)※
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) MOT入門
兼任	教授	河本 健 ＜令和2年4月＞ 医学博士 リサーチ・リテラシー※
兼任	准教授	小宮山 道夫 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR ＜令和2年4月＞ 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学)
		SDGsへの学問的アプローチB※ 自然環境リスク論※ 気候変動災害論※
兼担	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※
兼担	准教授	宮尾 淳一 〈令和2年4月〉 工学博士
		データリテラシー※
兼担	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 PhD (Management) (米国)
		アントレプレナーシップ概論
兼担	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※ 運動制御学※ 特別研究
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学)
		SDGsへの学問的アプローチB※ 自然環境リスク論※ 地球流体防災論※
兼担	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※
兼担	准教授	伊森 晋平 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼担	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 PhD (Management) (米国)
		アントレプレナーシップ概論
兼担	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※ 運動制御学※ 特別研究
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 大策 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 人文社会科学と社会※ 開発ミクロ経済学I 開発ミクロ経済学II 特別研究
兼任	准教授	佐藤(望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education) (英国) Identity and Co-existence
兼任	准教授	力石 真 〈令和2年4月〉 博士(工学) 調査方法論基礎
兼任	准教授	宮園 健吾 〈令和2年4月〉 博士(文学) 現代哲学※ 文化哲学※ 実践倫理学※ 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽) 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	榎葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士(教育学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 大策 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 人文社会科学と社会※ 開発ミクロ経済学I 開発ミクロ経済学II 特別研究
兼任	准教授	佐藤(望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education) (英国) Identity and Co-existence
兼任	准教授	力石 真 〈令和2年4月〉 博士(工学) 調査方法論基礎
兼任	准教授	宮園 健吾 〈令和2年4月〉 博士(文学) 現代哲学※ 文化哲学※ 実践倫理学※ 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	石原 康宏 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		生命機能化学
兼担	准教授	土谷 彰男 〈令和2年4月〉 理学博士
		生態系循環論※
兼担	准教授	近堂 徹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報システム論※
兼担	准教授	横山 正 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然環境リスク論※
兼担	准教授	並木(隅田) 敦子 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然環境リスク論※
兼担	准教授	小澤 久 〈令和2年4月〉 理学博士
		自然環境リスク論※ 気候変動災害論※
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph.D (Sociology) (University of Ljubljana)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy Curriculum and Instruction
		人間社会科学のための科学史※
兼担	講師	山崎 茜 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼担	講師	戸田 求 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		生態系循環論※
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	石原 康宏 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		生命機能化学
兼担	准教授	土谷 彰男 〈令和2年4月〉 理学博士
		生態系循環論※
兼担	准教授	近堂 徹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報システム論※
兼担	准教授	横山 正 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然環境リスク論※
兼担	准教授	並木(隅田) 敦子 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然環境リスク論※
兼担	准教授	小澤 久 〈令和2年4月〉 理学博士
		自然環境リスク論※ 地球流体防災論※
兼担	講師	三木 大樹 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph.D (Sociology) (University of Ljubljana)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy Curriculum and Instruction
		人間社会科学のための科学史※
兼担	講師	山崎 茜 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼担	講師	戸田 求 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		生態系循環論※
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 応用倫理学基礎演習A 応用倫理学基礎演習B 応用倫理学文献研究A 応用倫理学文献研究B 特別研究
兼担	助教	平野 哲男 〈令和2年4月〉 医学博士 生命機能化学
兼担	助教	平山 恭之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地球表層物質輸送論※ 自然環境リスク論※
兼担	助教	児子 修司 〈令和2年4月〉 理学博士 自然環境リスク論※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		国際標準化論
兼任	教授	延岡 健太郎 〈令和3年4月〉 博士(経営学)
		理工系のための経営組織論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※ 応用倫理学基礎演習A 応用倫理学基礎演習B 応用倫理学文献研究A 応用倫理学文献研究B 特別研究
兼担	助教	平山 恭之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地球表層物質輸送論※ 自然環境リスク論※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	服部 稔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		ストレスマネジメント
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		ルール形成のための国際標準化
兼任	教授	延岡 健太郎 〈令和3年4月〉 博士(経営学)
		理工系のための経営組織論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤本 隆宏 〈令和3年4月〉 D.B.A (米国)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	宇田 直史 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		日本文化論講義 A
兼任	教授	森岡 文泉 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		日本文化論演習 A
兼任	教授	松井 富美男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		倫理思想史基礎演習 A 倫理思想史基礎演習 B
兼任	教授	高橋 泰夫 〈令和2年4月〉 教育学士
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	教授	加賀山 敏郎 令和2年4月 法学士
		日本銀行連携講義 1 ※【隔年】 日本銀行連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	濱田 秀夫 〈令和2年4月〉 法学士
		日本銀行連携講義 1 ※【隔年】 日本銀行連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	堀本 善雄 〈令和2年4月〉 経済学士
		金融庁連携講義 1 ※【隔年】 金融庁連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	日下 智晴 〈令和2年4月〉 経済学士
		金融庁連携講義 1 ※【隔年】 金融庁連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	松田 正彦 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		政治経済学 1【隔年】 政治経済学 2【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤本 隆宏 〈令和3年4月〉 D.B.A (米国)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	森岡 文泉 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		日本文化論演習 A
兼任	教授	松井 富美男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		倫理思想史基礎演習 A 倫理思想史基礎演習 B
兼任	教授	高橋 泰夫 〈令和2年4月〉 教育学士
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	教授	加賀山 敏郎 令和2年4月 法学士
		日本銀行連携講義 1 ※【隔年】 日本銀行連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	濱田 秀夫 〈令和2年4月〉 法学士
		日本銀行連携講義 1 ※【隔年】 日本銀行連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	石村 幸三 〈令和2年4月〉 公共政策学修士 開発学修士
		金融庁連携講義 1 ※【隔年】 金融庁連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	日下 智晴 〈令和2年4月〉 経済学士
		金融庁連携講義 1 ※【隔年】 金融庁連携講義 2 ※【隔年】
兼任	教授	松田 正彦 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		政治経済学 1【隔年】 政治経済学 2【隔年】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柴田 浩喜 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地域分析
兼任	教授	柴田 浩喜 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地域分析
兼任	教授	芳川 恒志 〈令和2年4月〉 MPA(米国)
		エネルギー政策論
兼任	教授	大東和 武司 〈令和2年4月〉 商学修士
		アジア企業論
兼任	教授	戸田 常一 〈令和2年4月〉 工学博士
		BCM (Business Community Management)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	二村 博司 〈令和2年4月〉 Ph.D. in Economics (米国)
		財政学
兼任	教授	柴田 浩喜 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地域分析
兼任	教授	柴田 浩喜 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		地域分析 マネジメント特講(地域活性化)
兼任	教授	芳川 恒志 〈令和2年4月〉 MPA(米国)
		エネルギー政策論
兼任	教授	大東和 武司 〈令和2年4月〉 商学修士
		アジア企業論
兼任	教授	戸田 常一 〈令和2年4月〉 工学博士
		BCM (Business Continuity Management)
兼任	教授	周 延良 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本文化論講義A
兼任	教授	朴 美子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		表象文化論講義A
兼任	教授	魏 維 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		言語文化論講義B
兼任	教授	小山 虎 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		西洋哲学特講
兼任	教授	藤本 晃 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		仏教学演習A
		仏教学演習B
兼任	教授	諸田 龍美 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		中国文学特殊講義A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高間 由香里 〈令和2年4月〉 博士(文学) 文化財学特殊講義Ⅰ【隔年】 文化財学特殊講義Ⅱ【隔年】
兼任	准教授	小畠 啓子 〈令和2年4月〉 修士(文学) 福祉分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	准教授	大塚 泰正 〈令和2年4月〉 博士(文学) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	准教授	河野 洋 〈令和2年4月〉 修士(経済学) 経済数学
兼任	准教授	遠藤 業鏡 〈令和2年4月〉 修士(経済学) 日本政策投資銀行連携講義Ⅰ【隔年】 日本政策投資銀行連携講義Ⅱ【隔年】 経済学特講
兼任	准教授	玉井 由樹 〈令和2年4月〉 博士(経営学) アジアベンチャービジネス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 知己 〈令和2年4月〉 修士(文学) 理論・応用言語学演習A【隔年】 理論・応用言語学特別演習A【隔年】
兼任	教授	田中 賢治 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 日本政策投資銀行連携講義Ⅰ【隔年】 日本政策投資銀行連携講義Ⅱ【隔年】 経済学特講
兼任	教授	村松 潤一 〈令和2年4月〉 博士(経営学) マーケティング論 国際マーケティング戦略論
兼任	教授	椎葉 淳 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 会計政策論
兼任	教授	楠田 哲也 〈令和2年4月〉 工学博士 環境原論A 環境原論B
兼任	准教授	高間 由香里 〈令和2年4月〉 博士(文学) 文化財学特殊講義Ⅰ【隔年】 文化財学特殊講義Ⅱ【隔年】
兼任	准教授	小畠 啓子 〈令和2年4月〉 修士(文学) 福祉分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	准教授	大塚 泰正 〈令和2年4月〉 博士(文学) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開【隔年】
兼任	准教授	河野 洋 〈令和2年4月〉 修士(経済学) 経済数学
兼任	准教授	玉井 由樹 〈令和2年4月〉 博士(経営学) アジアベンチャービジネス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	目代 武史 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		経営戦略論
兼任	准教授	西 佳代 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		英米社会論(国際関係)
兼任	講師	三角 幸子 〈令和2年4月〉 修士(経営学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学) (米国)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	川本 亮之 〈令和2年4月〉 学士(社会学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	目代 武史 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		経営戦略論
兼任	准教授	西 佳代 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		英米社会論(国際関係)
兼任	准教授	阿部 一哉 〈令和2年4月〉 修士(言語学)
		ドイツ文学語学特殊講義A【隔年】
兼任	准教授	財城 真寿美 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然地理学特別講義【隔年】
兼任	准教授	田中 優輝 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		刑事システム論 刑事システム論演習 医事刑法論【隔年】
兼任	准教授	加藤 紫帆 〈令和2年4月〉 博士(現代法学)
		国際関係私法 国際関係私法演習
兼任	准教授	小沢 貴史 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		アントレプレナーシップ 経営管理論
兼任	准教授	村宮 克彦 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		財務会計論
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		データビジュアライゼーションA データビジュアライゼーションB
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学) (米国)
		SDGsへの学問的アプローチA※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	武田 家宜 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		ビジネス日本語
兼任	講師	中川 理 ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		Area Studies
兼任	講師	西 真如 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		Development and Culture
兼任	講師	宮本 茂 ＜令和2年4月＞ 学士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	本郷 満 ＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	吉原 俊朗 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	和田 周大 ＜令和2年4月＞ 修士(経営情報学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	江種 浩文 ＜令和2年4月＞ 修士(商学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	吉田 実 ＜令和2年4月＞ 修士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原山 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	講師	武田 家宜 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		ビジネス日本語
兼任	講師	中川 理 ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学)
		Area Studies
兼任	講師	西 真如 ＜令和2年4月＞ 博士(地域研究)
		Development and Culture
兼任	講師	宮本 茂 ＜令和2年4月＞ 学士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	本郷 満 ＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	吉原 俊朗 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	和田 周大 ＜令和2年4月＞ 修士(経営情報学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	江種 浩文 ＜令和2年4月＞ 修士(商学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	吉田 実 ＜令和2年4月＞ 修士(工学)
		マネジメント特講(地域活性化)
兼任	講師	高橋 渡 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		イギリス小説作品研究演習A
		イギリス小説作品研究演習B
		イギリス小説作品演習A
		イギリス小説作品演習B
兼任	講師	中川 政司 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)
		アジアビジネス事情
兼任	講師	土屋 武美 ＜令和2年4月＞ 学士(中国語)
		アジアビジネス事情

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤原 浩三 〈令和2年4月〉 なし アジアビジネス事情
兼任	講師	野口 英善 〈令和2年4月〉 農学士 アジアビジネス事情
兼任	講師	西野 幸子 〈令和2年4月〉 修士(マネジメント) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	金山 知明 〈令和2年4月〉 Master of Business Administration(イギリス) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	北野 富士和 〈令和2年4月〉 修士(経済学) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	桑田 彰 〈令和2年4月〉 修士(経済学) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	長濱 照美 〈令和2年4月〉 修士(商学) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	仙波 亮一 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	林 ショウ 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	梁 庭昌 〈令和2年4月〉 修士(マネジメント) マネジメント特講(日本の組織と経営)
兼任	講師	山根 健嗣 〈令和2年4月〉 経済学士 マネジメント特講(地域活性化)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(専任教員関係)

- ・専任教員として就任(小池聖一教授、関村誠教授、宮崎浩一教授、田村典久准教授、高島伸幸准教授、NIRAJ PRAKASH JOSHI准教授、井上祐樹助教、重松恵梨助教、中村泰朗助教、日原尚吾助教、古川善也助教、安倍主晃助教、神原広平助教、難波修史助教、趙テキ助教、小林悠太助教、棲ジェ助教、佐本英規助教、哈木格図助教、DALMI KATALIN助教、CARO BURNETT JOHANN助教)
- ・大野英志准教授、長坂格准教授、河合信晴講師が教授に昇任
- ・SHARIFI AYYOUB助教が准教授に昇任
- ・就任辞退のため担当から削除(星野一郎教授、二村博司教授、徐恩之准教授、三村太郎准教授、倉田賢一准教授、田中優輝准教授、加藤紫帆准教授)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(保田浩志教授、志賀賢治教授、吉村健一教授、森玲子教授、栗原慎二教授、西原大輔教授、沖原謙教授、竹下俊治教授、松原主典教授、間瀬茂夫教授、CHOURAK MOHAMED教授、石田敦彦教授、伊森晋平准教授、米沢崇准教授、滝沢潤准教授、八木健太郎准教授、徳永崇准教授、西村大志准教授、椛葉みつ子准教授、村澤昌崇准教授、三木大樹講師)
- ・担当から削除(工藤美樹教授、有廣光司教授、粟井和夫教授、三須敏幸教授、加藤厚海教授、宮尾淳一准教授、森野豊之准教授、平野哲男助教、兒子修司助教)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(服部稔教授、阿部伸一教授、石村幸三教授、二村博司教授、周延良教授、朴美子教授、魏維教授、小山虎教授、藤本晃教授、諸田龍美教授、佐藤知己教授、田中賢治教授、村松潤一教授、椎葉淳教授、楠田哲也教授、阿部一哉准教授、財城真寿美准教授、田中優輝准教授、加藤紫帆准教授、小沢貴史准教授、村宮克彦准教授、川田恵介准教授、原山優子講師、高橋渡講師、中川政司講師、土屋武美講師、藤原浩三講師、野口英善講師、西野幸子講師、金山知明講師、北野富士和講師、桑田彰講師、長濱照美講師、仙波亮一講師、林ショウ講師、梁庭昌講師、山根健嗣講師)
- ・担当から削除(宇田直史教授、堀本善雄教授、遠藤業鏡准教授、三角幸子講師、川本亮之講師)

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
26	—	—
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
103	93	6	17	219	0	106	91	5	31	233	0
(106)	(91)	(5)	(31)	(233)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
200	6	13				217	3	13			
(217)	(3)	(13)				(217)	(3)	(13)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
106	93	5	31	235	0	106	93	5	31	235	0
[3]	[0]	[△1]	[14]	[16]	[0]	[3]	[0]	[△1]	[14]	[16]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
219	3	13				219	3	13			
[19]	[△3]	[0]				[19]	[△3]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{235}{219} = \boxed{107.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{233} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	星野 一郎	R元. 9	必修	人間社会科学特別講義	①	R元. 9 死亡のため就任辞退（2）			
				選択	人文社会科学のための研究法と倫理	①				
				選択	財務会計論	①				
				選択	会計政策論	②				
				必修	特別研究	①				
2	教授	二村 博司	R2. 3	選択	経済学プログラム特別演習Ⅰ	①	R2. 3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	経済学プログラム特別演習Ⅱ	①				
				選択	財政学	②				
				必修	特別研究	①				
3	准教授	三村 太郎	R2. 3	選択	人文社会科学のための研究法と倫理	①	R2. 3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	科学・技術・社会論	①				
				必修	特別研究	①				
4	准教授	倉田 賢一	R元. 12	選択	欧米文学語学・言語学概説※	①	R元. 12 休職のため就任辞退（2）			
				選択	イギリス小説作品研究演習A	②				
				選択	イギリス小説作品研究演習B	②				
				選択	イギリス小説作品演習A	②				
				選択	イギリス小説作品演習B	②				
				選択	英語圏文学特殊講義A	①				
				選択	英語圏文学特殊講義B	①				
				必修	特別研究	①				
5	准教授	田中 優輝	R2. 3	選択	刑事システム論	②	R2. 3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	刑事システム論演習	②				
				選択	医事刑法論	②				
				必修	特別研究	①				
6	准教授	加藤 紫帆	R2. 3	選択	国際関係私法	②	R2. 3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	国際関係私法演習	②				
				必修	特別研究	①				
7	准教授	徐 恩之	R2. 4	選択	人間社会科学のための科学史	①	R2. 5. 20から産休予定のため未就任（2）			
				選択	マーケティング論	①				
				選択	国際マーケティング戦略論	②				
				必修	特別研究	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
7	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	11	科目	選択	12	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	31	科目	計	19	科目	計	12	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
7	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	11	科目	選択	12	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	31	科目	計	19	科目	計	12	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{7}{219} = \boxed{3.19} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目のうち、複数人体制のものは他の専任教員が授業を実施し、就任辞退者のみが担当していた授業科目については、兼任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。
 学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。
 就任辞退者の後任補充は公募中又は公募準備中である。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻（博士課程後期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山田 宏 〈令和2年4月〉 博士(社会経済)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学講究 特別研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山田 宏 〈令和2年4月〉 博士(社会経済)
		人間社会科学講究 プロジェクト研究 特別研究
専	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究 特別研究
専	教授	長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		特別研究
専	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士
		特別研究
専	教授	関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学)
		特別研究
専	教授	中村 平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	高永 茂 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	後藤 弘志 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (ドイツ)
		特別研究
専	教授	根本 裕史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	末永 高康 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究 特別研究
専	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士
		特別研究
専	教授	関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学)
		特別研究
専	教授	中村 平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	高永 茂 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	後藤 弘志 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (ドイツ)
		特別研究
専	教授	根本 裕史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	末永 高康 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	金子 肇 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	妹尾 好信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	川島 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	小川 恒男 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	吉中 孝志 ＜令和2年4月＞ D.Phil. (英文学) (イギリス)
		特別研究
専	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	金子 肇 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	妹尾 好信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	川島 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	小川 恒男 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	吉中 孝志 ＜令和2年4月＞ D.Phil. (英文学) (イギリス)
		特別研究
専	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		特別研究
専	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮川 朗子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	VALLINS DAVID MCNEILL 〈令和2年4月〉 哲学博士
		特別研究
専	教授	FEDERMAIR LEOPOLD 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (オーストリア)
		特別研究
専	教授	友澤 和夫 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	竹広(竹廣) 文明 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	野島 永 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	中條 和光 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	森永 康子 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	石田 弓 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	折橋 洋介 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		特別研究
専	教授	鈴木 玉緒 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮川 朗子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	VALLINS DAVID MCNEILL 〈令和2年4月〉 哲学博士
		特別研究
専	教授	FEDERMAIR LEOPOLD 〈令和2年4月〉 Doktor der Philosophie (オーストリア)
		特別研究
専	教授	友澤 和夫 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	竹広(竹廣) 文明 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	野島 永 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	中條 和光 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	森永 康子 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	石田 弓 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	折橋 洋介 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		特別研究
専	教授	鈴木 玉緒 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅利 宙 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	教授	森邊 成一 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
専	教授	堀田 親臣 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	教授	松原 正至 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
専	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	教授	三井 正信 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	教授	吉中 信人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	教授	瀧 敦弘 〈令和2年4月〉 農学修士
		特別研究
専	教授	千田 隆 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Economics) (米国)
		特別研究
専	教授	早川 和彦 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	西埜 晴久 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	鈴木 喜久 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	二村 博司 〈令和2年4月〉 Ph. D. in Economics (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅利 宙 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	教授	森邊 成一 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
専	教授	堀田 親臣 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	教授	松原 正至 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
専	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	教授	三井 正信 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	教授	吉中 信人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	教授	瀧 敦弘 〈令和2年4月〉 農学修士
		特別研究
専	教授	千田 隆 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Economics) (米国)
		特別研究
専	教授	早川 和彦 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	西埜 晴久 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	鈴木 喜久 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	二村 博司 〈令和2年4月〉 Ph. D. in Economics (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	角谷 快彦 〈令和2年4月〉 PhD (Economics) (オーストラリア)
		特別研究
専	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	友田 康信 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	森 良次 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士 (学術)
		特別研究
専	教授	小栢 (河原) 葉子 〈令和2年4月〉 国際学修士
		特別研究
専	教授	築達 延征 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		特別研究
専	教授	柿中 真 〈令和2年4月〉 博士 (経済学) (米国)
		特別研究
専	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
専	教授	岩崎 克己 〈令和2年4月〉 博士 (学術)
		特別研究
専	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	教授	井口 容子 〈令和2年4月〉 哲学修士
		特別研究
専	教授	柴田 美紀 〈令和2年4月〉 Ph. D. (第二言語習得と教育) (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	角谷 快彦 〈令和2年4月〉 PhD (Economics) (オーストラリア)
		特別研究
専	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	友田 康信 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	森 良次 〈令和2年4月〉 博士 (経済学)
		特別研究
専	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士 (学術)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	小栢 (河原) 葉子 〈令和2年4月〉 国際学修士
		特別研究
専	教授	築達 延征 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		特別研究
専	教授	柿中 真 〈令和2年4月〉 博士 (経済学) (米国)
		特別研究
専	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
専	教授	岩崎 克己 〈令和2年4月〉 博士 (学術)
		特別研究
専	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	教授	井口 容子 〈令和2年4月〉 哲学修士
		特別研究
専	教授	柴田 美紀 〈令和2年4月〉 Ph. D. (第二言語習得と教育) (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和田 正信 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		特別研究
専	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	教授	船瀬 広三 〈令和2年4月〉 医学博士
		特別研究
専	教授	関矢 寛史 〈令和2年4月〉 Ph.D.(学術博士)(米国)
		特別研究
専	教授	坂田 省吾 〈令和2年4月〉 医学博士
		特別研究
専	教授	桑島 秀樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	荒見 泰史 〈令和2年4月〉 文学博士(中国)
		特別研究
専	教授	水羽 信男 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	教授	丸田 孝志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	市川 浩 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		特別研究
専	教授	平手 友彦 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		特別研究
専	教授	青木 利夫 〈令和2年4月〉 博士(社会学)
		特別研究
専	教授	FUNCK, CAROLIN・ELISABETH HANNA 〈令和2年4月〉 Dr. rer. nat(博士理学) (ドイツ)
		特別研究
専	教授	材木 和雄 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和田 正信 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		特別研究
専	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	教授	船瀬 広三 〈令和2年4月〉 医学博士
		特別研究
専	教授	関矢 寛史 〈令和2年4月〉 Ph.D.(学術博士)(米国)
		特別研究
専	教授	坂田 省吾 〈令和2年4月〉 医学博士
		特別研究
専	教授	桑島 秀樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	荒見 泰史 〈令和2年4月〉 文学博士(中国)
		特別研究
専	教授	水羽 信男 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	教授	丸田 孝志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	市川 浩 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		特別研究
専	教授	平手 友彦 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		特別研究
専	教授	青木 利夫 〈令和2年4月〉 博士(社会学)
		特別研究
専	教授	FUNCK, CAROLIN・ELISABETH HANNA 〈令和2年4月〉 Dr. rer. nat(博士理学) (ドイツ)
		特別研究
専	教授	材木 和雄 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 敏久 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		特別研究
専	教授	片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国)
		特別研究
専	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		特別研究
専	准教授	相馬 敏彦 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		プロジェクト研究 特別研究
専	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策)
		普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	准教授	碓 智樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 敏久 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		特別研究
専	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		特別研究
専	教授	片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国)
		特別研究
専	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		特別研究
専	教授	宮崎 浩一 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Economics) (米国)
		特別研究
専	教授	林 幸一 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	教授	小池 聖一 〈令和2年4月〉 博士(史学)
		特別研究
専	教授	関村 誠 〈令和2年4月〉 Ph. D. (哲学) (ベルギー)
		特別研究
専	准教授	相馬 敏彦 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		プロジェクト研究 特別研究
専	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策)
		普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	准教授	碓 智樹 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	赤井 清晃 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	船田 善之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	足立 孝 〈令和2年4月〉 博士(歴史学)
		特別研究
専	准教授	下岡 友加 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	白井 純 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	准教授	陳 チュウ 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	大野 英志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	今道 晴彦 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	BEAUVIEUX MARIE NOELLE BENEDICTE ISABELL 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	上野 貴史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	後藤 拓也 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	赤井 清晃 〈令和2年4月〉 文学修士
		特別研究
専	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	船田 善之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	足立 孝 〈令和2年4月〉 博士(歴史学)
		特別研究
専	准教授	下岡 友加 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	白井 純 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	准教授	陳 チュウ 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	大野 英志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	今道 晴彦 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	BEAUVIEUX MARIE NOELLE BENEDICTE ISABELL 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	上野 貴史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	後藤 拓也 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	後藤 秀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	有松 唯 〈令和2年4月〉 Docteur des langues, histoire et civilisations des mondes anciens (France)
		特別研究
専	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	倉田 賢一 〈令和2年4月〉 Ph.D. (英文学・比較文学)
		特別研究
専	准教授	LAURI KITSNIK 〈令和2年4月〉 博士(日本学)
		特別研究
専	准教授	尾形(宮崎) 明子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士(臨床心理学)
		特別研究
専	准教授	岡田 昌浩 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	准教授	井上 嘉仁 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	准教授	田中 優輝 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	准教授	茂木 康俊 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	准教授	山口 幹雄 〈令和2年4月〉 Master of Laws (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	後藤 秀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	有松 唯 〈令和2年4月〉 Docteur des langues, histoire et civilisations des mondes anciens (France)
		特別研究
専	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	LAURI KITSNIK 〈令和2年4月〉 博士(日本学)
		特別研究
専	准教授	尾形(宮崎) 明子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士(臨床心理学)
		特別研究
専	准教授	岡田 昌浩 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	准教授	井上 嘉仁 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		特別研究
専	准教授	茂木 康俊 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	准教授	山口 幹雄 〈令和2年4月〉 Master of Laws (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長久(野井) 明日香 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	准教授	湯川 勇人 〈令和2年4月〉 博士(政治学)
		特別研究
専	准教授	加藤 紫帆 〈令和2年4月〉 博士(現代法学)
		特別研究
専	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph.D(経済学)
		特別研究
専	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	増澤 拓也 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph.D in Economics (米国)
		特別研究
専	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	安武 公一 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	宮澤 和敏 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	秋山 高志 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	徐 恩之 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		特別研究
専	准教授	奥居 正樹 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長久(野井) 明日香 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	准教授	湯川 勇人 〈令和2年4月〉 博士(政治学)
		特別研究
専	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph.D(経済学)
		特別研究
専	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	増澤 拓也 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph.D in Economics (米国)
		特別研究
専	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	安武 公一 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	宮澤 和敏 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	秋山 高志 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究
専	准教授	奥居 正樹 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学) 特別研究
専	准教授	原田 隆 〈令和2年4月〉 博士(工学) 特別研究
専	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術) 普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) (英国) 特別研究
専	准教授	眞嶋 俊造 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Ethics) (イギリス) 特別研究
専	准教授	長坂 格 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
専	准教授	白川 俊之 〈令和2年4月〉 博士(社会学) 特別研究
専	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学) (米国) 特別研究
専	准教授	高橋 与志 〈令和2年4月〉 博士(学術) 特別研究
専	准教授	町田 章 〈令和2年4月〉 修士(文学) 特別研究
専	准教授	大嶋 広美 〈令和2年4月〉 博士(文学) (中国) 特別研究
専	准教授	TAFERNER ROBERT HORST 〈令和2年4月〉 修士(教育学) (米国) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学) 特別研究
専	准教授	原田 隆 〈令和2年4月〉 博士(工学) 特別研究
専	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術) 普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) (英国) 普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	准教授	眞嶋 俊造 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Ethics) (イギリス) 特別研究
専	教授	長坂 格 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
専	准教授	白川 俊之 〈令和2年4月〉 博士(社会学) 特別研究
専	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学) (米国) 特別研究
専	准教授	高橋 与志 〈令和2年4月〉 博士(学術) 特別研究
専	准教授	町田 章 〈令和2年4月〉 修士(文学) 特別研究
専	准教授	大嶋 広美 〈令和2年4月〉 博士(文学) (中国) 特別研究
専	准教授	TAFERNER ROBERT HORST 〈令和2年4月〉 修士(教育学) (米国) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CLENTON JONATHAN STUART MICHAEL 〈令和2年4月〉 博士(応用言語学)
		特別研究
専	准教授	田中 亮 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		特別研究
専	准教授	上泉(木庭) 康樹 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		特別研究
専	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	有賀 敦紀 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	杉浦 義典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	小宮 あすか 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	GRAJDIAN MARIA MIHAELA 〈令和2年4月〉 Ph. D. (音楽学) (ドイツ)
		特別研究
専	准教授	RIGSBY CURTIS ANDREW 〈令和2年4月〉 博士(哲学)
		特別研究
専	准教授	辻 輝之 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Comparative Sociology) (米国)
		特別研究
専	准教授	渡邊 誠 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	柳瀬 善治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	李 郁恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CLENTON JONATHAN STUART MICHAEL 〈令和2年4月〉 博士(応用言語学)
		特別研究
専	准教授	田中 亮 〈令和2年4月〉 博士(マネジメント)
		特別研究
専	准教授	上泉(木庭) 康樹 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		特別研究
専	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	有賀 敦紀 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	杉浦 義典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	小宮 あすか 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	GRAJDIAN MARIA MIHAELA 〈令和2年4月〉 Ph. D. (音楽学) (ドイツ)
		特別研究
専	准教授	RIGSBY CURTIS ANDREW 〈令和2年4月〉 博士(哲学)
		特別研究
専	准教授	辻 輝之 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Comparative Sociology) (米国)
		特別研究
専	准教授	渡邊 誠 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	柳瀬 善治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	李 郁恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	崔 真碩 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	薩摩 真介 〈令和2年4月〉 Ph. D(History) (イギリス)
		特別研究
専	准教授	春日 あゆか 〈令和2年4月〉 Ph. D (Geography) (イギリス)
		特別研究
専	准教授	的場 いづみ 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	准教授	城戸(竹野) 光世 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	杉木(柴田) 恒彦 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	三村 太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	SCHLARB HANS MICHAEL 〈令和2年4月〉 M. A (文学修士) (ドイツ)
		特別研究
専	准教授	園井 ゆり 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	佐々木 宏 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	河本 尚枝 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		特別研究
専	准教授	李 東碩 〈令和2年4月〉 経済学修士
		特別研究
専	准教授	山崎 修嗣 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	崔 真碩 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	薩摩 真介 〈令和2年4月〉 Ph. D(History) (イギリス)
		特別研究
専	准教授	春日 あゆか 〈令和2年4月〉 Ph. D (Geography) (イギリス)
		特別研究
専	准教授	的場 いづみ 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		特別研究
専	准教授	城戸(竹野) 光世 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	杉木(柴田) 恒彦 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	SCHLARB HANS MICHAEL 〈令和2年4月〉 M. A (文学修士) (ドイツ)
		特別研究
専	准教授	園井 ゆり 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	佐々木 宏 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	河本 尚枝 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		特別研究
専	准教授	李 東碩 〈令和2年4月〉 経済学修士
		特別研究
専	准教授	山崎 修嗣 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	福田 恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	匹田 篤 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		特別研究
専	准教授	中島 健一郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	中尾 敬 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	梅村 比丘 〈令和2年4月〉 Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		特別研究
専	准教授	緒形(大下) ひとみ 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ医学)
		特別研究
専	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		特別研究
専	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	講師	河合 信晴 〈令和2年4月〉 Ph. D (Zeitgeschichte:現代史) (ドイツ)
		特別研究
専	講師	張 慶在 〈令和2年4月〉 博士(観光学)
		特別研究
専	講師	平川 真 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	福田 恵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	匹田 篤 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		特別研究
専	准教授	中島 健一郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	中尾 敬 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	梅村 比丘 〈令和2年4月〉 Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		特別研究
専	准教授	緒形(大下) ひとみ 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ医学)
		特別研究
専	准教授	陳 俊甫 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		特別研究
専	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		普遍的平和を目指して※ 特別研究
専	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	山根 典子 〈令和2年4月〉 Ph. D(言語学)
		特別研究
専	講師	河合 信晴 〈令和2年4月〉 Ph. D (Zeitgeschichte:現代史) (ドイツ)
		特別研究
専	講師	張 慶在 〈令和2年4月〉 博士(観光学)
		特別研究
専	講師	平川 真 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	伊藤 岳 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学講究
兼担	教授	宮谷 真人 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 特別研究
兼担	教授	佐藤 利行 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
兼担	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント イノベーション演習 長期インターンシップ
兼担	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) プロジェクト研究 特別研究
兼担	教授	馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学) プロジェクト研究
兼担	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士 プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼担	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学) プロジェクト研究
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D (Economics) (米国) 人間社会科学講究 特別研究
兼担	教授	加藤 厚海 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 人間社会科学講究 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	金 幸ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 特別研究
専	助教	伊藤 岳 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学講究
兼担	教授	宮谷 真人 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 特別研究
兼担	教授	佐藤 利行 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
兼担	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント イノベーション演習 長期インターンシップ
兼担	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) プロジェクト研究 特別研究
兼担	教授	馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学) プロジェクト研究
兼担	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士 プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼担	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学) プロジェクト研究
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D (Economics) (米国) 人間社会科学講究 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h. D. (米国)
		人間社会科学講究
兼担	教授	松本 仁志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学講究
兼担	教授	本田 義央 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
兼担	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
兼担	教授	林 光緒 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		普遍的平和を目指して※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士
		普遍的平和を目指して※
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データサイエンス
兼担	教授	栗田 多喜夫 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		パターン認識と機械学習
兼担	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用※
兼担	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー活用※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h. D. (米国)
		人間社会科学講究
兼担	教授	松本 仁志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学講究
兼担	教授	本田 義央 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
兼担	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		特別研究
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
兼担	教授	林 光緒 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		普遍的平和を目指して※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士
		普遍的平和を目指して※
兼担	教授	保田 浩志 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		普遍的平和を目指して※
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データサイエンス
兼担	教授	伊森 晋平 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		パターン認識と機械学習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University) 事業創造概論
兼任	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学) 特別研究
兼任	准教授	宮園 健吾 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
兼任	准教授	後藤 大策 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 特別研究
兼任	准教授	細野 賢治 〈令和2年4月〉 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セ ミナー
兼任	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University) イノベーション演習 事業創造概論
兼任	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学) 特別研究
兼任	准教授	宮園 健吾 〈令和2年4月〉 博士(文学) 特別研究
兼任	准教授	後藤 大策 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 特別研究
兼任	准教授	細野 賢治 〈令和2年4月〉 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セ ミナー
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	岩本 洋子 〈令和2年4月〉 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイディ アマイニング学生セミナー
兼任	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 博士(教育学) スペシャリスト型SDGsアイディ アマイニング学生セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	若林 香織 〈令和2年4月〉 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	講師	三木 大樹 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	講師	岡 広子 〈令和2年4月〉 博士(歯学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	助教	小原 静夏 〈令和2年4月〉 博士(農学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	助教	永井 敦 〈令和2年4月〉 修士(教育学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	助教	赤瀬 大 〈令和2年4月〉 博士(理学) データサイエンティスト養成 イノベーション演習
兼任	助教	服部 稔 〈令和2年4月〉 博士(学術) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	原山 優子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)(経済学) リーダーシップ手法
兼任	准教授	星野 由美 〈令和2年4月〉 博士(農学) イノベーション演習
兼任	講師	塩崎 潤一 〈令和2年4月〉 学士(社会科学) データサイエンティスト養成

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		隈元 美穂子
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 修士(経営開発学)(米国) 普遍的平和を目指して※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(専任教員関係)

- ・専任教員として就任(宮崎浩一教授、林幸一教授、小池聖一教授、関村誠教授、陳俊甫准教授、山根典子准教授、金宰ウク講師)
- ・大野英志准教授、長坂格准教授が教授に昇任
- ・河合信晴講師が准教授に昇任
- ・就任辞退のため担当から削除(二村博司教授、倉田賢一准教授、田中優輝准教授、加藤紫帆准教授、徐恩之准教授、三村太郎准教授)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(保田浩志教授、伊森晋平教授、吉村健一教授、岩本洋子准教授、吉田(滝沢)香奈准教授、若林香織准教授、三木大樹講師、岡広子講師、小原静夏助教、永井敦助教、赤瀬大助教、服部稔助教)
- ・担当から削除(加藤厚海教授、粟田多喜夫教授、有廣光司教授、粟井和夫教授、工藤美樹教授、森野豊之准教授)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(阿部伸一教授、原山優子教授、星野由美准教授、塩崎潤一講師、隈元美穂子講師)
- ・担当から削除(田中剛教授)

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
22	—	—
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
95	89	4	1	189	0	100	85	4	1	190	0
(100)	(85)	(4)	(1)	(190)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
170	18	1				184	5	1			
(184)	(5)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
100	85	4	1	190	0	100	87	4	1	192	0
[5]	[△4]	[0]	[0]	[1]	[0]	[5]	[△2]	[0]	[0]	[3]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
184	5	1				184	7	1			
[14]	[△13]	[0]				[14]	[△11]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{190}{189} = \boxed{100.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{190} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	二村 博司	R2.3	必修	特別研究	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）
2	准教授	倉田 賢一	R元.12	必修	特別研究	①	R元.12 休職のため就任辞退（2）
3	准教授	田中 優輝	R2.3	必修	特別研究	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）
4	准教授	加藤 紫帆	R2.3	必修	特別研究	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）
5	准教授	三村 太郎	R2.3	必修	特別研究	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）
6	准教授	徐 恩之	R2.4	必修	特別研究	①	R2.5.20から産休予定のため未就任（2）
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
6	人	必修	6	科目	必修	6	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
6	人	必修	6	科目	必修	6	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{6}{189} = 3.17 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退者が担当していた授業科目については、複数人体制としており、他の専任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。</p> <p>就任辞退者の後任補充は公募中又は公募準備中である。</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>大学院共通科目が本研究科の目的を達成するように、教育内容の充実や質の向上に努めること。なお、各学問分野の専門性の質とともに、学際的にすることによる教育効果並びに専門教育と学際的教育を実施することによる相乗効果について担保すること。</p> <p>「物件管理法」については、「企業統治と遵法経営」の科目区分として配置されるには、狭い範囲を学ぶ内容であるため、科目の充実が望まれる。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本研究科の2つのミッション、すなわち「人間と社会のための諸科学の追求」と「教育による持続可能で平和な世界の構築を目指す」に沿った人材育成の観点から、個々の学生にとって必要な大学院共通科目の履修を指導している。授業では、「異分野の学生が同じ場で学ぶ機会」を提供している。</p> <p>専門教育と学際的教育の質保証並びに双方による相乗効果については、各授業科目を充実させるとともに、修士論文（課題研究を含む）・博士論文の指導（グループ編成）を専門分野と異分野の教員の協働で行うこととしている。</p> <p>助言事項</p> <p>物件管理法の内容を充実させるとともに、学ぶ内容をより明確なものとした。</p> <p>物件管理法では、多様な主体（自然人だけでなく、法人、法人でない社団、組合、共同相続人、一般共有関係など）による物的財産（不動産、動産など）の所有・管理・処分に關する様々な法律問題を扱う。</p> <p>具体的には、1)多様な主体による物の所有・利用・管理に關する基礎的理解を踏まえ、2)現実的な問題として物の管理に關する共同所有者等の複数主体間での利益調整にかかわる問題とその解釈論の動向を檢討する。また、3)現代社会の動向にも目を向け、社会で顕在化している種々の物件管理の問題（例えば、土壤汚染、空き家、所有者不明土地の管理に關する問題等）も檢討の対象とする。</p>	<p>履行中</p> <p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に立ち上げる。大学院共通科目についても、必要に応じて検討し、その充実に向けた要望等を、全学の関連部署に提出する。</p> <p>履行済</p>

	<p>教育課程の体系性が4月入学を基本としており、10月入学の学生についても、本専攻が目指す人材像が養成できる教育課程が編成されることが、学生に対しても理解できるように周知すること。</p>	<p>助言事項</p>	<p>物件管理法で上記のような内容を取り扱い検討を行うためには、次のような法領域の知識が必要となる。まず、権利主体との関係では、民法総則、法人法制、組合に関しては契約法、(共同)相続に関しては相続法である。また、物の帰属とその変動等との関係では、物権法(物権変動、所有権、共有等)、区分所有法等、さらに不動産登記法の知識も必要となる。</p> <p>それに加え、物権変動の原因や物の利用等の関係では、契約法(売買、賃貸借等)、借地借家法等の特別法も取り扱うことになる。物件管理法では、これらの基礎的な法知識を踏まえ、前述した具体的な法律問題の検討を通じ、民法だけでなく関連する法令の理解を深めるとともに、受講生の法的検討能力の向上を目的とする。</p>	<p>履行中</p>	<p>学位プログラム毎に実施する入学試験の募集要項において、10月入学の学生についても、4月入学の学生と同様に、本専攻が目指す人材像が養成できるように教育課程が編成されることを、情報として掲載する計画である。</p>
	<p>教員の年間最大担当単位数の上限を設定するなど、単位数とともに、実習指導の時間も含めて、教員負担が過度にならないように努めること。</p>	<p>助言事項</p>	<p>共通科目の分担化(同分野の教員追加)を行った。また全教員の専門分野一覧表を作成して閲覧できるようにし、修士論文(課題研究を含める)・博士論文の指導グループ編成時に、特定の教員に副指導の負担が過度にかからないように努めた。</p>	<p>履行中</p>	<p>各教員の授業担当単位数(実習を含める)及び研究指導学生数(主指導・副指導数)を調べ、教員負担が過度にならないように努める。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間社会科学研究科 人文社会科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日までは、対面による授業は中止し、オンラインで授業を実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年4月に第1回を開催予定（以後、月1回程度で開催予定）であったが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>次に掲げる事項について点検・評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育活動に関すること。 (2) 研究活動に関すること。 (3) 社会貢献に関すること。 (4) 管理運営に関すること。 (5) 中期目標、中期計画及び年度計画に関すること。 (6) 外部評価に関すること。 (7) 教員の個人評価に関すること。 (8) 研究科の情報集積と分析（研究科FDを含む。） (9) その他点検・評価に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修会 ・ 研究科FD ・ 新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学で実施するFDへの参加 ・ 研究科独自で実施するFDへの参加 ・ 全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和2年4月に新任教員のための研修会が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期された。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 今年度開設のため次年度以降記載予定

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 現在検討中

b 公表方法

- ・ 現在検討中

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 現在検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有]
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-0046

広島県東広島市鏡山一丁目1番1号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(コバヤシ シンイチ) 小林 信一 (令和2年4月)		
専攻長	(ウエダ タケシ) 上田 毅 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間社会科学部 教育科学専攻	教育学・保育学関係	年	人	年次人	人	総合科学部 教育学部
(博士課程前期) 修士(教育学)		3	20	—		
修士(教育心理学)		2	163	—	326	
修士(国際協力学)						
(博士課程後期) 博士(教育学)		3	50	—	150	
博士(教育心理学)						
博士(国際協力学)						
博士(学術)						

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程前期)>

区分	対象年度 令和2年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	163 (-) [-]		() []		1.03倍	- 倍	
志願者数	287 (-) [139]	() []	() []	() []			
受験者数	279 (-) [136]	() []	() []	() []			
合格者数	174 (-) [60]	() []	() []	() []			
B 入学者数	169 (-) [59]	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.03						

<人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程後期)>

区分	対象年度 令和2年度		令和 年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50 (-) [-]		() []		() []		1.08倍	- 倍	
志願者数	68 (-) [24]	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	67 (-) [24]	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	54 (-) [19]	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	54 (-) [19]	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.08								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程前期)>

対象年度 学 年	令和2年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	169 [59] (-)	[] ()	[] ()	[] ()							
2年次	/		[] ()	[] ()							
3年次			/								
4年次	/										
計			169 [59] (-)		[] ()						

<人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程後期)>

対象年度 学 年	令和2年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		令和 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	54 [19] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					
3年次			/				[] ()	[] ()			
4年次	/										
計			54 [19] (-)		[] ()						

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程前期)>

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	169 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況
 <人間社会科学部 教育科学専攻(博士課程後期)>

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	54人	0人	令和2年度	0人	0人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{54} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間社会科学研究科 教育科学専攻（博士課程前期）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2①②④	1									兼5
	持続可能な発展科目 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2②	1									兼7
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2④	1			2						兼4
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2①	1			3						兼5
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2③	1									兼7
	ダイバーシティの理解	1・2②	2									兼3
	ダイバーシティの理解	1・2②	1			1						兼3
	データリテラシー	1・2①	1									兼2
	医療情報リテラシー	1・2③	1									兼9
	人文社会系キャリアマネジメント	1・2②③	2									兼1
理工系キャリアマネジメント	1・2②	2									兼1	
ストレスマネジメント	1・2②④	2									兼1	
情報セキュリティ	1・2①	2									兼3	
MOT入門	1・2①③	1									兼1	
アントレプレナーシップ概論	1・2①	1									兼1	
小計 (15科目)		-	0	20	0	4	1	0	0	0	0	兼48
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1①	2			5	1	1				兼42
	人間社会科学のための科学史	1・2②	2			4	2	1				兼43
	異分野協働プロジェクト	1・2①	2			1						兼9
	未来創造思考（基礎）	1・2②	1									兼1
	国際標準化論	1・2②	1									兼1
	理工系のための経営組織論	1・2②	1									兼2
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1②	2									兼2
小計 (7科目)		-	2	9	0	7	3	2	0	0	0	兼92
専攻共通科目	教育科学のための研究法と倫理	1・2①	2			5	1					
	教育科学と社会	1・2②	2			7	2					
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2③	2					1				
	Religious culture in public education	1・2④	2					1				
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2③	2					1				
	日本の教育開発経験	1・2③	2			4	4					
小計 (6科目)		-	0	12	0	9	5	2	0	0	0	
学習開発学特別研究	カリキュラム開発特別研究	1~2	4			3	3					
	特別支援教育学特別研究	1~2	4			4	3					
	自然システム教育学特別研究A	1~2	4			2	3	2				
	自然システム教育学特別研究B	1~2	4			3	4					
	数学教育学特別研究A	1~2	4			3		1				
	数学教育学特別研究B	1~2	4			1	1					
	技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) A	1~2	4			1	2					
	技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) B	1~2	4				1					
	技術・情報教育学特別研究 (情報) A	1~2	4			2	1					
	小計 (10科目)		-	0	40	0	30	15	2	0	0	0

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2②③④	1									兼9
	持続可能な発展科目 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2②	1									兼6
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2④	1			2						兼4
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2①②	1			3						兼5
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2③④	1									兼7
	ダイバーシティの理解	1・2後	2									兼3
	ダイバーシティの理解	1・2前	1			1						兼3
	データリテラシー	1・2①②	1									兼2
	医療情報リテラシー	1・2③	1									兼7
	人文社会系キャリアマネジメント	1・2②③	2									兼1
理工系キャリアマネジメント	1・2前	2									兼1	
ストレスマネジメント	1・2②④	2									兼2	
情報セキュリティ	1・2前	2									兼3	
MOT入門	1・2①②	1									兼1	
アントレプレナーシップ概論	1・2前	1									兼1	
小計 (15科目)		-	0	20	0	4	1	0	0	0	0	兼50
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1①	2			7	6	1				兼46
	人間社会科学のための科学史	1・2②	2			9	5	1				兼48
	異分野協働プロジェクト	1・2後	2			1						兼9
	未来創造思考（基礎）	1・2②	1									兼1
	ルール形成のための国際標準化	1・2②	1									兼1
	理工系のための経営組織論	1・2②	1									兼2
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1②	2									兼2
	データビジュアライゼーションA	1・2後	1									兼1
	データビジュアライゼーションB	1・2後	1									兼1
	環境原論A	1・2後	1									兼1
環境原論B	1・2後	1									兼1	
小計 (11科目)		-	2	13	0	12	10	2	0	0	0	兼88
専攻共通科目	教育科学のための研究法と倫理	1・2①	2			19	14	3				兼2
	教育科学と社会	1・2②	2			23	12	4				
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2②	2					1				
	Religious culture in public education	1・2③	2					1				
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2③	2					1				
	日本の教育開発経験	1・2③	2			4	4					
小計 (6科目)		-	0	12	0	38	27	6	0	0	0	兼2
学習開発学特別研究	カリキュラム開発特別研究	1~2	4			3	3					
	特別支援教育学特別研究	1~2	4			4	3					兼1
	自然システム教育学特別研究A	1~2	4			2	3	2				
	自然システム教育学特別研究B	1~2	4			3	4					
	数学教育学特別研究A	1~2	4			3		1				
	数学教育学特別研究B	1~2	4			1	1					
	技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) A	1~2	4			1	3					
	技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) B	1~2	4				1					
	技術・情報教育学特別研究 (情報) A	1~2	4			3	1					
	小計 (10科目)		-	0	40	0	30	15	2	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術・情報教育学特別研究(情報)B	1~2	4		1							
	社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)A	1~2	4		1	1						
	社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B	1~2	4		1							
	社会認識教育学特別研究(社会・公民)A	1~2	4		1		2					
	社会認識教育学特別研究(社会・公民)B	1~2	4		1	1						
	国語文化教育教育学特別研究A	1~2	4		2	1					兼1	
	国語文化教育教育学特別研究B	1~2	4		2							
	英語教育学特別研究A	1~2	4		1	1						
	英語教育学特別研究B	1~2	4		1	1						
	健康スポーツ教育学特別研究A	1~2	4		3	2						
	健康スポーツ教育学特別研究B	1~2	4		1	1						
	人間生活教育学特別研究A	1~2	4		2	3						
	人間生活教育学特別研究B	1~2	4		1							
	音楽教育学特別研究A	1~2	4		2	1						
	音楽教育学特別研究B	1~2	4			1						
	造形芸術教育学特別研究A	1~2	4		3	1						
	造形芸術教育学特別研究B	1~2	4			2						
	教室環境デザイン基礎研究	1①	2		1							
	教室環境デザイン発展研究	1③	2			1						
	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究a	1①	2		1							
	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b	1②	2			1						
	人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究a	1③	2		1							
	人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究b	1④	2			1						
	I C T空間デザイン基礎研究	1②	2		1		1					
	I C T空間デザイン発展研究	1④	2		1							
	ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科)	2前	2		1	2						
	フィールドラーニングデザイン研究(理科)	2前	2		2	2						
	学習開発学基礎研究	1①	2		1	3						
	学習開発学発展研究	1③	2		2	2						
	学習開発学特論	1①	2		5	5	2	1			兼1	
	教科課程デザイン基礎研究a	1①	2		3							
	教科課程デザイン基礎研究b	1①	2			1						
	教科課程デザイン基礎研究c	1①	2		1							
	教科課程デザイン発展研究a	1③	2		3							
	教科課程デザイン発展研究b	1③	2			1						
	指導・評価法デザイン基礎研究	1①又は②	2		5	4						
	指導・評価法デザイン発展研究	1③又は④	2		5	4						
	学力・コンピテンシーデザイン基礎研究	1①又は②	2		2	1						
	学力・コンピテンシーデザイン発展研究	1③又は④	2		2	1						
	比較カリキュラムデザイン基礎研究	1①又は②	2		2	1						
	比較カリキュラムデザイン発展研究	1③又は④	2		2	1						
	カリキュラムデザイン史基礎研究	1②	2		1							
	カリキュラムデザイン史発展研究	1④	2		1							
	子どもと学習材デザイン基礎研究a	1①	2		2	2					兼1	
	子どもと学習材デザイン基礎研究b	1①	2		1							
	子どもと学習材デザイン基礎研究c	1①	2		1							
	子どもと学習材デザイン発展研究a	1③	2		2	2					兼1	
	子どもと学習材デザイン発展研究b	1③	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術・情報教育学特別研究(情報)B	1~2	4		1							
	社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)A	1~2	4		1	1						
	社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B	1~2	4		1							
	社会認識教育学特別研究(社会・公民)A	1~2	4		1		2					
	社会認識教育学特別研究(社会・公民)B	1~2	4		1	1						
	国語文化教育教育学特別研究A	1~2	4		2	0					兼1	
	国語文化教育教育学特別研究B	1~2	4		2							
	英語教育学特別研究A	1~2	4		1	1						
	英語教育学特別研究B	1~2	4		1	1						
	健康スポーツ教育学特別研究A	1~2	4		3	2						
	健康スポーツ教育学特別研究B	1~2	4		1	1						
	人間生活教育学特別研究A	1~2	4		3	2						
	人間生活教育学特別研究B	1~2	4		1							
	音楽教育学特別研究A	1~2	4		2	1						
	音楽教育学特別研究B	1~2	4			1						
	造形芸術教育学特別研究A	1~2	4		3	1						
	造形芸術教育学特別研究B	1~2	4			2						
	教室環境デザイン基礎研究	1④	2		1							
	教室環境デザイン発展研究	1③	2			1						
	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究a	1②	2		1							
	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b	1③	2			1						
	人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究a	1④	2		1							
	人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究b	1④	2			1						
	I C T空間デザイン基礎研究	1②	2		1		1					
	I C T空間デザイン発展研究	1④	2		1							
	ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科)	2前	2		1	2						
	フィールドラーニングデザイン研究(理科)	2前	2		2	2						
	学習開発学基礎研究	1②	2		1	3						
	学習開発学発展研究	1④	2		2	2						
	学習開発学特論	1①	2		5	5	2	1			兼1	
	教科課程デザイン基礎研究a	1①③	2		3							
	教科課程デザイン基礎研究b	1①	2			1						
	教科課程デザイン基礎研究c	1①	2		1							
	教科課程デザイン発展研究a	1③④	2		3							
	教科課程デザイン発展研究b	1③	2			1						
	指導・評価法デザイン基礎研究	1①又は②	2		5	4						
	指導・評価法デザイン発展研究	1③又は④	2		5	4						
	学力・コンピテンシーデザイン基礎研究	1①又は②	2		2	1						
	学力・コンピテンシーデザイン発展研究	1③又は④	2		2	1						
	比較カリキュラムデザイン基礎研究	1①又は②	2		2	1						
	比較カリキュラムデザイン発展研究	1③又は④	2		2	1						
	カリキュラムデザイン史基礎研究	1②	2		1							
	カリキュラムデザイン史発展研究	1④	2		1							
	子どもと学習材デザイン基礎研究a	1①②	2		2	2					兼1	
	子どもと学習材デザイン基礎研究b	1①	2		1							
	子どもと学習材デザイン基礎研究c	1③	2		1							
	子どもと学習材デザイン発展研究a	1③	2		2	2					兼1	
	子どもと学習材デザイン発展研究b	1③	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)b	1②		2			1					
	STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)	1①		2		1						
	STEMと学習材デザイン基礎研究(情報)	1①		2		1						
	STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	STEMと学習材デザイン発展研究(理科)b	1④		2			1					
	STEMと学習材デザイン発展研究(情報)	1③		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)b	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)b	1④		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b	1②		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①		2				1				
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③		2				1				
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(美術)	1③		2			1					
教師教育デザインプログラム	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1①		2		1				1		
	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報)	1②		2			1			1		
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1③		2		1				1		
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)	1④		2			1			1		
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1②		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1④		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)b	1②		2			1					
	STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)	1②		2		1						
	STEMと学習材デザイン基礎研究(情報)	1①		2		1						
	STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	STEMと学習材デザイン発展研究(理科)b	1④		2			1					
	STEMと学習材デザイン発展研究(情報)	1③		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)b	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)b	1④		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③		2			1					
	環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a	1②		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b	1③		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①		2				1				
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a	1③		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④		2			1					
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③		2				1				
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2		1						
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(美術)	1③		2			1					
教師教育デザインプログラム	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1①		2		1			1			
	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報)	1②		2			1		1			
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1③		2		1			1			
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)	1④		2			1		1			
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1②		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1④		2		1						
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム専門科目	創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①		2				1				
	創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②		2			1					
	創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①		2			1					
	創造性と学習材デザイン基礎研究(美術)	1②		2			1					
	創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③		2				1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④		2				1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)	1③		2				1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(美術)	1④		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)	1①		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1②		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)	1④		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(英語)	1③		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(音楽)	1④		2				1				
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語)	1①		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)	1③		2			1					
	表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②		2								兼1
	表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)	1④		2								兼1
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a	1①		2			1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b	1②		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a	1③		2			1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b	1④		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(美術)	1③		2			1					
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1②		2				1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科)b	1①		2				1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2				1				
	生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科)a	1④		2				1				
生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科)b	1③		2				1					
生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2				1					
表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1①		2				1					
表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム専門科目	創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①		2					1			
	創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②		2				1				
	創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①		2				1				
	創造性と学習材デザイン基礎研究(美術)	1②		2				1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③		2					1			
	創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④		2					1			
	創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)	1③		2					1			
	創造性と学習材デザイン発展研究(美術)	1④		2					1			
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②		2					0			兼1
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)	1③		2					1			
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1②		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)	1④		2					0			兼1
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(英語)	1①		2				1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(音楽)	1④		2				1				
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語)	1①		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③		2			1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)	1③		2			1					
	表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②		2								兼1
	表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)	1④		2								兼1
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a	1②		2			1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b	1④		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a	1④		2			1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b	1②		2			1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(美術)	1③		2			1					
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1②		2				1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科)b	1①		2				1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①		2				1	0			
	生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科)a	1④		2				1				
生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科)b	1③		2				1					
生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③		2				1	0				
表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②		2				1					
表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	表現と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1②	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1③	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1③	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (美術)	1④	2		1						
	教育支援者専門知デザイン基礎研究	1①	2		2	3					
	教育支援者専門知デザイン発展研究	1③	2		2	3					
	教師の成長・キャリアデザイン基礎研究	1①	2		1						
	教師の成長・キャリアデザイン発展研究	1③	2		1						
	教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究	1②	2		1						
	教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究	1④	2		1						
	教師教育プラクティカム基礎研究	1①	2		1						
	教師教育プラクティカム発展研究	1③	2		1	1					
	実習指導・授業研究デザイン基礎研究	1②	2		1						
	実習指導・授業研究デザイン発展研究	1④	2		1						
	特別支援教育学特論	1②	2		1						
	特別支援教育実践研究	1前	2		2	3	2	1			
	発達障害指導法特論	1③	2		1			1			
	コミュニケーション障害指導法特論	1③	2		1					1	
	重複障害指導法特論	1②	2		2		1				
	視覚障害指導法特論	1①	2		2		1			1	
	視覚障害学演習	1③	2		1	1				1	
	視覚障害心理学特論	1②	2		1					1	
	聴覚障害指導法特論	1②	2		2	1				1	
	聴覚障害学演習	1④	2		1					1	
	聴覚障害心理学特論	1①	2		2	1				1	
	知的障害指導法特論	1①	2		1					1	
	知的障害学演習	1④	2		1					1	
	知的障害心理学特論	1①	2		1					1	
	肢体不自由指導法特論	1①	2				1				
	肢体不自由心理学特論	1②	2				1			1	
	病弱教育特論	1③	2				1			1	
	病弱生理・病理特論	1前	2				1			1	
	特別支援教育フアンリテーション論	1通	2			1				1	
	学校心理学	1④	2		2	1				2	
	学習支援論	1①	2			1				1	
	学校臨床心理学	1③	2							1	
	心理教育的アセスメント演習	1②	2		1					1	
	学校カウンセリング論演習	1④	2		1					1	
	生涯キャリア形成支援論	1②	2		1					1	
	知識構成論	1④	2		1					1	
	小計 (169科目)	-	0	392	0	43	36	5	1	0	兼3
	教育哲学特講 I	1②	1		1					1	
	教育哲学特講 II	1②	1		1					1	
	日本東洋教育史特講 I	1①	1		1					1	
	日本東洋教育史特講 II	1①	1		1					1	
	西洋教育史特講 I	1①	1		1					1	
	西洋教育史特講 II	1①	1		1					1	
	教育社会学特講 I	1③	1		1					1	
	教育社会学特講 II	1③	1		1					1	
	教育方法学特講 I	1②	1		1					1	
	教育方法学特講 II	1②	1		1					1	
	社会教育学特講 I	1②	1		1					1	
	社会教育学特講 II	1②	1		1					1	
	教育行財政学特講 I	1③	1		1					1	
	教育行財政学特講 II	1③	1		1					1	
	比較国際教育学特講 I	1①	1		1					1	
	比較国際教育学特講 II	1①	1		1					1	
	教育経営学特講 I	1②	1		1					1	
	教育経営学特講 II	1②	1		1					1	
	幼児教育学特講 I	1④	1		1					1	
	幼児教育学特講 II	1④	1		1					1	
	異文化間理解の社会理論と実践特講 I	1②	1		1					1	
	異文化間理解の社会理論と実践特講 II	1②	1		1					1	
	教育哲学演習 I	1④	1		1					1	
	教育哲学演習 II	1④	1		1					1	
	日本東洋教育史演習 I	1③	1		1					1	
	日本東洋教育史演習 II	1③	1		1					1	
	西洋教育史演習 I	1③	1		1					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	表現と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1②	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1④	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1③	2		1						
	表現と学習材デザイン発展研究 (美術)	1④	2		1						
	教育支援者専門知デザイン基礎研究	1前	2		2	3					
	教育支援者専門知デザイン発展研究	1後	2		2	3					
	教師の成長・キャリアデザイン基礎研究	1②	2		1						
	教師の成長・キャリアデザイン発展研究	1③	2		1						
	教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究	1①	2		1						
	教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究	1③	2		1						
	教師教育プラクティカム基礎研究	1④	2		1						
	教師教育プラクティカム発展研究	1③	2		1	1					
	実習指導・授業研究デザイン基礎研究	1②	2		1						
	実習指導・授業研究デザイン発展研究	1⑤	2		1						
	特別支援教育学特論	1②	2		1						
	特別支援教育実践研究	1前	2		2	3	2	1			
	発達障害指導法特論	1③	2		1					1	
	コミュニケーション障害指導法特論	1③	2		1					1	
	重複障害指導法特論	1②	2		2		1				
	視覚障害指導法特論	1①	2		2		1			1	
	視覚障害学演習	1③	2		1		1			1	
	視覚障害心理学特論	1②	2		1					1	
	聴覚障害指導法特論	1③	2		2	1				1	
	聴覚障害学演習	1④	2		1					1	
	聴覚障害心理学特論	1①	2		2	1				1	
	知的障害指導法特論	1③	2		1					1	
	知的障害学演習	1④	2		1					1	
	知的障害心理学特論	1①	2		1					1	
	肢体不自由指導法特論	1①	2				1				
	肢体不自由心理学特論	1②	2				1			1	
	病弱教育特論	1③	2				1			1	
	病弱生理・病理特論	1前	2				1			1	
	特別支援教育フアンリテーション論	1通	2			1				1	
	学校心理学	1③	2		2	1				2	
	学習支援論	1②	2			1				1	
	学校臨床心理学	1③	2							1	
	心理教育的アセスメント演習	1①	2		1					1	
	学校カウンセリング論演習	1②	2		1					1	
	生涯キャリア形成支援論	1④	2		1					1	
	知識構成論	1①	2		1					1	
	小計 (169科目)	-	0	392	0	44	34	5	1	0	兼6
	教育哲学特講 I	1②	1		1					1	
	教育哲学特講 II	1②	1		1					1	
	日本東洋教育史特講 I	1①	1		1					1	
	日本東洋教育史特講 II	1①	1		1					1	
	西洋教育史特講 I	1①	1		1					1	
	西洋教育史特講 II	1②	1		1					1	
	教育社会学特講 I	1①	1		1					1	
	教育社会学特講 II	1②	1		1					1	
	教育方法学特講 I	1②	1		1					1	
	教育方法学特講 II	1②	1		1					1	
	社会教育学特講 I	1①	1		1					1	
	社会教育学特講 II	1②	1		1					1	
	教育行財政学特講 I	1②	1		1					1	
	教育行財政学特講 II	1②	1		1					1	
	比較国際教育学特講 I	1①	1		1					1	
	比較国際教育学特講 II	1①	1		1					1	
	教育経営学特講 I	1②	1		1					1	
	教育経営学特講 II	1②	1		1					1	
	幼児教育学特講 I	1④	1		1					1	
	幼児教育学特講 II	1④	1		1					1	
	異文化間理解の社会理論と実践特講 I	1②	1		1					1	
	異文化間理解の社会理論と実践特講 II	1②	1		1					1	
	教育哲学演習 I	1④	1		1					1	
	教育哲学演習 II	1④	1		1					1	
	日本東洋教育史演習 I	1③	1		1					1	
	日本東洋教育史演習 II	1③	1		1					1	
	西洋教育史演習 I	1③	1		1					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教育学プログラム	西洋教育史演習 II	1③	1			1								
	教育社会学演習 I	1④	1		1									
	教育社会学演習 II	1④	1		1									
	教育方法学演習 I	1③	1		1									
	教育方法学演習 II	1③	1		1									
	社会教育学演習 I	1③	1		1									
	社会教育学演習 II	1③	1		1									
	教育行財政学演習 I	1②	1		1									
	教育行財政学演習 II	1②	1		1									
	比較国際教育学演習 I	1③	1		1									
	比較国際教育学演習 II	1③	1		1									
	教育経営学演習 I	1③	1		1									
	教育経営学演習 II	1③	1		1									
	幼児教育学演習 I	1①	1		1									
	幼児教育学演習 II	1①	1		1									
	教育調査統計学演習	1前	2		1									
	教育学フィールドワーク演習	1④	2		1									
	高等教育基礎論 I (理論・手法)	1前・後	2		3	3	1						兼2	
	高等教育基礎論 II (制度・政策)	1前・後	2		3	3	1				0	0		
	Comparative Studies in Higher Education	1・2前	2				1				1	1		
	大学教育論	1・2後	2			1					0		兼1	
	大学カリキュラム開発論	1・2前	2		1									
	高等教育目標論	1・2前	2		1									
	高等教育経済論	1・2後	2										兼1	
	高等教育組織論・職員論	1・2前	2		1						1			
	高等教育評価論	1・2後	2		1						1			
	高等教育アドミッション論	1・2後	2		1									
	学術政策論	1・2後	2										兼1	
	学生論	1・2後	2										兼1	
	Advanced Statistics	1・2後	2										兼1	
	Higher Education in Japan	1前	2		2	3	1				2	1	兼3	
	Development of Higher Education	1・2前	2		1									
	学費政策論	1・2後	2										兼1	
	高等教育基礎演習 I (実践研究)	1・2前	2		2	3	1				1	0	兼1	
	小計 (61科目)	-	0	80	0	10	9	1	0	0	0	0	兼4	
	日本語教育プログラム	日本語教育研究方法論	1・2①②	2			7	3						
		日本語教育学研究プロジェクト	1・2③④	2			7	3						
		日本語習得論特講	1・2③	2		1								
		言語教育心理学特講	1・2③	2		1								
		日本語教育評価法特講	1・2③	2		1						1	0	
		年少者日本語教育特講	1・2③	2		1						1		
		日本語構造論特講	1・2①	2		1						1		
		日本語表現法特講	1・2①	2		1						1		
		対照言語学特講	1・2①	2		1						1		
		社会言語学特講	1・2③	2		1						1		
		異文化間教育学特講	1・2①	2		1						1		
		文化社会学特講	1・2②	2		1						1		
日本近代文学特講		1・2③	2		1						1			
日本語習得論演習		1・2④	2		1						1			
言語教育心理学演習		1・2②	2		1						1			
日本語教育評価法演習		1・2④	2		1						1	0		
年少者日本語教育演習		1・2④	2		1						1			
日本語構造論演習		1・2②	2		1						1			
日本語表現法演習		1・2②	2		1						1			
対照言語学演習		1・2③	2		1						1			
社会言語学演習		1・2④	2		1						1			
異文化間教育学演習		1・2③	2		1						1			
文化社会学演習		1・2④	2		1						1			
日本近代文学演習		1・2④	2		1						1			
国内日本語教育実践研究		1・2①②	2		3	2					4	1		
海外日本語教育実践研究		1・2③④	2		3	2					4	1		
小計 (26科目)		-	0	48	4	7	4	0	0	0	0	0	0	兼6
教育学プログラム		教育基礎論	1・2④	2			1							
		国際教育協力論	1・2①	2		1								
		教育人材開発論	1・2②	2		1					1			
		ノンフォーマル教育論	1・2④	2		1					1			
		理科教育開発論	1・2②	2		1					1		0	
		科学教育開発基礎論	1・2①	2		1					1		0	
		数学教育開発論	1・2③	2		1					1			
		高等教育開発論	1・2①	2		1					1			
		小計 (26科目)	-	0	48	4	7	4	0	0	0	0	0	0
日本語教育プログラム		日本語教育研究方法論	1・2前	2			8	2						
		日本語教育学研究プロジェクト	1・2後	2			8	2						
		日本語習得論特講	1・2③	2		1								
		言語教育心理学特講	1・2③	2		1								
	日本語教育評価法特講	1・2③	2		1					1	0			
	年少者日本語教育特講	1・2②	2		1						1			
	日本語構造論特講	1・2①	2		1						1			
	日本語表現法特講	1・2①	2		1						1			
	対照言語学特講	1・2②	2		1						1			
社会言語学特講	1・2③	2		1						1				
異文化間教育学特講	1・2①	2		1						1				
文化社会学特講	1・2②	2		1						1				
日本近代文学特講	1・2③	2		1						1				
日本語習得論演習	1・2④	2		1						1				
言語教育心理学演習	1・2②	2		1						1				
日本語教育評価法演習	1・2④	2		1						1	0			
年少者日本語教育演習	1・2④	2		1						1				
日本語構造論演習	1・2②	2		1						1				
日本語表現法演習	1・2②	2		1						1				
対照言語学演習	1・2③	2		1						1				
社会言語学演習	1・2④	2		1						1				
異文化間教育学演習	1・2③	2		1						1				
文化社会学演習	1・2④	2		1						1				
日本近代文学演習	1・2④	2		1						1				
国内日本語教育実践研究	1・2前	2		4	3					8	3			
海外日本語教育実践研究	1・2後	2		4	3					8	3			
小計 (26科目)	-	0	48	4	7	4	0	0	0	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際教育開発プログラム	教育協力実践基礎論Ⅰ	1・2①	2			2	2					兼2
	教育協力実践基礎論Ⅱ	1・2②	2			2	2					
	国際教育協力実践研究	1・2④	2				1					
	基礎教育開発論	1・2①	2				1					
	教育協力事業評価論	1・2③	2			1						
	教科教育授業論	1・2②	2			2	1					
	途上国の比較教育学	1・2③	2				1					
	インクルーシブ教育論	1・2②	2			1						
	平和社会のための教育	1・2①	2				1					
	教育統計概論	1・2④	2			1						
	教育開発フィールドワーク論	1・2②	2				3					
	地域カリキュラム開発論	1・2③	2				1					
	スポーツ教育開発論	1・2④	2			1						
	グローバルシテイズンシップ教育論	1・2④	2				1					
	幼児教育・保育開発論Ⅰ	1・2③	2				1					
	幼児教育・保育開発論Ⅱ	1・2④	2				1					
	小計(24科目)	—	0	48	0	8	6	0	0	0	0	0
特別研究	1~2		4		22	19	1					兼1
小計(281科目)	—	0	572	4	64	55	6	1	0	0	0	兼10
合計(309科目)	—	2	613	4	64	56	8	1	0	0	0	兼146

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上
研究科共通科目	4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
専攻共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上
	特別研究	4単位 特別研究：4単位（教師教育デザイン学プログラムは、基幹領域科目）。
他プログラム専門科目	2単位以上	
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目	4単位以上	
合計	30単位以上	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際教育開発プログラム	教育協力実践基礎論Ⅰ	1・2①	2			2	2					兼2
	教育協力実践基礎論Ⅱ	1・2②	2			2	2					
	国際教育協力実践研究	1・2③	2				1					
	基礎教育開発論	1・2②	2				1					
	教育協力事業評価論	1・2③	2			1						
	教科教育授業論	1・2④	2			2	1					
	途上国の比較教育学	1・2③	2				1					
	インクルーシブ教育論	1・2④	2			1						
	平和社会のための教育	1・2①	2				1					
	教育統計概論	1・2④	2			1						
	教育開発フィールドワーク論	1・2①	2				3					
	地域カリキュラム開発論	1・2②	2				1					
	スポーツ教育開発論	1・2④	2			1						
	グローバルシテイズンシップ教育論	1・2④	2				1					
	幼児教育・保育開発論Ⅰ	1・2①	2				1					
	幼児教育・保育開発論Ⅱ	1・2③	2				1					
	民族言語教育論	1・2②	2				1					
民族言語文化論	1・2①	2				1						
教育開発計画Ⅰ	1・2②	2				1						
教育開発計画Ⅱ	1・2④	2				1						
インターンシップ	1・2前後	2				8						
フィールドワーク	1・2前後	2				8						
小計(30科目)	—	0	60	0	9	7	0	0	0	0	0	兼2
特別研究	1~2		4		26	20	1					兼3
小計(291科目)	—	0	584	4	67	53	6	1	0	0	0	兼22
合計(319科目)	—	2	629	4	67	54	9	1	0	0	0	兼158

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上
研究科共通科目	4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
専攻共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上
	特別研究	4単位 特別研究：4単位（教師教育デザイン学プログラムは、基幹領域科目）。
他プログラム専門科目	2単位以上	
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目	4単位以上	
合計	30単位以上	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ＜大学院共通科目＞
- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任9」に変更。
 - ・教員の退職により、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「1・2①」から「1・2①②」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「1・2③」から「1・2③④」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため及び教員の見直しにより、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
 - ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①②」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「アントレプレナーシップ概論」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ＜研究科共通科目＞
- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学特別講義」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授1」から「准教授6」、「兼任・兼任42」から「兼任・兼任46」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「人間社会科学のための科学史」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授9」、「准教授2」から「准教授5」、「兼任・兼任43」から「兼任・兼任48」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「異分野協働プロジェクト」の配当年次を「1・2①」から「1・2後」に変更。
 - ・授業科目の名称を「国際標準化論」から「ルール形成のための国際標準化」に変更。
 - ・人間社会科学研究科の設置が認められたのちに、広島大学・グラーツ大学国際連携サステナビリティ学専攻の設置（令和2年10月開設）が認められたことを受け、また、研究科共通科目の英語科目を充実させるため、次の授業科目を新設。
「データビジュアライゼーションA」「データビジュアライゼーションB」「環境原論A」「環境原論B」
- ＜専攻共通科目＞
- ・授業科目の充実のため、「教育学のための研究法と倫理」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授19」、「准教授1」から「准教授14」「講師0」から「講師3」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「教育学と社会」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授23」、「准教授2」から「准教授12」、「講師0」から「講師4」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「Religious culture in public education」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ＜プログラム専門科目：教師教育デザイン学プログラム＞
- ・授業科目の充実のため、「カリキュラム開発特別研究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究（技術・工業）A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究（情報）A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - ・教員の就任辞退により、「国語文化教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
 - ・教員の昇任により、「人間生活教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「教室環境デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン基礎研究b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学発展研究」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①③」に変更。
 - ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1③④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「子どもと学習材デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「子どもと学習材デザイン基礎研究c」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「STEMと学習材デザイン基礎研究（数学）」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究（数学）a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究（数学）b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究（技術・工業）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究（情報）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究（技術・工業）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
 - ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究（情報）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
 - ・教員の就任辞退により、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究（国語）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究（英語）」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
 - ・教員の就任辞退により、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究（国語）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
 - ・学生の履修機会の確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究（英語）」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。

- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「表現と学習材デザイン基礎研究(国語)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「表現と学習材デザイン発展研究(国語)」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育支援者専門知デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育支援者専門知デザイン発展研究」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教師の成長・キャリアデザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。

- ・学生の履修機会の確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教師教育プラクティカム基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「実習指導・授業研究デザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「知的障害指導法特論」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学校心理学」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習支援論」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「心理教育的アセスメント演習」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学校カウンセリング論演習」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「生涯キャリア形成支援論」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「知識構成論」の配当年次を「1④」から「1①」に変更。

<プログラム専門科目：教育学プログラム>

- ・教員の見直しにより、「教育哲学特講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の見直しにより、「教育哲学特講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋教育史特講Ⅰ」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会教育学特講Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学演習Ⅰ」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会教育学演習Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学演習Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学演習Ⅱ」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育学演習Ⅰ」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「Comparative Studies in Higher Education」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「大学教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の就任辞退及び授業科目の充実のため、「Higher Education in Japan」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Development of Higher Education」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。

<プログラム専門科目：日本語教育学プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育研究方法論」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育学研究プロジェクト」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法特講」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「年少者日本語教育特講」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「対照言語学特講」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「年少者日本語教育演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国内日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「海外日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。

<プログラム専門科目：国際教育開発プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため、「教育基礎論」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育人材開発論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「ノンフォーマル教育論」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「理科教育開発論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「科学教育開発基礎論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「数学教育開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「高等教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際教育協力実践研究」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「基礎教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教科教育授業論」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「途上国の比較教育学」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「インクルーシブ教育論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育開発フィールドワーク論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地域カリキュラム開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅰ」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅱ」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語教育論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語文化論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅰ」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅱ」を新規科目として開講。
- ・広島大学とJICAの連携協定による特別教育プログラム「ザンビア特別教育プログラム」を実施することに伴い、次の科目を教育課程に位置付け、新規科目として開講。
「インターンシップ」、「フィールドワーク」
- ・誤記入のため、「認可時又は届出時」の准教授の小計を「13」から「6」に変更。

<特別研究>

- ・授業科目の充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授26」、「准教授19」から「准教授20」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	306 科目	2 科目	309 科目	1 科目 [0]	316 科目 [10]	2 科目 [0]	319 科目 [10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{309} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<人間社会科学部 教育科学専攻（博士課程後期）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担																	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手																		
持続可能な発展科目	スペシャリスト型SDGsアイデアメイキング学生セミナー	1・2・3 ②③	1								兼1																	
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3 ②	1								兼1																	
	普遍的平和を目指して	1・2・3 ①②④	1								兼4																	
大学院共通科目	データサイエンス	1・2・3 ④	2								兼1																	
	パターン認識と機械学習	1・2・3 ②	2								兼1																	
	データサイエンティスト養成	1・2・3 ②	1								兼1																	
	医療情報リテラシー活用	1・2・3 ④	1								兼9																	
	リーダーシップ手法	1・2・3 ①	1								兼1																	
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3 ②④	1								兼1																	
	イノベーション演習	1・2・3 ③	2								兼1																	
	長期インターンシップ	1・2・3 前後	2								兼1																	
	事業創造概論	1・2・3 ①	1								兼1																	
小計(12科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	兼19																	
研究科共通	プロジェクト研究	1・2・3 ④	2			2					兼9																	
	人間社会科学講義	1・2・3 ②	2			2					兼9																	
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	兼16																	
プログラム専門科目	教育学共同研究講義	1～3 ④	2	2	1																							
	教育学フィールドワーク講義	1④	1	1	1																							
	大学教員養成講座	1～3③	2	1	1	1					兼2																	
	大学授業構成論講義	1～3①②	2	1	1																							
	教職授業プラクティカム I	2・3 ①②	1	6	5																							
	教職授業プラクティカム II	2・3 ③④	1	6	5																							
	教職授業プラクティカム III	2・3 ①②	1	6	5																							
	教職教育ポートフォリオ	2・3 ③	1	1	1																							
	特別研究	1～3	6			66	56	3				兼3																
	小計(9科目)	—	6	0	11	66	56	4	0	0	0	兼5																
合計(23科目)	—	6	20	11	66	56	4	0	0	0	兼40																	
卒業要件及び履修方法																												
修了に必要な単位数を10単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 修了要件																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目区分</th> <th>要修得単位数</th> <th>指定科目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大学院共通科目</td> <td>持続可能な発展科目</td> <td>1単位以上</td> </tr> <tr> <td>キャリア開発・データリテラシー科目</td> <td>1単位以上</td> </tr> <tr> <td>研究科共通科目</td> <td>2単位以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プログラム専門科目</td> <td>特別研究</td> <td>6単位 「必修」 特別研究：6単位</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10単位以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												科目区分	要修得単位数	指定科目等	大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上	研究科共通科目	2単位以上		プログラム専門科目	特別研究	6単位 「必修」 特別研究：6単位	合計	10単位以上	
科目区分	要修得単位数	指定科目等																										
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上																										
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上																										
研究科共通科目	2単位以上																											
プログラム専門科目	特別研究	6単位 「必修」 特別研究：6単位																										
合計	10単位以上																											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担																	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手																		
持続可能な発展科目	スペシャリスト型SDGsアイデアメイキング学生セミナー	1・2・3 前後	1								兼8																	
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3 後	1								兼1																	
	普遍的平和を目指して	1・2・3 ①②④	1								兼9																	
大学院共通科目	データサイエンス	1・2・3 ③	2								兼1																	
	パターン認識と機械学習	1・2・3 ④	2								兼1																	
	データサイエンティスト養成	1・2・3 前	1								兼3																	
	医療情報リテラシー活用	1・2・3 ③	1								兼7																	
	リーダーシップ手法	1・2・3 前後	1								兼2																	
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3 ②④	1								兼1																	
	イノベーション演習	1・2・3 ③	2								兼4																	
	長期インターンシップ	1・2・3 前後	2								兼1																	
	事業創造概論	1・2・3 ①	1								兼1																	
小計(12科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	0	兼33																	
研究科共通	プロジェクト研究	1・2・3 ④	2			2					兼11																	
	人間社会科学講義	1・2・3 通年	2			2					兼11																	
	小計(2科目)	—	0	4	0	4	0	0	0	0	兼16																	
プログラム専門科目	教育学共同研究講義	1～3 後	2	2	2																							
	教育学フィールドワーク講義	1④	1	1	1																							
	大学教員養成講座	1～3 ②④	2	1	0	1					兼2																	
	大学授業構成論講義	1～3前	2	1	1																							
	教職授業プラクティカム I	2・3 前	1	6	5																							
	教職授業プラクティカム II	2・3 後	1	6	5																							
	教職授業プラクティカム III	2・3 前	1	6	5																							
	教職教育ポートフォリオ	2・3 ③	1	1	1																							
	特別研究	1～3	6			69	54	3				兼4																
	小計(9科目)	—	6	0	11	69	54	4	0	0	0	兼6																
合計(23科目)	—	6	20	11	69	54	4	0	0	0	兼55																	
卒業要件及び履修方法																												
修了に必要な単位数を10単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 修了要件																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目区分</th> <th>要修得単位数</th> <th>指定科目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大学院共通科目</td> <td>持続可能な発展科目</td> <td>1単位以上</td> </tr> <tr> <td>キャリア開発・データリテラシー科目</td> <td>1単位以上</td> </tr> <tr> <td>研究科共通科目</td> <td>2単位以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プログラム専門科目</td> <td>特別研究</td> <td>6単位 「必修」 特別研究：6単位</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10単位以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												科目区分	要修得単位数	指定科目等	大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上	研究科共通科目	2単位以上		プログラム専門科目	特別研究	6単位 「必修」 特別研究：6単位	合計	10単位以上	
科目区分	要修得単位数	指定科目等																										
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上																										
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上																										
研究科共通科目	2単位以上																											
プログラム専門科目	特別研究	6単位 「必修」 特別研究：6単位																										
合計	10単位以上																											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3②③」から「1・2・3前後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担8」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3後」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担9」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「データサイエンス」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「パターン認識と機械学習」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「データサイエンティスト養成」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3前」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び教員の見直しのため、「医療情報リテラシー活用」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「リーダーシップ手法」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3前後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「イノベーション演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「プロジェクト研究」の専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「人間社会科学講究」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3通年」に、専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「教育学共同研究講究」の配当年次を「1～3④」から「1～3後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「大学教員養成講座」の配当年次を「1～3③」から「1～3②④」に、教員の就任辞退により、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「大学授業構成論講究」の配当年次を「1～3①②」から「1～3前」に変更。
- ・学生の履修機会を確保するため、「教職授業プラクティカムI」の配当年次を「2・3①②」から「2・3前」に変更。
- ・学生の履修機会を確保するため、「教職授業プラクティカムII」の配当年次を「2・3③④」から「2・3後」に変更。
- ・学生の履修機会を確保するため、「教職授業プラクティカムIII」の配当年次を「2・3①②」から「2・3前」に変更。
- ・教員の就任辞退及び授業科目の充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授66」から「教授69」、「准教授56」から「准教授54」、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	14 科目	8 科目	23 科目	1 科目 [0]	14 科目 [0]	8 科目 [0]	23 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{23} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡				
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡				
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡				
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡				
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	514,567㎡ (514,567㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	514,567㎡ (514,567㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	116室	136室	317室	8室 (補助職員 13人)	8室 (補助職員 18人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	人間社会科学研究科 教育学専攻		131 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位で特定不能 なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕						〔うち外国書〕
	冊	種	点	点	点				
	人間社会科学研究科 教育学専攻	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)		
計	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
	27,030㎡	1,775	2,786,389						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	11,384㎡	野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	610	—	1.06	1.08	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	490	学士(総合科学)	1.05	1.08	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	入学定員変更(△10)
国際共創学科	4	40	—	120	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	550	—	1.06	1.04	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	550	学士(文学)	1.06	1.04	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	入学定員変更(△10)
教育学部	4	445	—	1,810	—	1.02	1.03	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	631	学士(教育学)	1.01	1.03	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	入学定員変更(△3)
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	334	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△6)
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	303	学士(教育学)	1.02	1.00	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△11)
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	331	学士(教育学)	1.04	1.03	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△7)
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	211	学士(心理学)	1.04	1.07	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△3)
法学部	4	170	3年次20	730	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.02	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	150	学士(法学)	1.10	1.06	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番9号	入学定員変更(△10)
経済学部	4	195	3年次10	815	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.06	1.04	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	編入学定員変更(△5)
(夜間主コース)	4	45	3年次5	205	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番9号	入学定員変更(△15) 編入学定員変更(△5)
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.05	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47	—	188	学士(理学)	1.04	1.04	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.06	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59	—	236	学士(理学)	1.04	1.00	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34	—	136	学士(理学)	1.06	1.05	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24	—	96	学士(理学)	1.06	1.04	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	718	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.00	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	718	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.00	1.00	—	平成4	同上	
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.02	—	平成21	—	

歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.05	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	
薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.13	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.13	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,465	—	1.03	1.02	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	455	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	464	学士(工学)	1.01	1.01	平成30	平成13	同上	編入学定員変更(第三類4人)
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.07	1.05	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.10	1.05	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.10	1.05	—	昭和54	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	245	—	1.07	1.10	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	245	学士(情報科学)	1.07	1.10	—	平成30	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	6	209	—	1,264	—	1.00	1.00	—	—	—	
	4	2,127	80	8,273	—	1.04	1.03	—	—	—	

大学の名称	広島大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会科学部	前期2	420	—	420	—	0.76	0.76	—	令和2	—	
	後期3	135	—	135	—	0.74	0.74	—	令和2	—	
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	令和2	—	
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	令和2	—	
	前期2	257	—	257	修士(文学)	0.59	0.59	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
人文社会科学専攻 (博士課程)	後期3	85	—	85	修士(心理学)	0.54	0.54	—	令和2		
					修士(法学)						
					修士(経済学)						
					修士(経営学)						
					修士(マネジメント)						
教育科学専攻 (博士課程)	前期2	163	—	163	修士(国際協力)	1.03	1.03	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
					修士(学術)						
					修士(教育学)						
					修士(教育心理学)						
					修士(国際協力)						
後期3	50	—	50	修士(学術)	1.08	1.08	—	令和2			
				博士(教育学)							
				博士(教育心理学)							
				博士(国際協力)							
				博士(学術)							
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	30	教職修士(専門職)	0.80	0.80	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
実務法学専攻 (専門職学位課程)	3	20	—	20	法務博士(専門職)	0.90	0.90	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	
先進理工系科学研究科	前期2	449	—	449	—	1.06	1.06	—	令和2	—	
	後期3	128	—	128	—	0.41	0.41	—	令和2	—	
先進理工系科学専攻 (博士課程)	前期2	449	—	449	修士(理学)	1.06	1.06	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
					修士(工学)						
					修士(情報科学)						
					修士(国際協力)						
	後期3	128	—	128	修士(学術)	0.41	0.41	—	令和2		
					博士(理学)						
					博士(工学)						
					博士(情報科学)						
					博士(国際協力)						
					博士(学術)						
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.93	0.90	—	平成31	—	
	後期3	70	—	140	—	0.39	0.24	—	平成31	—	
統合生命科学専攻 (博士課程)	前期2	170	—	340	修士(理学)	0.93	0.90	—	平成31	広島県東広島市鏡山1丁目4番4号	
					修士(工学)					広島県東広島市鏡山1丁目3番1号	
					修士(農学)					広島県東広島市鏡山1丁目7番1号	
					修士(学術)						
	後期3	70	—	140	博士(理学)	0.39	0.24	—	平成31		
					博士(工学)						
					博士(農学)						
					博士(学術)						
医系科学研究科	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.96	0.86	—	平成31	—	
	後期3	25	—	50	—	0.82	0.84	—	平成31	—	

医歯薬学専攻 (博士課程)	4	97	—	194	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.07	1.00	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学) 修士(学術)	0.96	0.86	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
	後期3	25	—	50	博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	0.82	0.84	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	—	—	—	教職修士(専門職)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
学習開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止

マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号9号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12		令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
数理分子生命理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(歯学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(薬学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(看護学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
医歯科学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(医科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(歯科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
機械物理工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止

応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成14	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(医薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14	同上	平成24年度学生募集停止
					博士(医学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(医薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成6	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					修士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成7	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	平成16	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	前期2	1,115	—	1,361	—	0.95	0.91	—	—	—	—
	後期3	358	—	453	—	0.57	0.53	—	—	—	—
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	—	—	—
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	—	—	—
	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻（博士課程前期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 理科教育開発論 科学教育開発基礎論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 教育統計概論 特別研究
		馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 数学教育開発論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 特別研究
		石田 洋子 <令和2年4月> 博士(国際協力学)
専	教授	SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学と社会※ 教育協力事業評価論 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 理科教育開発論 科学教育開発基礎論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 教育統計概論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 数学教育開発論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		石田 洋子 <令和2年4月> 博士(国際協力学)
専	教授	SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学と社会※ 教育協力事業評価論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 異分野協働プロジェクト 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 社会言語学特講 社会言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 数学教育学特別研究B 教科課程デザイン基礎研究c
専	教授	山田 浩之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 教育社会学特講Ⅰ 教育社会学特講Ⅱ 教育社会学演習Ⅰ 教育社会学演習Ⅱ 教育調査統計学演習 特別研究
専	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 言語教育心理学特講 言語教育心理学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 教育学と社会※ 異分野協働プロジェクト 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 社会言語学特講 社会言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 数学教育学特別研究B 教科課程デザイン基礎研究c
専	教授	山田 浩之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 教育社会学特講Ⅰ 教育社会学特講Ⅱ 教育社会学演習Ⅰ 教育社会学演習Ⅱ 教育調査統計学演習 特別研究
専	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 言語教育心理学特講 言語教育心理学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語表現法特講 日本語表現法演習 特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		日本の教育開発経験※ 健康スポーツ教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究 教師教育プラクティカム発展研究 スポーツ教育開発論 特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 Ph. D(米国)
		日本の教育開発経験※ Development of Higher Education 高等教育開発論 特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン基礎研究 心理教育的アセスメント演習 学校カウンセリング論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語表現法特講 日本語表現法演習 特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ 健康スポーツ教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究 教師教育プラクティカム発展研究 スポーツ教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 博士(学術) (米国)
		日本の教育開発経験※ Development of Higher Education 高等教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		人間社会科学特別講義※ 学習開発学特別研究 教室環境デザイン基礎研究 心理教育的アセスメント演習 学校カウンセリング論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学 生涯キャリア形成支援論
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学発展研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	権藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学発展研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学 生涯キャリア形成支援論
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学発展研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	権藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学発展研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育学特論 特別支援教育実践研究 コミュニケーション障害指導法特論 インクルーシブ教育論 特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論 知的障害学演習 知的障害心理学特論
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a 科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a 環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育学特論 特別支援教育実践研究 コミュニケーション障害指導法特論 インクルーシブ教育論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論 知的障害学演習 知的障害心理学特論
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a 科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a 環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池田 良 〈令和2年4月〉 理学博士 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a
		下村 哲 〈令和2年4月〉 博士(学術) 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士 数学教育学特別研究A STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)
		田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A ICT空間デザイン基礎研究 ICT空間デザイン発展研究
		藤中 透 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A STEMと学習材デザイン基礎研究(情報) STEMと学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池田 良 〈令和2年4月〉 理学博士 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a
		下村 哲 〈令和2年4月〉 博士(学術) 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士 数学教育学特別研究A STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)
		田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A 技術・情報教育学特別研究(情報)A ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A ICT空間デザイン基礎研究 ICT空間デザイン発展研究 特別研究
		藤中 透 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A STEMと学習材デザイン基礎研究(情報) STEMと学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学のための研究法と倫理※ 技術・情報教育学特別研究(情報)B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		畠中 和生 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) A 社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
		佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究 A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究 A 表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 国語文化教育学特別研究 B 学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン発展研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 国語文化教育学特別研究 B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		畠中 和生 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) A 社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
		佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン発展研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(英語)
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		英語教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究a 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究a
専	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)b こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)b
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		人間生活教育学特別研究A 社会・生活と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 社会・生活と学習材デザイン発 展研究(家庭)
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		教育科学と社会※ 英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(英語)
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究a 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究a
専	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		人間社会科学のための科学史※ 健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)b こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)b
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 社会・生活と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 社会・生活と学習材デザイン発 展研究(家庭)
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		教育科学と社会※ 人間生活教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間生活教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		音楽教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(音楽) 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		音楽教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽) 表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)
専	教授	一鍛田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (美術) 表現と学習材デザイン発展研究 (美術)
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(美術) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(美術)
専	教授	内田 雅三 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(美術) こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(美術)
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 Ph. D.(学術博士) (米国)
		教育哲学特講 I 教育哲学特講 II 教育哲学演習 I 教育哲学演習 II 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 人間生活教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育科学と社会※ 音楽教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(音楽) 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 音楽教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽) 表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)
専	教授	一鍛田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 造形芸術教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (美術) 表現と学習材デザイン発展研究 (美術)
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(美術) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(美術)
専	教授	内田 雅三 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育科学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(美術) こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(美術)
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 Ph. D.(学術博士) (米国)
		教育哲学演習 I 教育哲学演習 II 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 理恵 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本東洋教育史特講Ⅰ 日本東洋教育史特講Ⅱ 日本東洋教育史演習Ⅰ 日本東洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	教授	小川 佳万 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		比較国際教育学特講Ⅰ 比較国際教育学特講Ⅱ 比較国際教育学演習Ⅰ 比較国際教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育経営学特講Ⅰ 教育経営学特講Ⅱ 教育経営学演習Ⅰ 教育経営学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	七木田 敦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		幼児教育学特講Ⅱ 幼児教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	黄 福涛 〈令和2年4月〉 教育学博士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学カリキュラム開発論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	教授	大膳 司 〈令和2年4月〉 教育学修士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育アドミSSION論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 理恵 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 日本東洋教育史特講Ⅰ 日本東洋教育史特講Ⅱ 日本東洋教育史演習Ⅰ 日本東洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	教授	小川 佳万 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会 ※ 比較国際教育学特講Ⅰ 比較国際教育学特講Ⅱ 比較国際教育学演習Ⅰ 比較国際教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育経営学特講Ⅰ 教育経営学特講Ⅱ 教育経営学演習Ⅰ 教育経営学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	七木田 敦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会 ※ 幼児教育学特講Ⅱ 幼児教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	黄 福涛 〈令和2年4月〉 教育学博士
		教育科学と社会 ※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学カリキュラム開発論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	教授	大膳 司 〈令和2年4月〉 教育学修士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育アドミSSION論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤村 正司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育目標論
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語構造論特講 日本語構造論演習 特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 対照言語学特講 対照言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本近代文学特講 日本近代文学演習 特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語習得論特講 日本語習得論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤村 正司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育目標論 特別研究
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語構造論特講 日本語構造論演習 特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 対照言語学特講 対照言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本近代文学特講 日本近代文学演習 特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語習得論特講 日本語習得論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 和浩 〈令和2年4月〉 MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		国際教育協力論 特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※ 基礎教育開発論 特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教科教育授業論※ 平和社会のための教育 教育開発フィールドワーク論 地域カリキュラム開発論 グローバルシティズンシップ教育論 特別研究
専	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教育基礎論 教育人材開発論 教育開発フィールドワーク論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 和浩 〈令和2年4月〉 MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		国際教育協力論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	佐藤 暢治 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		民族言語教育論 民族言語文化論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※ 基礎教育開発論 特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教科教育授業論※ 平和社会のための教育 教育開発フィールドワーク論 地域カリキュラム開発論 グローバルシティズンシップ教育論 特別研究
専	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教育基礎論 教育人材開発論 教育開発フィールドワーク論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ ノンフォーマル教育論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 幼児教育・保育開発論Ⅰ 幼児教育・保育開発論Ⅱ 特別研究
専	准教授	HOWELL PETER KENNETH 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Applied Linguistics) (スコットランド) Academic Writing for Graduate Students in Education
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン発展研究 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 学習支援論
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学基礎研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 知識構成論
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 教師の成長・キャリアデザイン 基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン 発展研究 学校心理学
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ ノンフォーマル教育論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 幼児教育・保育開発論Ⅰ 幼児教育・保育開発論Ⅱ 特別研究
専	准教授	HOWELL PETER KENNETH 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Applied Linguistics) (スコットランド) Academic Writing for Graduate Students in Education
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン発展研究 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 学習支援論
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学基礎研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 知識構成論 特別研究
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 教師の成長・キャリアデザイン 基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン 発展研究 学校心理学
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 a 子どもと学習材デザイン発展研究 a
専	准教授	竹林地 毅 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 知的障害指導法特論 特別支援教育ファシリテーション論
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害学演習 視覚障害心理学特論
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習 聴覚障害心理学特論
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) a 生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) a
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科) b STEMと学習材デザイン発展研究(理科) b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 a 子どもと学習材デザイン発展研究 a
専	准教授	竹林地 毅 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 知的障害指導法特論 特別支援教育ファシリテーション論
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害学演習 視覚障害心理学特論
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習 聴覚障害心理学特論
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) a 生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) a
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科) b STEMと学習材デザイン発展研究(理科) b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 生活・科学と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		数学教育学特別研究B 子どもと学習材デザイン基礎研 究c
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		教育科学と社会※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 生活・科学と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 教育科学と社会※ 自然システム教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 数学教育学特別研究B 子どもと学習材デザイン基礎研 究c
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業) B 教科課程デザイン基礎研究 b 教科課程デザイン発展研究 b
		川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術) 技術・情報教育学特別研究(情報) A 子どもと学習材デザイン基礎研究 b 子どもと学習材デザイン発展研究 b ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究
専	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究 A 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 英語教育学特別研究 A 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業) B 教科課程デザイン基礎研究 b 教科課程デザイン発展研究 b
		川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業) A 技術・情報教育学特別研究(情報) A 子どもと学習材デザイン基礎研究 b 子どもと学習材デザイン発展研究 b ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育科学のための研究法と倫理 ※ 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育科学と社会 ※ 英語教育学特別研究 A 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	櫻葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		英語教育学特別研究B 実習指導・授業研究デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b 人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究b
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究B 教師教育プラクティカム基礎研究 教師教育プラクティカム発展研究
専	准教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		人間生活教育学特別研究A 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭) 生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭) 創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間生活教育学特別研究A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	櫻葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 実習指導・授業研究デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b 人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究b
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 健康スポーツ教育学特別研究B 教師教育プラクティカム基礎研究 教師教育プラクティカム発展研究
専	教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭) 生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭) 創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間生活教育学特別研究A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		音楽教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽) 創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		音楽教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		造形芸術教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(美術) 創造性と学習材デザイン発展研究(美術)
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D(カナダ)
		造形芸術教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		西洋教育史特講Ⅰ 西洋教育史特講Ⅱ 西洋教育史演習Ⅰ 西洋教育史演習Ⅱ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		人間社会科学特別講義※ 教育学と社会※ 音楽教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽) 創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 音楽教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 教育学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(美術) 創造性と学習材デザイン発展研究(美術)
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D(カナダ)
		教育学のための研究法と倫理※ 造形芸術教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 西洋教育史特講Ⅰ 西洋教育史特講Ⅱ 西洋教育史演習Ⅰ 西洋教育史演習Ⅱ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育方法学特講Ⅰ 教育方法学特講Ⅱ 教育方法学演習Ⅰ 教育方法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		社会教育学特講Ⅰ 社会教育学特講Ⅱ 社会教育学演習Ⅰ 社会教育学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	滝沢 潤 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育行財政学特講Ⅰ 教育行財政学特講Ⅱ 教育行財政学演習Ⅰ 教育行財政学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		幼児教育学特講Ⅰ 幼児教育学演習Ⅰ 教育学フィールドワーク演習 特別研究
専	准教授	恒松 直美 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy (オーストラリア)
		異文化間理解の社会理論と実践 特講Ⅰ 異文化間理解の社会理論と実践 特講Ⅱ 特別研究
専	准教授	佐藤(望月) 万知 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy (Education) (英国)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学教育論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 教育方法学特講Ⅰ 教育方法学特講Ⅱ 教育方法学演習Ⅰ 教育方法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会 ※ 社会教育学特講Ⅰ 社会教育学特講Ⅱ 社会教育学演習Ⅰ 社会教育学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	滝沢 潤 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義 ※ 教育行財政学特講Ⅰ 教育行財政学特講Ⅱ 教育行財政学演習Ⅰ 教育行財政学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 幼児教育学特講Ⅰ 幼児教育学演習Ⅰ 教育学フィールドワーク演習 特別研究
専	准教授	恒松 直美 ＜令和2年4月＞ Doctor of Philosophy (オーストラリア)
		異文化間理解の社会理論と実践 特講Ⅰ 異文化間理解の社会理論と実践 特講Ⅱ 特別研究
専	准教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育評価論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育組織論・職員論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	准教授	中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 文化社会学特講 文化社会学演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育評価論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士
		教育学のための研究法と倫理※ Comparative Studies in Higher Education 高等教育組織論・職員論 Higher Education in Japan 特別研究
専	准教授	中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 文化社会学特講 文化社会学演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語教育評価法特講 日本語教育評価法演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		年少者日本語教育特講 年少者日本語教育演習 特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		途上国の比較教育学 教育開発フィールドワーク論 特別研究
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
専	准教授	丸山 隆央 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		日本の教育開発経験※ 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 国際教育協力実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語教育評価法特講 日本語教育評価法演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		教育科学と社会※ 年少者日本語教育特講 年少者日本語教育演習 特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		途上国の比較教育学 教育開発フィールドワーク論 特別研究
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
専	准教授	丸山 隆央 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		日本の教育開発経験※ 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 国際教育協力実践研究 特別研究
専	准教授	谷口 京子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		教育開発計画論Ⅰ 教育開発計画論Ⅱ 特別研究
専	准教授	杉田 浩崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育哲学特講Ⅰ 教育哲学特講Ⅱ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph. D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※ Religious culture in public education
専	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum and Instruction) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士 (人間環境学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 重複障害指導法特論 肢体不自由指導法特論 肢体不自由心理学特論 病弱教育特論 病弱生理・病理特論
専	講師	森 (大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士 (障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害指導法特論 視覚障害学演習
専	講師	北臺 如法 〈令和2年4月〉 博士 (理学)
		数学教育学特別研究A I C T空間デザイン基礎研究
専	講師	畑 浩人 〈令和2年4月〉 修士 (法学)
		社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究 (社会・公民) 科学・文化と学習材デザイン発展研究 (社会・公民)
専	講師	森田 英樹 〈令和2年4月〉 修士 (経済学)
		社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A 創造性と学習材デザイン基礎研究 (社会・公民) 創造性と学習材デザイン発展研究 (社会・公民)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph. D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※ 教育学と社会 ※ Religious culture in public education
専	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum and Instruction) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理 ※ Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士 (人間環境学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 重複障害指導法特論 肢体不自由指導法特論 肢体不自由心理学特論 病弱教育特論 病弱生理・病理特論
専	講師	森 (大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士 (障害科学)
		教育学と社会 ※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害指導法特論 視覚障害学演習
専	講師	北臺 如法 〈令和2年4月〉 博士 (理学)
		教育学と社会 ※ 数学教育学特別研究A I C T空間デザイン基礎研究
専	講師	畑 浩人 〈令和2年4月〉 修士 (法学)
		社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究 (社会・公民) 科学・文化と学習材デザイン発展研究 (社会・公民)
専	講師	森田 英樹 〈令和2年4月〉 修士 (経済学)
		社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A 創造性と学習材デザイン基礎研究 (社会・公民) 創造性と学習材デザイン発展研究 (社会・公民)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON 〈令和2年4月〉 Ph. D (Education) (韓国)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) Comparative Studies in Higher Education Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	助教	村上 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D(Economics)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON 〈令和2年4月〉 Ph. D (Education) (韓国)
		教育科学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) Comparative Studies in Higher Education Higher Education in Japan 特別研究
専	講師	桑山 尚司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※
専	助教	村上 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	志賀 賢治 〈令和2年4月〉 学士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	保田 浩志 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph. D(Economics)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト
		市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
		森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト
		市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
		森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学) データリテラシー※
		工藤 美樹 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学) 人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学) 情報セキュリティ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学) データリテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学) 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森 玲子 〈令和2年4月〉 M.A(Social Science) 人文社会系キャリアマネジメント
		西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学) 情報セキュリティ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	星野 一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(会計学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI ＜令和2年4月＞ Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI ＜令和2年4月＞ Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	手塚 貴大 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	浅利 宙 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	秋野 成人 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	田村 耕一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	友澤 和夫 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	野島 永 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	今田 良信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	加藤 厚海 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	盧 濤 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小栢(河原) 葉子 ＜令和2年4月＞ 国際学修士 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	秋野 成人 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	田村 耕一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	友澤 和夫 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	野島 永 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	今田 良信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有馬 卓也 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	角谷 快彦 〈令和2年4月〉 PhD (Economics) (オーストラリア)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	井内 太郎 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	奥村 晃史 〈令和2年4月〉 理学博士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	大地 真介 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	築達 延征 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮里 智恵 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	松本 仁志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学発展研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
兼任	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		高等教育経済論 Advanced Statistics Higher Education in Japan 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有馬 卓也 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	角谷 快彦 〈令和2年4月〉 PhD (Economics) (オーストラリア)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	井内 太郎 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	奥村 晃史 〈令和2年4月〉 理学博士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	大地 真介 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	築達 延征 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	岩永 誠 〈令和2年4月〉 学術博士
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	杉村 伸一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮里 智恵 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	松本 仁志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学発展研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
兼任	教授	渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		高等教育経済論 Advanced Statistics Higher Education in Japan 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		MOT入門
兼担	教授	小林 信一 〈令和2年4月〉 学術修士(社会工学)
		学術政策論
兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策)
		Hiroshimaから世界平和を考える ※ 人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		Hiroshimaから世界平和を考える ※
兼担	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		MOT入門
兼担	教授	小林 信一 〈令和2年4月〉 学術修士(社会工学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 学術政策論 Higher Education in Japan 特別研究
兼担	教授	難波 博孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ カリキュラム開発特別研究
兼担	教授	辰井 聡子 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
兼担	教授	CHOURAK MOHAMED 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策)
		Hiroshimaから世界平和を考える ※ 人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		Hiroshimaから世界平和を考える ※
兼担	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える ※
兼担	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	宮尾 淳一 〈令和2年4月〉 工学博士
		データリテラシー※
兼任	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University)
		アントレプレナーシップ概論
兼任	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph. D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	伊森 晋平 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University)
		アントレプレナーシップ概論
兼任	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph. D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	梅村 比丘 〈令和2年4月〉 Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	杉浦 義典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	上野 貴史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	赤井 清晃 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	船田 善之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph. D(経済学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	陳 俊甫 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	上泉(木庭) 康樹 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士(臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	梅村 比丘 〈令和2年4月〉 Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	杉浦 義典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	上野 貴史 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	川村 悠人 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	進矢 正宏 〈令和2年4月〉 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	吉中 信人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	赤井 清晃 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	船田 善之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	小野 貞幸 〈令和2年4月〉 Ph. D(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	陳 俊甫 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	上泉(木庭) 康樹 〈令和2年4月〉 博士(体育科学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	折登 由希子 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	清水 寿代 〈令和2年4月〉 博士(臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大嶋 広美 〈令和2年4月〉 博士(文学)(中国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 秀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	徐 恩之 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	有賀 敦紀 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学)(米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD(Social Sciences) (英国)
		異分野協働プロジェクト
兼任	准教授	川口 隆行 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		国語文化教育学特別研究 A 表象・文化と学習材デザイン基 礎研究(国語) 表象・文化と学習材デザイン発 展研究(国語)
兼任	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学費政策論
兼任	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大嶋 広美 〈令和2年4月〉 博士(文学)(中国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 秀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	徐 恩之 〈令和2年4月〉 博士(商学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	有賀 敦紀 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学)(米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	井上 嘉仁 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD(Social Sciences) (英国)
		Hiroshimaから世界平和を考 える※
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	川口 隆行 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		国語文化教育学特別研究 A 表象・文化と学習材デザイン基 礎研究(国語) 表象・文化と学習材デザイン発 展研究(国語)
兼任	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学費政策論
兼任	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※
兼任	講師	三木 大樹 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	講師	山崎 茜 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼任	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼任	助教	中川 雅央 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	古川 昌文 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	吉田 有紀 〈令和2年4月〉 博士(サステナビリティ学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	奥村 真理子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	藤田 衛 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	神原 利宗 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	松本 舞 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	講師	中空(那須) 萌 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	講師	山崎 茜 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼任	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼任	助教	服部 稔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		ストレスマネジメント
兼任	助教	古川 昌文 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	吉田 有紀 〈令和2年4月〉 博士(サステナビリティ学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	奥村 真理子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	藤田 衛 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	神原 利宗 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	松本 舞 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学) ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和2年4月〉 博士(学術) 未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和2年4月〉 博士(工学) 国際標準化論
兼任	教授	延岡 健太郎 〈令和3年4月〉 博士(経営学) 理工系のための経営組織論
兼任	教授	藤本 隆宏 〈令和3年4月〉 D. B. A (米国) 理工系のための経営組織論
兼任	教授	小方 直幸 〈令和2年4月〉 博士(学術) 学生論
兼任	教授	池田 秀雄 〈令和2年4月〉 理学博士 理科教育開発論 科学教育開発基礎論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	古田 拓也 〈令和2年4月〉 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	井上 祐樹 〈令和2年4月〉 博士(技術経営) 人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学) 医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学) ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和3年4月〉 博士(学術) 未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和3年4月〉 博士(工学) ルール形成のための国際標準化
兼任	教授	延岡 健太郎 〈令和3年4月〉 博士(経営学) 理工系のための経営組織論
兼任	教授	藤本 隆宏 〈令和3年4月〉 D. B. A (米国) 理工系のための経営組織論
兼任	教授	小方 直幸 〈令和2年4月〉 博士(学術) 学生論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ERICSON YUKIKO BRIDGEI 〈令和2年4月〉 M. A. (Counseling Psychology) (米国) 学校臨床心理学
兼任	講師	三角 幸子 〈令和2年4月〉 修士(経営学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	川本 亮之 〈令和2年4月〉 学士(社会学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	講師	八木 恵里子 〈令和2年4月〉 国際開発学修士(米国) 教育協力実践基礎論I※
兼任	講師	南村 亜矢子 〈令和2年4月〉 国際行政学修士 教育協力実践基礎論I※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ERICSON YUKIKO BRIDGEI 〈令和2年4月〉 M. A. (Counseling Psychology) (米国) 学校臨床心理学
兼任	教授	楠田 哲也 〈令和2年4月〉 工学博士 環境原論A 環境原論B
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年4月〉 博士(経済学) データビジュアライゼーション A データビジュアライゼーション B
兼任	准教授	又吉 里美 〈令和2年6月〉 博士(学術) 言語・コミュニケーション表現と 学習材デザイン基礎研究(国語)
兼任	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学) 言語・コミュニケーション表現と 学習材デザイン発展研究(国語)
兼任	准教授	佐藤(望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education) 大学教育論
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	原山 優子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	講師	八木 恵里子 〈令和2年4月〉 国際開発学修士(米国) 教育協力実践基礎論I※

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(専任教員関係)

- ・専任教員として就任(佐藤暢治教授、谷口京子准教授、杉田浩崇准教授、桑山尚司講師)
- ・就任辞退のため担当から削除(小西いずみ准教授、佐藤(望月)万知准教授)
- ・松原主典准教授が教授に昇任
- ・渡部倫子准教授が教授に昇任

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(志賀賢治教授、保田浩志教授、吉村健一教授、森玲子教授、手塚貴大教授、浅利宙教授、蘆濤教授、小柏(河原)葉子教授、難波博孝教授、辰井聡子教授、CHOURAK MOHAMED教授、友次晋介准教授、伊森晋平准教授、吉中信人准教授、井上嘉仁准教授、三木大樹講師、服部稔助教、古田拓也助教、井上祐樹助教)
- ・担当から削除(工藤美樹教授、有廣光司教授、粟井和夫教授、三須敬幸教授、星野一郎教授、加藤厚海教授、宮尾淳一准教授、森野豊之准教授、中川雅央助教)
- ・川口隆行准教授が教授に昇任

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(阿部伸一教授、楠田哲也教授、川田恵介准教授、又吉里美准教授、小西いずみ准教授、佐藤万知准教授、原山優子講師)
- ・担当から削除(田中剛教授、池田秀雄教授、三角幸子講師、川本亮之講師、南村亜矢子講師)

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
17	—	—
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
64	56	8	1	129	0	67	54	9	1	131	0
(67)	(54)	(9)	(1)	(131)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
122	3	4				124	2	5			
(124)	(2)	(5)				(124)	(2)	(5)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
67	54	9	1	131	0	67	54	9	1	131	0
[3]	[△2]	[1]	[0]	[2]	[0]	[3]	[△2]	[1]	[0]	[2]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
124	2	5				124	2	5			
(2)	(△1)	(1)				(2)	(△1)	(1)			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{131}{129} = \boxed{101.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{131} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	小西 いずみ	R2.3	選択	国語文化教育学特別研究A	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究（国語）	②				
				選択	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究（国語）	②				
2	准教授	佐藤（望月） 万知	R2.3	選択	高等教育基礎論Ⅰ（理論・手法）	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	高等教育基礎論Ⅱ（制度・政策）	①				
				選択	大学教育論	②				
				選択	Higher Education in Japan	①				
				選択	高等教育基礎演習Ⅰ（実践研究）	①				
				選択	特別研究	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	6	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	6	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	6	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	6	科目	計	3	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{129} = \boxed{1.55} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目のうち、複数人体制のものは他の専任教員が授業を実施し、就任辞退者のみが担当していた授業科目については、兼任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。
 学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。
 就任辞退者のうち1名は公募中、もう1名は今後、人事委員会に対し人員措置申請を行う予定である。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻（博士課程後期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	松見 法男 <令和2年4月> 博士(心理学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h. D. (米国)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	松本 仁志 <令和2年4月> 博士(教育学)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		小川 佳万 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	松見 法男 <令和2年4月> 博士(心理学)
		プロジェクト研究 特別研究
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h. D. (米国)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	松本 仁志 <令和2年4月> 博士(教育学)
		人間社会科学講究 特別研究
専	教授	山田 浩之 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		小川 佳万 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)
		教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
		七木田 敦 <令和2年4月> 博士(教育学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 P h . D (学術博士) (米国)
		大学教員養成講座 教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 教職教育ポートフォリオ 特別研究
専	教授	鈴木 理恵 〈令和2年4月〉 博士 (文学)
		大学授業構成論講究 教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 〈令和2年4月〉 博士 (教育学)
		教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 特別研究
専	教授	伊藤 圭子 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士 特別研究
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	一鍬田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士 特別研究
専	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	黄 福涛 〈令和2年4月〉 教育学博士 特別研究
専	教授	冲原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士 特別研究
専	教授	下村 哲 〈令和2年4月〉 博士 (学術) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 P h . D (学術博士) (米国)
		大学教員養成講座 教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 教職教育ポートフォリオ 特別研究
専	教授	鈴木 理恵 〈令和2年4月〉 博士 (文学)
		大学授業構成論講究 教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 〈令和2年4月〉 博士 (教育学)
		教職授業プラクティカム I 教職授業プラクティカム II 教職授業プラクティカム III 特別研究
専	教授	伊藤 圭子 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士 特別研究
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	一鍬田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士 特別研究
専	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	教授	黄 福涛 〈令和2年4月〉 教育学博士 特別研究
専	教授	冲原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士 特別研究
専	教授	下村 哲 〈令和2年4月〉 博士 (学術) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	吉田 和浩 〈令和2年4月〉 MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		特別研究
専	教授	宮里 智恵 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		特別研究
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum (Czechoslovakia)
		特別研究
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別研究
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		特別研究
専	教授	佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	山崎 敬人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	吉田 和浩 〈令和2年4月〉 MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		特別研究
専	教授	宮里 智恵 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		特別研究
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum (Czechoslovakia)
		特別研究
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別研究
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		特別研究
専	教授	佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	山崎 敬人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学)
		特別研究
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士
		特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学)
		特別研究
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	大膳 司 〈令和2年4月〉 教育学修士
		特別研究
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	池畠 良 〈令和2年4月〉 理学博士
		特別研究
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		特別研究
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 P h . D (米国)
		特別研究
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	大膳 司 〈令和2年4月〉 教育学修士
		特別研究
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	池畠 良 〈令和2年4月〉 理学博士
		特別研究
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		特別研究
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 P h . D (米国)
		特別研究
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士
		特別研究
専	教授	權藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	佐藤(望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education) (イギリス)
		大学教員養成講座 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士
		特別研究
専	教授	權藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	佐藤 暢治 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学共同研究講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学フィールドワーク講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		大学授業構成論講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	吉田 成章 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 教職教育ポートフォリオ 特別研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	岩坂 泰子 〈令和2年4月〉 Master(Arts in
		特別研究
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	恒松 直美 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (オーストラリア)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		大学授業構成論講究 教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 特別研究
専	准教授	吉田 成章 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教職授業プラクティカムⅠ 教職授業プラクティカムⅡ 教職授業プラクティカムⅢ 教職教育ポートフォリオ 特別研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	岩坂 泰子 〈令和2年4月〉 Master(Arts in
		特別研究
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	恒松 直美 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (オーストラリア)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		特別研究
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	寺内 大輔 〈令和2年4月〉 博士(芸術工学)
		特別研究
専	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		特別研究
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		特別研究
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		特別研究
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	寺内 大輔 〈令和2年4月〉 博士(芸術工学)
		特別研究
専	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		特別研究
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		特別研究
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別研究
専	准教授	大後戸 一樹 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士
		特別研究
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	池田 吏志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		特別研究
専	准教授	川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別研究
専	准教授	大後戸 一樹 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士
		特別研究
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	池田 吏志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		特別研究
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D
		特別研究
専	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		特別研究
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別研究
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		特別研究
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D
		特別研究
専	准教授	牧 貴愛 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		特別研究
専	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別研究
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		特別研究
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別研究
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (米国)
		特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON 〈令和2年4月〉 Ph. D (Education) (韓国) 大学教員養成講座
専	講師	高橋 均 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	講師	森 (大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士 (障害科学) 特別研究
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士 (人間環境学) 特別研究
兼任	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士 (水産学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士 (理学) データサイエンス
兼任	教授	栗田 多喜夫 〈令和2年4月〉 博士 (工学) パターン認識と機械学習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	准教授	杉田 浩崇 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 教育学共同研究講究 特別研究
専	講師	KIM YANGSON 〈令和2年4月〉 Ph. D (Education) (韓国) 大学教員養成講座
専	講師	高橋 均 〈令和2年4月〉 博士 (教育学) 特別研究
専	講師	森 (大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士 (障害科学) 特別研究
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士 (人間環境学) 特別研究
兼任	教授	小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士 (水産学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士 (理学) データサイエンス
兼任	教授	伊森 晋平 〈令和2年4月〉 博士 (理学) パターン認識と機械学習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント イノベーション演習 長期インターンシップ
兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 Ph.D.
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		プロジェクト研究
兼任	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		プロジェクト研究
兼任	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		プロジェクト研究
兼任	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼任	教授	山田 宏 〈令和2年4月〉 博士(社会経済)
		プロジェクト研究
兼任	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士
		プロジェクト研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント イノベーション演習 長期インターンシップ
兼任	教授	田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		プロジェクト研究
兼任	教授	辻 学 〈令和2年4月〉 神学博士
		プロジェクト研究
兼任	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		プロジェクト研究
兼任	教授	久保田 啓一 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼任	教授	山田 宏 〈令和2年4月〉 博士(社会経済)
		プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼任	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士
		プロジェクト研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士 プロジェクト研究 人間社会科学講究
		森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学) プロジェクト研究
兼任	教授	吉田 雄一朗 〈令和2年4月〉 Ph. D(Economics) (米国) 人間社会科学講究
		長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学講究
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士 人間社会科学講究
		加藤 厚海 〈令和2年4月〉 博士(経営学) 人間社会科学講究
兼任	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学) 人間社会科学講究
		湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 人間社会科学講究
兼任	教授	難波 博孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 特別研究
		渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国) 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	秋野 成人 〈令和2年4月〉 法学修士 プロジェクト研究 人間社会科学講究
		森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学) プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼任	教授	吉田 雄一朗 〈令和2年4月〉 Ph. D(Economics) (米国) 人間社会科学講究
		長田 浩彰 〈令和2年4月〉 博士(文学) 人間社会科学講究
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士 人間社会科学講究
兼任	教授	山口 力 〈令和2年4月〉 博士(経済学) プロジェクト研究 人間社会科学講究
		湯澤 正通 〈令和2年4月〉 博士(心理学) プロジェクト研究 人間社会科学講究
兼任	教授	難波 博孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 特別研究
		渡邊 聡 〈令和2年4月〉 DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国) 特別研究
兼任	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学講究
		辰井 聡子 〈令和2年4月〉 博士(法学) 特別研究
兼任	教授	吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学) 医療情報リテラシー活用※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	細野 賢治 〈令和2年4月〉 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー
兼任	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術) 普遍的平和を目指して※
兼任	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) 普遍的平和を目指して※
兼任	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University) 事業創造概論
兼任	准教授	相馬 敏彦 〈令和2年4月〉 博士(学術) プロジェクト研究
兼任	准教授	西堀 正英 〈令和2年4月〉 博士(農学) 大学教員養成講座
兼任	准教授	隅谷 孝洋 〈令和2年4月〉 博士(学術) 大学教員養成講座
兼任	准教授	川口 隆行 〈令和2年4月〉 博士(学術) 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学) 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	保田 浩志 〈令和2年4月〉 博士(工学) 普遍的平和を目指して※
兼任	准教授	細野 賢治 〈令和2年4月〉 博士(農学) SDGsの観点から見た地域開発セミナー
兼任	准教授	掛江 朋子 〈令和2年4月〉 博士(学術) 普遍的平和を目指して※
兼任	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) 普遍的平和を目指して※
兼任	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 Ph. D (Management) (Claremont Graduate University) イノベーション演習 事業創造概論
兼任	准教授	相馬 敏彦 〈令和2年4月〉 博士(学術) プロジェクト研究
兼任	教授	西堀 正英 〈令和2年4月〉 博士(農学) 大学教員養成講座
兼任	准教授	隅谷 孝洋 〈令和2年4月〉 博士(学術) 大学教員養成講座
兼任	教授	川口 隆行 〈令和2年4月〉 博士(学術) 特別研究
兼任	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) 普遍的平和を目指して※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	伊藤 岳 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学講究
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	岩本 洋子 〈令和2年4月〉 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 博士(教育学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	准教授	若林 香織 〈令和2年4月〉 博士(理学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学) 普遍的平和を目指して※
兼担	講師	三木 大樹 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼担	講師	岡 広子 〈令和2年4月〉 博士(歯学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	助教	伊藤 岳 〈令和2年4月〉 博士(学術) 人間社会科学講究
兼担	助教	小原 静夏 〈令和2年4月〉 博士(農学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	助教	永井 敦 〈令和2年4月〉 修士(教育学) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼担	助教	赤瀬 大 〈令和2年4月〉 博士(理学) データサイエンティスト養成 イノベーション演習
兼担	助教	服部 稔 〈令和2年4月〉 博士(学術) スペシャリスト型SDGsアイディア マイニング学生セミナー
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー活用※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学)
		医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	原山 優子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)(経済学)
		リーダーシップ手法
兼任	准教授	星野 由美 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		イノベーション演習
兼任	講師	塩崎 潤一 〈令和2年4月〉 学士(社会科学)
		データサイエンティスト養成
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国)
		普遍的平和を目指して※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>(専任教員関係)</p> <ul style="list-style-type: none">・専任教員として就任(佐藤暢治教授, 真野祐輔准教授, 杉田浩崇准教授)・松原主典准教授が教授に昇任・渡部倫子准教授が教授に昇任・就任辞退のため担当から削除(佐藤(望月)万知准教授, 小西いずみ准教授) <p>(兼任教員関係)</p> <ul style="list-style-type: none">・兼任教員として就任(伊森晋平教授, 蘆濤教授, 辰井聡子教授, 吉村健一教授, 川野徳幸教授, 保田浩志教授, VAN DER DOES LULI准教授, 岩本洋子准教授, 吉田(滝沢)香奈准教授, 若林香織准教授, 友次晋介准教授, 三木大樹講師, 岡広子講師, 小原静夏助教, 永井敦助教, 赤瀬大助教, 服部稔助教)・西堀正英准教授, ・川口隆行准教授が教授に昇任・担当から削除(粟田多喜夫教授, 有廣光司教授, 粟井和夫教授, 工藤美樹教授, 加藤厚海教授, 森野豊之准教授) <p>(兼任教員関係)</p> <ul style="list-style-type: none">・兼任教員として就任(阿部伸一教授, 原山優子教授, 星野由美准教授, 塩崎潤一講師, 隈元美穂子講師)・担当から削除(田中剛教授)
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
13	—	—
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
66	56	4	0	126	0	69	54	4	0	127	0
(69)	(54)	(4)	(0)	(127)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
102	23	1				116	10	1			
(116)	(10)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
69	54	4	0	127	0	69	54	4	0	127	0
[3]	[△2]	[0]	[0]	[1]	[0]	[3]	[△2]	[0]	[0]	[1]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
116	10	1				116	10	1			
[14]	[△13]	[0]				[14]	[△13]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{127}{126} = \boxed{100.79} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	佐藤（望月） 万知	R2.3	自由	大学教員養成講座	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）						
				必修	特別研究	①							
2	准教授	小西 いずみ	R2.3	必修	特別研究	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）						
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{126} = 1.58 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>就任辞退者が担当していた授業科目については、複数人体制としており、他の専任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。</p> <p>学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。</p> <p>就任辞退者のうち1名は公募中、もう1名は今後、人事委員会に対し人員措置申請を行う予定である。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>大学院共通科目が本研究科の目的を達成するように、教育内容の充実や質の向上に努めること。なお、各学問分野の専門性の質とともに、学際的にすることによる教育効果並びに専門教育と学際的教育を実施することによる相乗効果について担保すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>本研究科の2つのミッション、すなわち「人間と社会のための諸科学の追求」と「教育による持続可能で平和な世界の構築を目指す」に沿った人材育成の観点から、個々の学生にとって必要な大学院共通科目の履修を指導している。授業では、「異分野の学生が同じ場で学ぶ機会」を提供している。</p> <p>専門教育と学際的教育の質保証並びに双方による相乗効果については、各授業科目を充実させるとともに、修士論文（課題研究を含む）・博士論文の指導（グループ編成）を専門分野と異分野の教員の協働で行うことにより向上させる。</p>	<p>履行中</p>	<p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に立ち上げる。大学院共通科目についても、必要に応じて検討し、その充実に向けた要望等を、全学の関連部署に提出する。</p>
	<p>教育課程の体系性が4月入学を基本としており、10月入学の学生についても、本専攻が目指す人材像が養成できる教育課程が編成されることが、学生に対しても理解できるように周知すること。</p>	<p>助言事項</p>	<p>10月入学を実施する学位プログラムでは、Webシステムを活用した各学生便覧において、教育課程の編成が、すなわち履修基準の設定や学位取得（修士論文・課題研究・博士論文作成）のスケジュール等が10月入学学生にも適用されうることを示し、その情報を入学直後のガイダンスでも適確に説明する。</p>	<p>履行中</p>	<p>学位プログラム毎に実施する入学試験の募集要項において、10月入学の学生についても、4月入学の学生と同様に、本専攻が目指す人材像が養成できるように教育課程が編成されることを、情報として掲載する計画である。</p>
	<p>教員の年間最大担当単位数の上限を設定するなど、単位数とともに、実習指導の時間も含めて、教員負担が過度にならないように努めること。</p>	<p>助言事項</p>	<p>共通科目の分担化（同分野の教員追加）を行った。また全教員の専門分野一覧表を作成して閲覧できるようにし、修士論文（課題研究を含める）・博士論文の指導グループ編成時に、特定の教員に副指導の負担が過度にかからないように努めた。</p>	<p>履行中</p>	<p>各教員の授業担当単位数（実習を含める）及び研究指導学生数（主指導・副指導数）を調べ、教員負担が過度にならないように努める。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間社会科学部 教育科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日までは、対面による授業は中止し、オンラインで授業を実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 自己点検・評価委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和2年4月に第1回を開催予定（以後、月1回程度で開催予定）であったが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期した。

c 委員会の審議事項等

次に掲げる事項について点検・評価を行う。

- (1) 教育活動に関すること。
- (2) 研究活動に関すること。
- (3) 社会貢献に関すること。
- (4) 管理運営に関すること。
- (5) 中期目標、中期計画及び年度計画に関すること。
- (6) 外部評価に関すること。
- (7) 教員の個人評価に関すること。
- (8) 研究科の情報集積と分析（研究科FDを含む。）
- (9) その他点検・評価に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FD研修会
- ・ 研究科FD
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 全学で実施するFDへの参加
- ・ 研究科独自で実施するFDへの参加
- ・ 全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和2年4月に新任教員のための研修会が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期された。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 今年度開設のため次年度以降記載予定

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 現在検討中

b 公表方法

- ・ 現在検討中

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 現在検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有]
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-0046

広島県東広島市鏡山一丁目1番1号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(コバヤシ シンイチ) 小林 信一 (令和2年4月)		
専攻長	(マツウラ タケト) 松浦 武人 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間社会科学研究科 教職開発専攻 (専門職学位課程) 教職修士(専門職)	教員養成関係	年 2	人 30	年次人 -	人 60	教育学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 30 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	0.80倍	- 倍		
志願者数	26 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []				
受験者数	26 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []				
合格者数	25 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []				
B 入学者数	24 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	0.80							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和 年度								備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期							
1 年次	24 [-] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()							
2 年次	/		[] ()	[] ()							
3 年次	/		/								
4 年次	/		/		/						
計	24 [-] (-)		[] ()								

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	24 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数 (a)}}{\text{令和 年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間社会科学部 教職開発専攻（専門職学位課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2① ②④	1									兼5	
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2②	1									兼7	
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2④	1									兼6	
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2①	1									兼8	
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2③	1									兼7	
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2②	2			1	2						
	ダイバーシティの理解	1・2②	1									兼4	
	キャリア開発・ラーニング	1・2① ②	1									兼2	
	医療情報リテラシー 人文社会系キャリアマネジメント	1・2③ ③	1 2									兼9 兼1	
	理工系キャリアマネジメント ストレスマネジメント 情報セキュリティ MOT入門 アントレプレナーシップ概論	1・2② ④ ① ③ ① ①	2 2 2 1 1 1									兼1 兼1 兼3 兼1 兼1	
小計 (15科目)	-	0	20	0	1	2	0	0	0	0	0	兼50	
研究科共通	人間社会科学特別講義 平和教育の構築への実践的アプローチ	1① 1②	2			1			1			兼48	
	小計 (2科目)	-	0	4	0	2	0	1	0	0	0	兼48	
	教育課程開発の実践と評価	1①	2			2						兼48	
小計 (1科目)	-	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	兼48	
実務経験・教職等の実践的な指導方法	論理的思考教育の開発実践 マイクロティーチングの実践 授業研究の開発実践 (ICTを含む) 通教科的な能力育成の授業開発と実践 道徳・人間関係教育領域の開発実践	1① 1④ 1④ 2③ 1④	2 2 2 2 2			1 1 2 3 2	1 2 2 4 2					兼1 兼1 兼1	
	小計 (5科目)	-	0	10	0	5	9	0	0	0	0	兼2	
	生涯指導・教育相談	幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践 (特別支援教育を含む) 教育相談・カウンセリングの理論と実践	1① 1④	2 2			1	1		1			兼1 兼2
		小計 (2科目)	-	0	4	0	0	1	2	0	0	0	兼3
		常学校経営・学級経営	学級経営の理論と実践 学校経営の理論と実践 (地域とともにある学校を含む)	2① 2①	2 2			1	1				
	小計 (2科目)		-	0	4	0	1	2	0	0	0	0	兼1
専任教員の教育と	現代教師教育の理論と実践 現代の教育改革		2④ 1①	2 2			1	2					兼1
	小計 (2科目)	-	0	4	0	1	3	0	0	0	0	兼1	
	学校マネジメントコース選択科目	地域教育経営の理論と実践 教育行政の理論と実践 学校の危機管理 教職員の人材育成 学校の経営戦略と評価 カリキュラム・マネジメントの理論と実践 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査	1① 1① 1① 1② 1② 1③ 1通 1通	2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1	1 1 1 1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
小計 (8科目)		-	0	16	0	0	2	0	0	0	0	兼5	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2② ③④	1									兼9	
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2②	1									兼6	
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2④	1									兼6	
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2① ②	1									兼8	
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2③ ④	1									兼7	
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2後	2			1	2						
	ダイバーシティの理解	1・2前	1									兼4	
	キャリア開発・ラーニング	1・2① ②	1									兼2	
	医療情報リテラシー 人文社会系キャリアマネジメント	1・2③ ③	1 2									兼7 兼1	
	理工系キャリアマネジメント ストレスマネジメント 情報セキュリティ MOT入門 アントレプレナーシップ概論	1・2前 ④ ① ② ① ①	2 2 2 1 1									兼1 兼1 兼3 兼1 兼1	
小計 (15科目)	-	0	20	0	1	2	0	0	0	0	0	兼57	
研究科共通	人間社会科学特別講義 平和教育の構築への実践的アプローチ	1① 1②	2			1			1			兼59	
	小計 (2科目)	-	0	4	0	2	0	1	0	0	0	兼59	
	教育課程開発の実践と評価	1①	2			2						兼59	
小計 (1科目)	-	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	兼59	
実務経験・教職等の実践的な指導方法	論理的思考教育の開発実践 マイクロティーチングの実践 授業研究の開発実践 (ICTを含む) 通教科的な能力育成の授業開発と実践 道徳・人間関係教育領域の開発実践	1① 1④ 1④ 2④ 1④	2 2 2 2 2			1 1 2 3 2	1 2 2 4 2					兼1 兼1 兼1	
	小計 (5科目)	-	0	10	0	5	8	0	0	0	0	兼2	
	生涯指導・教育相談	幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践 (特別支援教育を含む) 教育相談・カウンセリングの理論と実践	1① 1④	2 2			1	1		1			兼1 兼2
		小計 (2科目)	-	0	4	0	0	1	2	0	0	0	兼3
		常学校経営・学級経営	学級経営の理論と実践 学校経営の理論と実践 (地域とともにある学校を含む)	2① 2①	2 2			1	1				
	小計 (2科目)		-	0	4	0	1	2	0	0	0	0	兼1
専任教員の教育と	現代教師教育の理論と実践 現代の教育改革		2④ 1①	2 2			1	2		1			兼1
	小計 (2科目)	-	0	4	0	1	3	0	0	0	0	兼1	
	学校マネジメントコース選択科目	地域教育経営の理論と実践 教育行政の理論と実践 学校の危機管理 教職員の人材育成 学校の経営戦略と評価 カリキュラム・マネジメントの理論と実践 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査	1② 1② 1① 1③ 1③ 1② 1通 1後	2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1	1 1 1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
小計 (8科目)		-	0	16	0	0	2	0	0	0	0	兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム専門科目	発達支援と幼児児童生徒理解	1②		2			1	1				
	教育実践研究の技法 (校内研修を含む)	1①		2			2					
	学校における教育相談	1③		2				1			兼2	
	異校種連携接続の実践開発	1③		2		1	1					
	教科横断的授業デザインと授業分析	1②		2			2					兼1
	教員のキャリア形成支援の理論と実践	1②		2								兼1
	ユニバーサルマインドの授業開発	1②		2		3	2					
	グローバルマインドの授業開発	1③		2			2					兼1
	先進的授業研究の理論と実践	1通		2		1	2					兼7
	授業開発と評価(基礎)	1前		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(応用)	1後		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(発展)	2前		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(開発)	2後		2		6	6					兼5
海外教育実地研究	1通		2		1	2						
学校インターンシップ	1通		1			3	1				兼3	
小計(15科目)	—	0	29	0	6	8	2	0	0		兼18	
専攻必修科目	アクションリサーチ・セミナーⅠ	1前		1		5	8	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅡ	1後		1		5	8	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅢ	2前		1		5	8	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅣ	2後		1		5	8	2				兼2
	小計(4科目)	—	4	0	0	5	8	2	0	0		兼2
学校マネジメントコース	アクションリサーチ実地研究Ⅰ(教育行政職実務)	1前		2			2					兼2
	アクションリサーチ実地研究Ⅱ(学校管理職実務)	1後		2			2					兼2
	アクションリサーチ実地研究Ⅲ(所属校実践)	2前		3			2					兼2
	アクションリサーチ実地研究Ⅳ(所属校実践)	2後		3			2					兼2
	小計(4科目)	—	0	10	0	0	2	0	0	0		兼2
教育実践開発コース	アクションリサーチ実地研究Ⅰ	1前		2		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅱ	1後		3		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅲ	2前		2		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅳ	2後		3		6	6	2				兼1
	小計(4科目)	—	0	10	0	6	6	2	0	0		兼1
小計(8科目)	—	0	20	0	6	8	2	0	0		兼3	
小計(47科目)	—	6	87	0	6	10	2	0	0		兼25	
合計(64科目)	—	6	111	0	6	10	2	0	0		兼120	

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を49単位以上とし、以下のとおり、単位を修得すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	1単位以上	持続可能な発展科目
	1単位以上	キャリア開発・データリテラシー科目
研究科共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	2単位以上	教育課程の編成・実施 教科等の実践的な指導方法
	2単位以上	これらの区分を総合して20単位以上 学校マネジメントコースは、これまでの教職経験及び研修等の実績を審査したうえで、20単位のうち6単位まで、以下に示す領域の単位に替えて、コース選択科目の必要な単位数を超えて修得した単位を充てることができる。 「生徒指導・教育相談」2単位まで。
	2単位以上	生徒指導・教育相談
	2単位以上	学校経営・学級経営
	2単位以上	学校教育と教員のあり方
4単位	専攻必修科目	
11単位以上	コース選択科目	＜学校マネジメントコース＞ 学校マネジメントコース選択科目から11単位以上修得すること。ただし、教育実践開発コース選択科目から4単位まで含めることができる。 ＜教育実践開発コース＞ 教育実践開発コース選択科目から11単位以上修得すること。ただし、学校マネジメントコース選択科目から4単位まで含めることができる。
10単位	学校における実習科目	＜学校マネジメントコース＞ 学校マネジメントコース：10単位 ＜教育実践開発コース＞ 教育実践開発コース：10単位
合計	49単位以上	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム専門科目	発達支援と幼児児童生徒理解	1②		2			1	1				
	教育実践研究の技法 (校内研修を含む)	1②		2			2					
	学校における教育相談	1③		2				1				兼2
	異校種連携接続の実践開発	1③		2		1	1					
	教科横断的授業デザインと授業分析	1②		2			2					兼1
	教員のキャリア形成支援の理論と実践	1②		2								兼1
	ユニバーサルマインドの授業開発	1②		2		3	2					
	グローバルマインドの授業開発	1③		2			2					兼1
	先進的授業研究の理論と実践	1通		2		1	2					兼7
	授業開発と評価(基礎)	1前		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(応用)	1後		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(発展)	2前		2		6	6					兼5
	授業開発と評価(開発)	2後		2		6	6					兼5
海外教育実地研究	1通		2		1	2						
学校インターンシップ	1通		1			3	1				兼3	
小計(15科目)	—	0	29	0	6	8	2	0	0		兼16	
専攻必修科目	アクションリサーチ・セミナーⅠ	1前		1		6	9	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅡ	1後		1		6	9	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅢ	2前		1		6	9	2				兼2
	アクションリサーチ・セミナーⅣ	2後		1		6	9	2				兼2
	小計(4科目)	—	4	0	0	6	9	2	0	0		兼2
学校マネジメントコース	アクションリサーチ実地研究Ⅰ(教育行政職実務)	1前		2			2					兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅱ(学校管理職実務)	1後		2			2					兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅲ(所属校実践)	2前		3			2					兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅳ(所属校実践)	2後		3			2					兼1
	小計(4科目)	—	10	0	0	0	2	0	0	0		兼1
教育実践開発コース	アクションリサーチ実地研究Ⅰ	1前		2		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅱ	1後		3		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅲ	2前		2		6	6	2				兼1
	アクションリサーチ実地研究Ⅳ	2後		3		6	6	2				兼1
	小計(4科目)	—	10	0	0	6	6	2	0	0		兼1
小計(8科目)	—	20	0	0	6	8	2	0	0		兼3	
小計(47科目)	—	26	67	0	6	10	2	0	0		兼25	
合計(64科目)	—	26	91	0	6	10	2	0	0		兼131	

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を49単位以上とし、以下のとおり、単位を修得すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	1単位以上	持続可能な発展科目
	1単位以上	キャリア開発・データリテラシー科目
研究科共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	2単位以上	教育課程の編成・実施 教科等の実践的な指導方法
	2単位以上	これらの区分を総合して20単位以上 学校マネジメントコースは、これまでの教職経験及び研修等の実績を審査したうえで、20単位のうち6単位まで、以下に示す領域の単位に替えて、コース選択科目の必要な単位数を超えて修得した単位を充てることができる。 「生徒指導・教育相談」2単位まで。
	2単位以上	生徒指導・教育相談
	2単位以上	学校経営・学級経営
	2単位以上	学校教育と教員のあり方
4単位	専攻必修科目	
11単位以上	コース選択科目	＜学校マネジメントコース＞ 学校マネジメントコース選択科目から11単位以上修得すること。ただし、教育実践開発コース選択科目から4単位まで含めることができる。 ＜教育実践開発コース＞ 教育実践開発コース選択科目から11単位以上修得すること。ただし、学校マネジメントコース選択科目から4単位まで含めることができる。
10単位	学校における実習科目	＜学校マネジメントコース＞ 学校マネジメントコース：10単位 ＜教育実践開発コース＞ 教育実践開発コース：10単位
合計	49単位以上	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任9」に変更。 ・教員の退職により、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「1・2①」から「1・2①②」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「1・2③」から「1・2③④」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため及び教員の見直しにより、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。 ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。 ・授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①②」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「アントレプレナーシップ概論」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の充実のため、「人間社会科学特別講義」の専任教員等の配置を「兼任・兼任48」から「兼任・兼任59」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「通教科的な能力育成の授業開発と実践」の配当年次を「2③」から「2④」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「地域教育経営の理論と実践」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「教職員の人材育成」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「カリキュラム・マネジメントの理論と実践」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「学校経営・行政フィールド調査」の配当年次を「1通」から「1後」に変更。 ・学生の履修機会の確保のため、「教育実践研究の技法（校内研修を含む）」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。 ・授業科目の充実のため、「アクションリサーチ・セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授8」から「准教授9」に変更。 ・授業科目の充実のため、「アクションリサーチ・セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授8」から「准教授9」に変更。 ・授業科目の充実のため、「アクションリサーチ・セミナーⅢ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授8」から「准教授9」に変更。 ・授業科目の充実のため、「アクションリサーチ・セミナーⅣ」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」、「准教授8」から「准教授9」に変更。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の見直しにより、アクションリサーチ実地研究Ⅰ（教育行政職実務）の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 ・教員の見直しにより、アクションリサーチ実地研究Ⅱ（学校管理職実務）の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 ・教員の見直しにより、アクションリサーチ実地研究Ⅲ（所属校実践）の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 ・教員の見直しにより、アクションリサーチ実地研究Ⅳ（所属校実践）の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅰ（教育行政職実務）」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅱ（学校管理職実務）」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅲ（所属校実践）」の単位数を「選択3」から「必修3」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅳ（所属校実践）」の単位数を「選択3」から「必修3」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅰ」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅱ」の単位数を「選択3」から「必修3」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅲ」の単位数を「選択2」から「必修2」に変更。 ・誤記載のため、「アクションリサーチ実地研究Ⅳ」の単位数を「選択3」から「必修3」に変更。

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	59 科目	0 科目	64 科目	13 科目	51 科目	0 科目	64 科目	
				[8]	[Δ8]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{64} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡				
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡				
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡				
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡				
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	514,567㎡ (514,567㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	514,567㎡ (514,567㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	116室	136室	317室	8室 (補助職員 13人)	8室 (補助職員 18人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	人間社会科学部 教職開発専攻		18 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位で特定不能 なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					〔うち外国書〕
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	人間社会科学部 研究科 教職開発 専攻	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)		
計	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	27,030㎡		1,775		2,786,389				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	610	—	1.06	1.08	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	490	学士(総合科学)	1.05	1.08	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	入学定員変更(△10)
国際共創学科	4	40	—	120	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	550	—	1.06	1.04	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	550	学士(文学)	1.06	1.04	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	入学定員変更(△10)
教育学部	4	445	—	1,810	—	1.02	1.03	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	631	学士(教育学)	1.01	1.03	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	入学定員変更(△3)
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	334	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△6)
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	303	学士(教育学)	1.02	1.00	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△11)
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	331	学士(教育学)	1.04	1.03	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△7)
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	211	学士(心理学)	1.04	1.07	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△3)
法学部	4	170	3年次20	730	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.02	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	150	学士(法学)	1.10	1.06	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番89号	入学定員変更(△10)
経済学部	4	195	3年次10	815	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.06	1.04	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	編入学定員変更(△5)
(夜間主コース)	4	45	3年次5	205	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中央区千田町一丁目1番89号	入学定員変更(△15) 編入学定員変更(△5)
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.05	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47	—	188	学士(理学)	1.04	1.04	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.06	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59	—	236	学士(理学)	1.04	1.00	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34	—	136	学士(理学)	1.06	1.05	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24	—	96	学士(理学)	1.06	1.04	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	718	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.00	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	718	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.00	1.00	—	平成4	同上	
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.02	—	平成21	—	

歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.05	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	
薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.13	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.13	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,465	—	1.03	1.02	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	455	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	464	学士(工学)	1.01	1.01	平成30	平成13	同上	編入学定員変更(第三類4人)
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.07	1.05	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.10	1.05	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.10	1.05	—	昭和54	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	245	—	1.07	1.10	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	245	学士(情報科学)	1.07	1.10	—	平成30	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	6	209	—	1,264	—	1.00	1.00	—	—	—	
	4	2,127	80	8,273	—	1.04	1.03	—	—	—	

大学の名称	広島大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会科学研究所	前期2	420	—	420	—	0.76	0.76	—	令和2	—	
	後期3	135	—	135	—	0.74	0.74	—	令和2	—	
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	令和2	—	
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	令和2	—	
人文社会科学専攻 (博士課程)	前期2	257	—	257	修士(文学) 修士(心理学) 修士(法学) 修士(経済学) 修士(経営学) 修士(マネジメント) 修士(国際協力学)	0.59	0.59	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
	後期3	85	—	85	修士(文学) 博士(心理学) 博士(法学) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(マネジメント) 博士(国際協力学)	0.54	0.54	—	令和2		
	前期2	163	—	163	修士(教育学) 修士(教育心理学) 修士(国際協力学)	1.03	1.03	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
	後期3	50	—	50	修士(学術) 博士(教育学) 博士(教育心理学) 博士(国際協力学)	1.08	1.08	—	令和2		
	2	30	—	30	教職修士(専門職)	0.80	0.80	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
	3	20	—	20	法務博士(専門職)	0.90	0.90	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	
	前期2	449	—	449	—	1.06	1.06	—	令和2	—	
	後期3	128	—	128	—	0.41	0.41	—	令和2	—	
	前期2	449	—	449	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力学)	1.06	1.06	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
	後期3	128	—	128	修士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(情報科学) 博士(国際協力学)	0.41	0.41	—	令和2		
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.93	0.90	—	平成31	—	
	後期3	70	—	140	—	0.39	0.24	—	平成31	—	
	前期2	170	—	340	修士(理学) 修士(工学) 修士(農学) 修士(学術)	0.93	0.90	—	平成31	広島県東広島市鏡山1丁目4番4号 広島県東広島市鏡山1丁目3番1号 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号	
	後期3	70	—	140	博士(理学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	0.39	0.24	—	平成31		
医系科学研究科	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.96	0.86	—	平成31	—	
	後期3	25	—	50	—	0.82	0.84	—	平成31	—	

医歯薬学専攻 (博士課程)	4	97	—	194	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.07	1.00	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学) 修士(学術)	0.96	0.86	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
	後期3	25	—	50	博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	0.82	0.84	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	—	—	—	教職修士(専門職)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
学習開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止

マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号9号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12	—	令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
物理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
数理分子生命理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11	—	平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成16	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(歯学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(薬学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(保健学)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(看護学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(保健学)	—	—	—	—	—	—
医歯科学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(医科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(歯科学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
機械物理工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止

応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成14	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14	同上	平成24年度学生募集停止
					博士(医学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成6	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					修士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成7	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	平成16	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	前期2	1,115	—	1,361	—	0.95	0.91	—	—	—	—
	後期3	358	—	453	—	0.57	0.53	—	—	—	—
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	—	—	—
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	—	—	—
	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 教職開発専攻（専門職学位課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 由美子 <令和2年4月> 教育学博士
		SDGsへの実践的アプローチ 教育課程開発の実践と評価 道徳・人間関係教育領域の開発 実践 現代の教育改革 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究I アクションリサーチ実地研究II アクションリサーチ実地研究III アクションリサーチ実地研究IV
専	教授	松浦 武人 <令和2年4月> 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 論理的思考教育の開発実践 異校種連携接続の実践開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 海外教育実地研究 アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究I アクションリサーチ実地研究II アクションリサーチ実地研究III アクションリサーチ実地研究IV
		伊藤 圭子 <令和2年4月> 博士(教育学)
		通教科的能力育成の授業開発と 実践 ユニバーサルマインドの授業開 発

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 由美子 <令和2年4月> 教育学博士
		SDGsへの実践的アプローチ 教育課程開発の実践と評価 道徳・人間関係教育領域の開発 実践 現代の教育改革 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究I アクションリサーチ実地研究II アクションリサーチ実地研究III アクションリサーチ実地研究IV
専	教授	松浦 武人 <令和2年4月> 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 論理的思考教育の開発実践 異校種連携接続の実践開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 海外教育実地研究 アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究I アクションリサーチ実地研究II アクションリサーチ実地研究III アクションリサーチ実地研究IV
		伊藤 圭子 <令和2年4月> 博士(教育学)
		通教科的能力育成の授業開発と 実践 ユニバーサルマインドの授業開 発

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	教授	松本 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	教授	山崎 敬人 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	教授	松本 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	教授	山崎 敬人 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ マイクロティーチングの実践 教育実践研究の技法(校内研修を含む) 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 海外教育実地研究 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ 通教科的な能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	大後戸 一樹 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		授業研究の開発実践(TCTを含む)※ 教科横断的授業デザインと授業分析 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 学校インターンシップ アクションリサーチ・セミナーⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ マイクロティーチングの実践 教育実践研究の技法(校内研修を含む) 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 海外教育実地研究 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		SDGsへの実践的アプローチ 通教科的な能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 先進的授業研究の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	大後戸 一樹 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		授業研究の開発実践(TCTを含む)※ 教科横断的授業デザインと授業分析 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) 学校インターンシップ アクションリサーチ・セミナーⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	池田 更志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	岩坂 泰子 〈令和2年4月〉 Master(Arts in Teaching)(School for International Training) (米国)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
		寺内 大輔 〈令和2年4月〉 博士(芸術工学)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	池田 更志 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
専	准教授	岩坂 泰子 〈令和2年4月〉 Master(Arts in Teaching)(School for International Training) (米国)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
		寺内 大輔 〈令和2年4月〉 博士(芸術工学)
		通教科的能力育成の授業開発と実践 ユニバーサルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山崎 茜 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談 アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究 I アクションリサーチ実地研究 II アクションリサーチ実地研究 III アクションリサーチ実地研究 IV
専	講師	高橋 均 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※ 発達支援と幼児児童生徒理解 学校インターンシップ アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究 I アクションリサーチ実地研究 II アクションリサーチ実地研究 III アクションリサーチ実地研究 IV
実専	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ 教育課程開発の実践と評価 道徳・人間関係教育領域の開発実践 学級経営の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山崎 茜 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談 アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究 I アクションリサーチ実地研究 II アクションリサーチ実地研究 III アクションリサーチ実地研究 IV
専	講師	高橋 均 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※ 発達支援と幼児児童生徒理解 学校インターンシップ アクションリサーチ・セミナー I アクションリサーチ・セミナー II アクションリサーチ・セミナー III アクションリサーチ・セミナー IV アクションリサーチ実地研究 I アクションリサーチ実地研究 II アクションリサーチ実地研究 III アクションリサーチ実地研究 IV
実専	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ 教育課程開発の実践と評価 道徳・人間関係教育領域の開発実践 学級経営の理論と実践 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
実専	准教授	吉賀 忠雄 ＜令和2年4月＞ 工学士
		現代教師教育の理論と実践 教職員の人材育成 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ (教育行政職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)
実専	准教授	佐々木 哲夫 ＜令和2年4月＞ 教育学士
		学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 地域教育経営の理論と実践 学校の経営戦略と評価 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ (教育行政職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
実専	准教授	吉賀 忠雄 ＜令和2年4月＞ 工学士
		現代教師教育の理論と実践 教職員の人材育成 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ (教育行政職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)
実専	准教授	米谷 剛 ＜令和2年4月＞ 教育学士
		学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 地域教育経営の理論と実践 学校の経営戦略と評価 教育法規の実践演習 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
実専	准教授	<p>亀岡 圭太</p> <p>〈令和2年4月〉 修士(教育学)</p> <p>マイクロティーチングの実践 授業研究の開発実践(IGTを含む)※ 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※ 現代の教育改革 発達支援と幼児児童生徒理解 教科横断的授業デザインと授業分析 海外教育実地研究 学校インターンシップ</p>
実専	准教授	<p>西本 正頼</p> <p>〈令和2年4月〉 教育学士</p> <p>論理的思考教育の開発実践 学級経営の理論と実践 現代の教育改革 教育実践研究の技法(校内研修を含む) 異校種連携接続の実践開発 学校インターンシップ</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ(教育行政職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅱ(学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ(所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ(所属校実践)</p>
実専	准教授	<p>木佐木 太郎</p> <p>〈令和2年4月〉 学士(体育学)</p> <p>マイクロティーチングの実践 授業研究の開発実践(IGTを含む)※ 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※ 現代の教育改革 発達支援と幼児児童生徒理解 教科横断的授業デザインと授業分析 海外教育実地研究 学校インターンシップ アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ</p>
実専	准教授	<p>大久保 幸則</p> <p>〈令和2年4月〉 修士(教育学)</p> <p>論理的思考教育の開発実践 学級経営の理論と実践 現代の教育改革</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph.D(Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		教育実践研究の技法(校内研修を含む) 異校種連携接続の実践開発 学校インターンシップ
兼担	教授	河合 幸一郎 〈令和2年4月〉 医学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	中坪 孝之 〈令和2年4月〉 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	川野 徳幸 〈令和2年4月〉 博士(医学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	志賀 賢治 〈令和2年4月〉 学士(法学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	保田 浩志 〈令和2年4月〉 博士(工学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一郎 〈令和2年4月〉 Ph.D(Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	張 峻屹 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 〈令和2年4月〉 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	片柳 真理 〈令和2年4月〉 (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	金子 慎治 〈令和2年4月〉 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	市橋 勝 〈令和2年4月〉 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h. D. (米国) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※
		田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
		MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	清水 欽也 〈令和2年4月〉 P h. D. (米国) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※
		田中 純子 〈令和2年4月〉 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森山(奥本) 美知子 〈令和2年4月〉 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
		MAHARJAN, KESHAV LALL 〈令和2年4月〉 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	関 恒樹 〈令和2年4月〉 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		馬場 卓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		石田 洋子 〈令和2年4月〉 博士(国際協力学) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		ダイバーシティの理解※
兼任	教授	大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学)
		ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	教授	工藤 美樹 〈令和2年4月〉 Ph.D.(英国)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学) (米国)
		人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ※
兼任	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	山田 浩之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		ダイバーシティの理解※
兼任	教授	大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学)
		ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	森 玲子 〈令和2年4月〉 M.A(Social Science)
		人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ※
兼任	教授	小山 正孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	松見 法男 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	山田 浩之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	長谷川 博 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	森田 愛子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 英起子 〈令和2年4月〉 外国の博士号(ケルン大学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	星野 一郎 〈令和2年4月〉 博士(会計学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 英起子 〈令和2年4月〉 外国の博士号(ケルン大学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI 〈令和2年4月〉 Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 〈令和2年4月〉 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	手塚 貴大 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	浅利 宙 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	盧 濤 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小柏(河原) 葉子 〈令和2年4月〉 国際学修士
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡辺 健次 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 授業研究の開発実践(ICTを含む)※
兼任	教授	難波 博孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
兼任	教授	若松 昭彦 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※
兼任	教授	石田 弓 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談
兼任	教授	栗原 慎二 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学) 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談
兼任	教授	曾余田 浩史 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 学校の経営戦略と評価 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ(教育行政職実務)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	西原 大輔 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	渡辺 健次 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 授業研究の開発実践(ICTを含む)※
兼任	教授	難波 博孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 通教科的能力育成の授業開発と実践 グローバルマインドの授業開発 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ アクションリサーチ実地研究Ⅱ アクションリサーチ実地研究Ⅲ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
兼任	教授	若松 昭彦 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む)※
兼任	教授	石田 弓 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談
兼任	教授	栗原 慎二 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学) 人間社会科学特別講義※ 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学校における教育相談
兼任	教授	曾余田 浩史 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 学校の経営戦略と評価 学校経営・行政フィールド調査 アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅰ(教育行政職実務)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)
兼任	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 教員のキャリア形成支援の理論 と実践
兼任	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼任	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼任	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年4月〉 博士(工学) MOT入門
兼任	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える ※ 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える ※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)
兼任	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学) 教員のキャリア形成支援の理論 と実践
兼任	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼任	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼任	教授	伊藤 孝夫 〈令和2年4月〉 博士(工学) MOT入門
兼任	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える ※ 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える ※
兼任	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学) Hiroshimaから世界平和を考 える※
兼任	教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD (Social Sciences) (英国) Hiroshimaから世界平和を考 える※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (ペンシルバニア州立大学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	准教授	宮尾 淳一 〈令和2年4月〉 工学博士
		データリテラシー※
兼担	准教授	森野 豊之 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 PhD (Management) (米国)
		アントレプレナーシップ概論
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph.D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 〈令和2年4月〉 博士(教育理論政策学) (ペンシルバニア州立大学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	准教授	伊藤 晋平 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー※
兼担	准教授	大上 直秀 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	准教授	牧野 恵美 〈令和2年4月〉 PhD (Management) (米国)
		アントレプレナーシップ概論
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	後藤 雄太 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	奈良 勝司 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	松嶋 健 〈令和2年4月〉 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	大河内 治 〈令和2年4月〉 Ph.D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	上手 由香 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	伊藤 奈保子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	川村 悠人 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	進矢 正宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	滝沢 潤 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育行政の理論と実践
兼任	准教授	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		カリキュラム・マネジメントの 理論と実践
兼任	准教授	櫻葉 みつ子 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		授業開発と評価(基礎)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	川村 悠人 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	進矢 正宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	滝沢 潤 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育行政の理論と実践
兼任	准教授	西村 大志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	八木 健太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	徳永 崇 ＜令和2年4月＞ 博士(音楽)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	小野 貞幸 ＜令和2年4月＞ Ph. D(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	吉中 信人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	米沢 崇 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	吉田 成章 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		カリキュラム・マネジメントの 理論と実践
兼任	准教授	櫻葉 みつ子 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		授業開発と評価(基礎)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼担	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph. D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼担	助教	中川 雅央 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	古川 昌文 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	吉田 有紀 〈令和2年4月〉 博士(サスティナビリティ学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
		授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼担	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		授業開発と評価(基礎) 授業開発と評価(応用) 授業開発と評価(発展) 授業開発と評価(開発)
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	三木 大樹 〈令和2年4月〉 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph. D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	金 宰ウク 〈令和2年4月〉 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	北梶 陽子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼担	助教	服部 稔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		ストレスマネジメント
兼担	助教	古川 昌文 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	吉田 有紀 〈令和2年4月〉 博士(サスティナビリティ学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	林 孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		現代教師教育の理論と実践 地域教育経営の理論と実践 教職員の人材育成 アクションリサーチ実地研究Ⅰ (教育行政職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅱ (学校管理職実務) アクションリサーチ実地研究Ⅲ (所属校実践) アクションリサーチ実地研究Ⅳ (所属校実践)
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	阪根 健二 〈令和2年4月〉 教育学修士
		学校の危機管理
兼任	准教授	井上 純一 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	梅野 栄治 〈令和2年4月〉 学士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	甲斐 章義 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	君岡 智央 〈令和2年4月〉 準学士
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	西原 美幸 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	松本 信吾 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		先進的授業研究の理論と実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	林 孝 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		現代教師教育の理論と実践 地域教育経営の理論と実践 教職員の人材育成
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	阪根 健二 〈令和2年4月〉 教育学修士
		学校の危機管理
兼任	准教授	井上 純一 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	梅野 栄治 〈令和2年4月〉 学士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	甲斐 章義 〈令和2年4月〉 修士(理学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	君岡 智央 〈令和2年4月〉 準学士
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	西原 美幸 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	松本 信吾 〈令和2年4月〉 修士(文学)
		先進的授業研究の理論と実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	向井 紋子 〈令和2年4月〉 短期大学士(家政学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	伊藤 公一 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学校インターンシップ
兼任	准教授	服部 太 〈令和2年4月〉 修士(学校教育学)
		学校インターンシップ
兼任	准教授	山木(増木) 彩加 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学校インターンシップ
兼任	講師	三角 幸子 〈令和2年4月〉 経営学修士
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	川本 亮之 〈令和2年4月〉 学士(社会学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	向井 紋子 〈令和2年4月〉 短期大学士(家政学)
		先進的授業研究の理論と実践
兼任	准教授	伊藤 公一 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学校インターンシップ
兼任	准教授	服部 太 〈令和2年4月〉 修士(学校教育学)
		学校インターンシップ
兼任	准教授	山木(増木) 彩加 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学校インターンシップ
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	原山 優子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<p><専任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・ 佐々木哲夫准教授、亀岡圭太准教授、西本正頼准教授の就任辞退により、米谷剛准教授、木佐木太郎准教授、大久保幸則准教授に変更。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・ 志賀賢治教授、保田浩志教授、吉村健一教授、森玲子教授、手塚貴大教授、浅利宙教授、盧濤教授、小柏（河原）葉子教授、西原大輔教授、友次晋介准教授、VAN DER DOES LULI准教授、伊森晋平准教授、西村大志准教授、八木健太郎准教授、徳永崇准教授、小野貞幸准教授、吉中信人准教授、米沢崇准教授、三木大樹講師、服部稔助教が兼任教員として就任。・ 工藤美樹教授、有廣光司教授、粟井和夫教授、三須敏幸教授、星野一郎教授、宮尾淳一准教授、森野豊之准教授、中川雅央助教を担当から削除。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・ 阿部伸一教授、原山優子講師が兼任教員として就任。・ 田中剛教授、三角幸子講師、川本亮之講師を担当から削除。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
11 名	6 名	5 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【教職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	10	2	0	18	0	6	10	2	0	18	0
(6)	(10)	(2)	(0)	(18)	(0)						
研究者教員数			講義のみ担当 の教員数			研究者教員数			講義のみ担当 の教員数		
13			0			13			0		
(13)			(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	10	2	0	18	0	6	10	2	0	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究者教員数			講義のみ担当 の教員数			研究者教員数			講義のみ担当 の教員数		
13			0			13			0		
[0]			[0]			[0]			[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	佐々木 哲夫	R2.3	選択	学校経営の理論と実践（地域とともにある学校を含む）	①	R2.3定年退職のため（2）						
				選択	地域教育経営の理論と実践	①							
				選択	学校の経営戦略と評価	①							
				選択	教育法規の実践演習	①							
				選択	学校経営・行政フィールド調査	①							
				必修	アクションリサーチ・セミナーⅠ	①							
				必修	アクションリサーチ・セミナーⅡ	①							
				必修	アクションリサーチ・セミナーⅢ	①							
				必修	アクションリサーチ・セミナーⅣ	①							
				必修	アクションリサーチ実地研究Ⅰ（教育行政職実務）	①							
				必修	アクションリサーチ実地研究Ⅱ（学校管理職実務）	①							
				必修	アクションリサーチ実地研究Ⅲ（所属校実践）	①							
				必修	アクションリサーチ実地研究Ⅳ（所属校実践）	①							
2	准教授	亀岡 圭太	R2.3	選択	マイクロティーチングの実践	①	R2.3契約期間満了のため（2）						
				選択	授業研究の開発実践（ICTを含む）	①							
				選択	幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践（特別支援教育を含む）	①							
				選択	現代の教育改革	①							
				選択	発達支援と幼児児童生徒理解	①							
				選択	教科横断的授業デザインと授業分析	①							
				選択	海外教育実地研究	①							
				選択	学校インターンシップ	①							
3	准教授	西本 正頼	R2.3	選択	論理的思考教育の開発実践	①	R2.3定年退職のため（2）						
				選択	学級経営の理論と実践	①							
				選択	現代の教育改革	①							
				選択	教育実践研究の技法（校内研修を含む）	①							
				選択	異校種連携接続の実践開発	①							
				選択	学校インターンシップ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
3	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	19	科目	選択	19	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	27	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
3	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	19	科目	選択	19	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	27	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目については、すべて後任の専任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。学生への周知については、学資便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和元年)	<p>大学院共通科目が本研究科の目的を達成するように、教育内容の充実や質の向上に努めること。なお、各学問分野の専門性の質とともに、学際的にすることによる教育効果並びに専門教育と学際的教育を実施することによる相乗効果について担保すること。</p> <p>教員の年間最大担当単位数の上限を設定するなど、単位数とともに、実習 指導の時間も含めて、教員負担が過度にならないように努めること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本研究科の2つのミッション、すなわち「人間と社会のための諸科学の追求」と「教育による持続可能で平和な世界の構築を目指す」に沿った人材育成の観点から、個々の学生にとって必要な大学院共通科目の履修を指導している。授業では、「異分野の学生が同じ場で学ぶ機会」を提供している。</p> <p>専門教育と学際的教育の質保証並びに双方による相乗効果については、各授業科目を充実させることとしている。</p> <p>助言事項</p> <p>本専攻教員の最大担当単位数は、年間32単位であり、教員負担が過度にならないよう配慮している。</p>	<p>履行中</p> <p>履行済</p>	<p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に立ち上げる。大学院共通科目についても、必要に応じて検討し、その充実に向けた要望等を、全学の関連部署に提出する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間社会科学部 教職開発専攻（専門職学位課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日まで、対面による授業は中止し、オンラインで授業を実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>①自己点検・評価委員会，②教職大学院運営委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>①令和2年4月に第1回を開催予定（以後，月1回程度で開催予定）であったが，新型コロナウイルス感染症に対する対応として，令和2年5月以降に延期した。</p> <p>②令和2年6月に第1回，令和3年2月に第2回を開催する予定である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>①教育活動，研究活動，社会貢献，管理運営，中期目標・中期計画・年度計画，外部評価，教員の個人評価，研究科の情報集積と分析（研究科FDを含む。），その他点検・評価に関すること。</p> <p>②教育課程（カリキュラム），連携協力校，四者連絡協議会との連携，実習等に係る予算，専攻を横断した運営に関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修会 ・ 研究科FD ・ 新任教員のための研修会 ・ 専攻教員によるFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学で実施するFDへの参加 ・ 研究科独自で実施するFDへの参加 ・ 全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加 ・ 専攻教員相互による授業参観 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年4月に新任教員のための研修会が予定されていたが，新型コロナウイルス感染症に対する対応として，令和2年5月以降に延期された。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生によるアンケート結果に基づき，授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる予定。 ・ 現職教員学生と学部卒学生それぞれの評価規準について検討し，シラバスに反映させる予定。
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。

併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

広島大学大学院人間社会科学研究科教職開発専攻四者連絡協議会（本研究科教職開発専攻、広島県教育委員会、広島市教育委員会及び東広島市教育委員会による協議会）を設置している。
教育委員会における人事異動等により一部の委員が交代した。（別紙参照）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

令和2年10月に開催する予定である。

c 委員会の審議事項等

各教育委員会と教職大学院との連携による、授業科目の開発及び開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項、授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

なし

② 審議状況

a 審議した内容

- ・令和2年10月に開催予定のため次年度以降記載予定

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- ・令和2年10月に開催予定のため次年度以降記載予定

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

- ・令和2年10月に開催予定のため次年度以降記載予定

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・今年度開設のため次年度以降記載予定

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・現在検討中

b 公表方法

- ・現在検討中

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の教職大学院認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有]
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

広島大学大学院人間社会科学研究科教職開発専攻四者連絡協議会構成員名簿

番号	構成員区分	氏名	所属及び職名	前任者(設置時の計画)
1	教職員	松浦 武人	広島大学 大学院人間社会科学研究科 教授	
2	教職員	宮里 智恵	広島大学 大学院人間社会科学研究科 教授	
3	教職員	米谷 剛	広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授	佐々木 哲夫
4	教職員	大久保 幸則	広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授	西本 正頼
5	教職員	吉賀 忠雄	広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授	
6	教職員	木佐木 太郎	広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授	亀岡 圭太
7	教職員	善村 浩之	広島大学 東広島地区運営支援部教育学系総括支援室長	横山 謙治
8	職業	生田 徳廉	広島県教育委員会 参与	
9	職業	山田 哲也	広島県教育委員会 管理部教職員課長	
10	職業	中谷 智子	広島市教育委員会 学校教育部指導第一課課長	
11	職業	松浦 泰博	広島市教育委員会 学校教育部指導第二課課長	
12	職業	小川 寛	東広島市教育委員会 学校教育部次長兼指導課長	
13	地域	重森 栄理	広島県教育委員会 学びの革新推進部義務教育指導課長	河北 光弘
14	地域	川口 潤	広島市教育委員会 学校教育部教職員課課長	
15	地域	神笠 一義	東広島市教育委員会 学校教育部学事課長	池田 隆

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒730-0053

広島県広島市中区東千田町一丁目1番89号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(コバヤシ シンイチ) 小林 信一 (令和2年4月)		
専攻長	(アキノ シゲト) 秋野 成人 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間社会科学研究科 実務法学専攻 （専門職学位課程） 法務博士（専門職）	法曹養成関係	年 3	人 20	年次 人 -	人	法学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和 年度		令和 年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 20 (-) [-]	人	人	人	人	人	0.90 倍	- 倍	
志願者数	85 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	75 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	32 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	18 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	0.90								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和 年度		令和 年度						備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
1年次	10 [-] (-)	- [-] (-)									令和2年度2年次には、法学既修者を計上
2年次	8 [-] (-)	- [-] (-)									
3年次	/		/								
4年次	/		/								
計	18 [-] (-)										

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	18 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	-
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
令和 年度	人	人	令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
			令和 年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和 年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間社会科学部 実務法学専攻（専門職学位課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	3①②④	1									兼5
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	3②	1									兼7
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	3④	1									兼6
	SDGsへの学問的アプローチA	3①	1									兼8
	SDGsへの学問的アプローチB	3③	1									兼7
	SDGsへの実践的アプローチ	3②	2									兼3
	ダイバーシティの理解	3②	1									兼4
	データリテラシー	3①②	1									兼2
	医療情報リテラシー	3③	1									兼9
キャリア開発・キャリア開発・理工系キャリアマネジメント	3②③	2									兼1	
理工系キャリアマネジメント	3②	2									兼1	
ストレスマネジメント	3②④	2									兼1	
情報セキュリティ	3①	2									兼3	
MOT入門	3①③	1									兼1	
アントレプレナーシップ概論	3①	1									兼1	
小計 (15科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	兼53
共通科目	人間社会科学特別講義	3④	2									兼15
	小計 (1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼15
プログラム専門科目	民法1 A	1①	2			1						
	民法1 B	1②	2			1						
	民法2	1前	2			1						
	民法3	1③	2			1						
	民法4	1後	2			1						
	会社法1	1②	1			1						
	会社法2	1③	1			1						
	会社法3	1④	1			1						
	民事訴訟法	1後	2									兼1
	刑法A	1①	1			1						
	刑法A 演習	1②	1			1						
	刑法B	1③	1			1						
	刑法B 演習	1④	1			1						
	憲法1	1前	2			1						
	憲法2	1後	2			1						
	基礎演習1	1②	1			6						
	基礎演習2	1③	1			6						
	基礎演習3	1④	1			7						
	法学概論	1①	1			2	1					
	民法演習1 A	2①	1			1						
	民法演習1 B	2②	1			1						
	民法演習2 A	2①	1			1						
	民法演習2 B	2②	1			1						
	民法演習3 A	2③	1			1						
	民法演習3 B	2④	1			1						
	民法演習4	2後	2			1						
	商法演習1 A	2②	1			1						
	商法演習1 B	2③	1			1						
	商法演習2 A	2④	1			1						
	商法演習2 B	3①	1			1						
	民事手続法1	2前	2									兼1
	民事手続法2	2後	2									兼1
	刑法C	2②	1			1						
	刑法C 演習	2③	1			1						
	刑事訴訟法1	2①	1				1					
	刑事訴訟法2	2③	1				1					
	刑事訴訟法1 演習	2②	1				1					
	刑事訴訟法2 演習	2④	1				1					
	行政法1	2前	2			1						
	行政法2	2後	2			1						
	憲法演習1	2①	1			1						
憲法演習2	2後	2			1							
民事法総合演習	3②③	1			5						兼2	
刑事法総合演習	3②③	1			1	1						
公法総合演習	3②③	1			2							
刑法演習1	2①	1			1							
刑法演習2	2④	1			1							
重点演習 (公法1)	3③	1			2							

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	3②③④	1									兼9
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	3②	1									兼6
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	3④	1									兼6
	SDGsへの学問的アプローチA	3①②	1									兼8
	SDGsへの学問的アプローチB	3③④	1									兼7
	SDGsへの実践的アプローチ	3後	2									兼3
	ダイバーシティの理解	3前	1									兼4
	データリテラシー	3①②	1									兼2
	医療情報リテラシー	3③	1									兼7
キャリア開発・キャリア開発・人文社会系キャリアマネジメント	3②③	2									兼1	
理工系キャリアマネジメント	3前	2									兼1	
ストレスマネジメント	3②④	2									兼2	
情報セキュリティ	3前	2									兼3	
MOT入門	3①②	1									兼1	
アントレプレナーシップ概論	3前	1									兼1	
小計 (15科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	兼57
共通科目	人間社会科学特別講義	3④	2									兼15
	小計 (1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼15
プログラム専門科目	民法1 A	1①	2			1						
	民法1 B	1②	2			1						
	民法2	1前	2			1						
	民法3	1③	2			1						
	民法4	1後	2			1						
	会社法1	1②	1			1						
	会社法2	1③	1			1						
	会社法3	1④	1			1						
	民事訴訟法	1後	2							1		0
	刑法A	1①	1			1						
	刑法A 演習	1②	1			1						
	刑法B	1③	1			1						
	刑法B 演習	1④	1			1						
	憲法1	1前	2			1						
	憲法2	1後	2			1						
	基礎演習1	1②	1			6						
	基礎演習2	1③	1			6						
	基礎演習3	1④	1			7						
	法学概論	1①	1			2	1			1		
	民法演習1 A	2①	1			1						
	民法演習1 B	2②	1			1						
	民法演習2 A	2①	1			1						
	民法演習2 B	2②	1			1						
	民法演習3 A	2③	1			1						
	民法演習3 B	2④	1			1						
	民法演習4	2後	2			1						
	商法演習1 A	2②	1			1						
	商法演習1 B	2③	1			1						
	商法演習2 A	2④	1			1						
	商法演習2 B	3①	1			1						
	民事手続法1	2前	2							1		0
	民事手続法2	2後	2							1		0
	刑法C	2②	1			1						
	刑法C 演習	2③	1			1						
	刑事訴訟法1	2①	1				1					
	刑事訴訟法2	2③	1				1					
	刑事訴訟法1 演習	2②	1				1					
	刑事訴訟法2 演習	2④	1				1					
	行政法1	2前	2			1						
	行政法2	2後	2			1						
	憲法演習1	2①	1			1						
憲法演習2	2後	2			1							
民事法総合演習	3②③	1			5				1		兼1	
刑事法総合演習	3②③	1			1	1						
公法総合演習	3②③	1			2							
刑法演習1	2①	1			1							
刑法演習2	2④	1			1							
重点演習 (公法1)	3③	1			2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
法律基本科目群	重点演習(公法2)	3④	1			2						兼1
	重点演習(民法1)	3③	1			4						兼2
	重点演習(民法2)	3③	1			2						
	重点演習(民法3)	3④	1			2						
	重点演習(刑法1)	3③	1			2						
	重点演習(刑法2)	3③	1			1						
	重点演習(刑法3)	3④	1				1					
	重点演習(刑法4)	3④	1			1						
	重点演習(公法理論研究)	3④	1			1						
	重点演習(民法理論研究)	3④	1			1						
重点演習(刑法理論研究)	3④	1			1							
小計(59科目)	—	59	14	0	81	6	1	0	0	0	0	兼8
実務基礎科目群	法曹倫理1	2前	2			2						兼1
	法文書作成	3前	2			2						兼1
	民事訴訟実務基礎1	2②	1			2						兼1
	民事訴訟実務基礎2	2③	1			2						兼1
	刑事訴訟実務基礎	3①	2			1						兼1
	模擬裁判	3①	1			1						
	リーガル・クリニック	3前	1			1						
	エクスターンシップ	2後	1			1						
	法曹倫理2	2後	2			2						
	ローヤリング	3①	1			1						
小計(10科目)	—	9	5	0	15	0	0	0	0	0	0	兼4
基礎法学・隣接科目群	法的思考法	2前	2					1				
	法理学	3後	2					1				
	政治学	2後	2									兼1
	法社会学	2前	2									兼1
小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	2	0	0	0	0	兼2
展開・先端科目群	消費者法	2後	2									兼1
	不動産登記法	3前	2									兼1
	債権回収法	3後	2									兼1
	知的財産法1	3前	2									兼1
	知的財産法2	3後	2									兼1
	企業金融法	3後	2		1							
	国際私法・取引法	2後	2									兼1
	民事執行保全法	3前	2									兼1
	倒産処理法1	2前	2									兼1
	倒産処理法2	3前	2									兼1
	労働法1	2後	2		1							
	労働法2	3前	2		1							
	労働法演習	3後	2		1							
	社会保障法	3前	2		1							
小計(14科目)	—	0	28	0	5	0	0	0	0	0	0	兼8
特別講義	税法	3前	2									兼2
	アジア法1	2②	1		1							
	アジア法2	2③	1		2							
	臨床法務 公法実務基礎	3前 3前	2 1		1 1							兼2
小計(5科目)	—	0	7	0	4	0	0	0	0	0	0	兼4
小計(92科目)	—	68	62	0	105	6	3	0	0	0	0	兼27
合計(108科目)	—	70	82	0	15	1	1	0	0	0	0	兼85

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を103単位以上とし、以下のとおり、単位を修得すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	1単位以上	
キャリア開発・デュータリテシー科目	1単位以上	
研究科共通科目	2単位	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
		「必修」：59単位 「選択必修」 刑法演習1：1単位 刑法演習2：1単位 から1科目 重点演習(公法1)：1単位 重点演習(公法2)：1単位

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
法律基本科目群	重点演習(公法2)	3④	1			2						兼1
	重点演習(民法1)	3③	1			4		1				兼1
	重点演習(民法2)	3③	1			2						
	重点演習(民法3)	3④	1			2						
	重点演習(刑法1)	3③	1			2						
	重点演習(刑法2)	3③	1			1						
	重点演習(刑法3)	3④	1				1					
	重点演習(刑法4)	3④	1			1						
	重点演習(公法理論研究)	3④	1			1						
	重点演習(民法理論研究)	3④	1			1						
重点演習(刑法理論研究)	3④	1			1							
小計(59科目)	—	59	14	0	81	12	1	0	0	0	0	兼3
実務基礎科目群	法曹倫理1	2前	2			2						兼1
	法文書作成	3前	2			2						兼1
	民事訴訟実務基礎1	2②	1			2						兼1
	民事訴訟実務基礎2	2③	1			2						兼1
	刑事訴訟実務基礎	3①	2			1						兼1
	模擬裁判	3①	1			1						
	リーガル・クリニック	3前	1			1						
	エクスターンシップ	2後	1			1						
	法曹倫理2	2後	2			2						
	ローヤリング	3①	1			1						
臨床法務 公法実務基礎	3後 3前	2 1			1 1						兼2	
小計(10科目)	—	9	8	0	16	0	0	0	0	0	0	兼6
基礎法学・隣接科目群	法的思考法	2前	2						1			
	法理学	3後	2						1			
	政治学	2後	2									兼1
	法社会学	2前	2									兼1
小計(4科目)	—	0	10	0	3	0	2	0	0	0	0	兼2
展開・先端科目群	消費者法	2後	2									兼1
	不動産登記法	3前	2									兼1
	債権回収法	3後	2									兼1
	知的財産法1	3前	2									兼1
	知的財産法2	3後	2									兼1
	企業金融法	3後	2		1							
	国際私法・取引法	2後	2									兼1
	民事執行保全法	3前	2						1			兼0
	倒産処理法1	2前	2									兼1
	倒産処理法2	3前	2									兼1
	労働法1	2後	2		1							
	労働法2	3前	2		1							
	労働法演習	3後	2		1							
	社会保障法	3前	2		1							
小計(14科目)	—	0	30	0	5	1	0	0	0	0	0	兼10
特別講義	税法	3前	2									兼2
	アジア法1	2②	1		1							
	アジア法2	2③	1		2							
	臨床法務 公法実務基礎	3前 3前	2 1		1 1							兼2
小計(5科目)	—	0	7	0	4	0	0	0	0	0	0	兼4
小計(92科目)	—	68	62	0	105	13	3	0	0	0	0	兼21
合計(108科目)	—	70	82	0	15	2	1	0	0	0	0	兼86

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を103単位以上とし、以下のとおり、単位を修得すること。
修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	1単位以上	
キャリア開発・デュータリテシー科目	1単位以上	
研究科共通科目	2単位	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
		「必修」：59単位 「選択必修」 刑法演習1：1単位 刑法演習2：1単位 から1科目 重点演習(公法1)：1単位

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
プログラム専門科目	法律基本科目群	61単位以上				重点演習(民法1):1単位 重点演習(民法2):1単位 重点演習(民法3):1単位 重点演習(刑法1):1単位 重点演習(刑法2):1単位 重点演習(刑法3):1単位 重点演習(刑法4):1単位 重点演習(公法理論研究):1単位 重点演習(民法法理論研究):1単位 重点演習(刑法法理論研究):1単位 から1科目							
	実務基礎科目群	10単位以上				「必修」 法曹倫理1:2単位 法文書作成:2単位 民事訴訟実務基礎1:1単位 民事訴訟実務基礎2:1単位 刑事訴訟実務基礎:2単位 模擬裁判:1単位 「選択必修」 リーガル・クリニック:1単位 エクスターンシップ:1単位 から1科目							
	基礎法学・隣接科目群	4単位以上											
	展開・先端科目群	12単位以上											
	科目群指定なし	12単位以上				実務基礎科目群 基礎法学・隣接科目群 展開・先端科目群 から5単位以上							
合計		103単位以上											

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
プログラム専門科目	法律基本科目群	61単位以上				重点演習(民法1):1単位 重点演習(民法2):1単位 重点演習(民法3):1単位 重点演習(刑法1):1単位 重点演習(刑法2):1単位 重点演習(刑法3):1単位 重点演習(刑法4):1単位 重点演習(公法理論研究):1単位 重点演習(民法法理論研究):1単位 重点演習(刑法法理論研究):1単位 から1科目							
	実務基礎科目群	10単位以上				「必修」 法曹倫理1:2単位 法文書作成:2単位 民事訴訟実務基礎1:1単位 民事訴訟実務基礎2:1単位 刑事訴訟実務基礎:2単位 模擬裁判:1単位 「選択必修」 リーガル・クリニック:1単位 エクスターンシップ:1単位 から1科目							
	基礎法学・隣接科目群	4単位以上											
	展開・先端科目群	12単位以上											
	科目群指定なし	12単位以上				実務基礎科目群 基礎法学・隣接科目群 展開・先端科目群 から5単位以上							
合計		103単位以上											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「3①②④」から「3②③④」に変更。 ・専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任9」に変更。 ・教員の退職により、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「3①」から「3①②」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「3③」から「3③④」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「3②」から「3後」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「3②」から「3前」に変更。 ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「3②」から「3前」に変更。 ・授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「3①」から「3前」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「MOT入門」の配当年次を「3①③」から「3①②」に変更。 ・学生の履修機会を増やすため、「アントレプレナーシップ概論」の配当年次を「3①」から「3前」に変更。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のためMicrosoftチームを使用したWeb授業で実施するを決定したことに伴い、Web授業が困難な前期の授業科目「臨床法務」を後期に実施することとし、「3前」から「3後」に変更。 ・実習法律相談の充実を図るため、導入科目である「法学概論」の専任教員等の配置を、「准教授0」から「准教授1」に変更。 ・科目区分の見直しにより、「臨床法務」及び「公法実務基礎」の科目区分を「特別講義」から「実務基礎科目群」に変更。 ・科目区分の見直しにより、「アジア法1」及び「アジア法2」の科目区分を「特別講義」から「基礎法学・隣接科目群」に変更。 ・科目区分の見直しにより、「税法」の科目区分を「特別講義」から「展開・先端科目群」に変更。 ・令和2年4月准教授就任により、「民事訴訟法」「民事手続法1」「民事手続法2」「民事執行保全法」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。 ・令和2年4月准教授就任により、「民事法総合演習」「重点演習（民事法1）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
52 科目	56 科目	0 科目	108 科目	52 科目 [0]	56 科目 [0]	0 科目 [0]	108 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{108} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡			
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡			
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡			
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡			
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡			
(2) 校 舎		専 用 (514,567㎡)	共 用 (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 (0㎡)	計 (514,567㎡)	大学全体		
(3) 教 室 等		講 義 室 116室	演 習 室 136室	実験実習室 317室	情報処理学習施設 8室 (補助職員 13人)	語学学習施設 8室 (補助職員 18人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 人間社会科学部 実務法学専攻			室 数 18 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不能 なため、大学全体の数
	人間社会科学部 実務法学 専攻	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)	
	計	3,472,061 [1,297,706] (3,472,061 [1,297,706])	60,988 [25,374] (60,988 [25,374])	5,769 [5,763] (5,769 [5,763])	5,502 (5,502)	13,477 (13,477)	133 (133)	
(6) 図 書 館		面 積 27,030㎡	閱 覧 座 席 数 1,775	収 納 可 能 冊 数 2,786,389	大学全体			
(7) 体 育 館		面 積 11,384㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場、陸上競技場、サッカー・ラグビー場 外			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学										備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	610	—	1.06	1.08	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	490	学士(総合科学)	1.05	1.08	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	入学定員変更(△10)
国際共創学科	4	40	—	120	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	550	—	1.06	1.04	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	550	学士(文学)	1.06	1.04	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	入学定員変更(△10)
教育学部	4	445	—	1,810	—	1.02	1.03	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	631	学士(教育学)	1.01	1.03	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	入学定員変更(△3)
第二类(科学文化教育系)	4	82	—	334	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△6)
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	303	学士(教育学)	1.02	1.00	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△11)
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	331	学士(教育学)	1.04	1.03	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△7)
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	211	学士(心理学)	1.04	1.07	平成30	平成12	同上	入学定員変更(△3)
法学部	4	170	3年次20	730	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.02	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	150	学士(法学)	1.10	1.06	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	入学定員変更(△10)
経済学部	4	195	3年次10	815	—	1.06	1.03	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.06	1.04	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	編入学定員変更(△5)
(夜間主コース)	4	45	3年次5	205	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	入学定員変更(△15) 編入学定員変更(△5)
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.05	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47	—	188	学士(理学)	1.04	1.04	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.06	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59	—	236	学士(理学)	1.04	1.00	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34	—	136	学士(理学)	1.06	1.05	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24	—	96	学士(理学)	1.06	1.04	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	718	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.00	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	718	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区隈一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
理学療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.00	1.00	—	平成4	同上	
作業療法学専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.02	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.02	—	平成21	—	

歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.05	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	
薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.13	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.13	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,465	—	1.03	1.02	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	455	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	464	学士(工学)	1.01	1.01	平成30	平成13	同上	編入学定員変更(第三類4人)
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	273	学士(工学)	1.07	1.05	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.10	1.05	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.10	1.05	—	昭和54	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	245	—	1.07	1.10	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	245	学士(情報科学)	1.07	1.10	—	平成30	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	6	209	—	1,264	—	1.00	1.00	—	—	—	
	4	2,127	80	8,273	—	1.04	1.03	—	—	—	

大学の名称	広島大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間社会科学研究科	前期2	420	—	420	—	0.76	0.76	—	令和2	—	
	後期3	135	—	135	—	0.74	0.74	—	令和2	—	
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	令和2	—	
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	令和2	—	
人文社会科学専攻 (博士課程)	前期2	257	—	257	修士(文学) 修士(心理学) 修士(法学) 修士(経済学) 修士(経営学) 修士(マネジメント) 修士(国際協力学) 修士(学術)	0.59	0.59	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
	後期3	85	—	85	博士(文学) 博士(心理学) 博士(法学) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(マネジメント) 博士(国際協力学) 博士(学術)	0.54	0.54	—	令和2		
	前期2	163	—	163	修士(教育学) 修士(教育心理学) 修士(国際協力学) 修士(学術)	1.03	1.03	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
	後期3	50	—	50	博士(教育学) 博士(教育心理学) 博士(国際協力学) 博士(学術)	1.08	1.08	—	令和2		
	2	30	—	30	教職修士(専門職)	0.80	0.80	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
	3	20	—	20	法務博士(専門職)	0.90	0.90	—	令和2	広島県広島市東千田町一丁目1番8号	
	前期2	449	—	449	—	1.06	1.06	—	令和2	—	
	後期3	128	—	128	—	0.41	0.41	—	令和2	—	
	前期2	449	—	449	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力学) 修士(学術)	1.06	1.06	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
	後期3	128	—	128	博士(理学) 博士(工学) 博士(情報科学) 博士(国際協力学) 博士(学術)	0.41	0.41	—	令和2		
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.93	0.90	—	平成31	—	
	後期3	70	—	140	—	0.39	0.24	—	平成31	—	
	前期2	170	—	340	修士(理学) 修士(工学) 修士(農学) 修士(学術)	0.93	0.90	—	平成31	広島県東広島市鏡山1丁目4番4号 広島県東広島市鏡山1丁目3番1号 広島県東広島市鏡山1丁目7番1号	
	後期3	70	—	140	博士(理学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	0.39	0.24	—	平成31		
医系科学研究科	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.96	0.86	—	平成31	—	
	後期3	25	—	50	—	0.82	0.84	—	平成31	—	

医歯薬学専攻 (博士課程)	4	97	—	194	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.07	1.00	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学) 修士(学術)	0.96	0.86	—	平成31	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
	後期3	25	—	50	博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	0.82	0.84	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教職開発専攻 (専門職学位課程)	2	—	—	—	教職修士(専門職)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
学習開発専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止

マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番89号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	—	令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28	—	令和2年度学生募集停止
数理分子生命理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11	—	平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10	—	令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成10	—	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成16	—	令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成24	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(歯学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(薬学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(保健学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(看護学)	—	—	—	平成24	—	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	博士(保健学)	—	—	—	—	—	—
医歯科学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(医科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
		—	—	—	修士(歯科学)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
機械物理工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止
		—	—	—	博士(学術)	—	—	—	—	—	—
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22	—	令和2年度学生募集停止

応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成22	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成22		令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18	広島県広島市緑山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成18		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成18	同上	平成31年度学生募集停止
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	平成14	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(医薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14	同上	平成24年度学生募集停止
					博士(医学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(医薬学)	—	—	—	平成14		平成24年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成14	同上	平成24年度学生募集停止
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成6	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					修士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(工学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	平成6		令和2年度学生募集停止
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成7	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
					博士(教育学)	—	—	—	平成7		令和2年度学生募集停止
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	平成16	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	前期2	1,115	—	1,361	—	0.95	0.91	—	—	—	—
	後期3	358	—	453	—	0.57	0.53	—	—	—	—
	2	30	—	30	—	0.80	0.80	—	—	—	—
	3	20	—	20	—	0.90	0.90	—	—	—	—
	4	97	—	194	—	1.07	1.00	—	—	—	—

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学部 実務法学専攻（専門職学位課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神野 礼斉 <令和2年4月> 博士(法学)
		民法1A 民法4 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1B 重点演習(民事法1)※
専	教授	油納 健一 <令和2年4月> 修士(法学)
		民法1B 民法2 基礎演習3※ 民法演習3B 重点演習(民事法1)※
専	教授	田村 耕一 <令和2年4月> 博士(法学)
		民法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1A 民法演習3A 民事法総合演習※ 重点演習(民事法2)※ 重点演習(民事法理論研究) アジア法1 アジア法2※
専	教授	田村 耕一 <令和4年4月> 博士(法学)
		民法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1A 民法演習3A 民事法総合演習※ 重点演習(民事法2)※ 重点演習(民事法理論研究) アジア法1 アジア法2※

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神野 礼斉 <令和2年4月> 博士(法学)
		民法1A 民法4 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1B 重点演習(民事法1)※
専	教授	油納 健一 <令和2年4月> 修士(法学)
		民法1B 民法2 基礎演習3※ 民法演習3B 重点演習(民事法1)※
専	教授	田村 耕一 <令和2年4月> 博士(法学)
		民法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1A 民法演習3A 民事法総合演習※ 重点演習(民事法2)※ 重点演習(民事法理論研究) アジア法1 アジア法2※
専	教授	田村 耕一 <令和4年4月> 博士(法学)
		民法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 民法演習1A 民法演習3A 民事法総合演習※ 重点演習(民事法2)※ 重点演習(民事法理論研究) アジア法1 アジア法2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片木 晴彦 <令和2年4月> 法学修士
		会社法1 会社法2 会社法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 民事法総合演習※ 重点演習(民事法3)※ 企業金融法 臨床法務
専	教授	周田 憲二 <令和2年4月> 博士(法学)
		商事法演習1A 商事法演習1B 商事法演習2A 商事法演習2B 重点演習(民事法3)※
専	教授	周田 憲二 <令和4年4月> 博士(法学)
		会社法1 会社法2 会社法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 商事法演習1A 商事法演習1B 商事法演習2A 商事法演習2B 民事法総合演習※ 重点演習(民事法3)※ 企業金融法 臨床法務
専	教授	秋野 成人 <令和2年4月> 法学修士
		刑法A 刑法A演習 刑法B 刑法B演習 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 法学概論※ 刑法演習1※ 重点演習(刑事法1)※ 重点演習(刑事法2) 重点演習(刑事法理論研究)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片木 晴彦 <令和2年4月> 法学修士
		会社法1 会社法2 会社法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 民事法総合演習※ 重点演習(民事法3)※ 企業金融法 臨床法務
専	教授	周田 憲二 <令和2年4月> 博士(法学)
		商事法演習1A 商事法演習1B 商事法演習2A 商事法演習2B 重点演習(民事法3)※
専	教授	周田 憲二 <令和4年4月> 博士(法学)
		会社法1 会社法2 会社法3 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 商事法演習1A 商事法演習1B 商事法演習2A 商事法演習2B 民事法総合演習※ 重点演習(民事法3)※ 企業金融法 臨床法務
専	教授	秋野 成人 <令和2年4月> 法学修士
		刑法A 刑法A演習 刑法B 刑法B演習 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 法学概論※ 刑法演習1※ 重点演習(刑事法1)※ 重点演習(刑事法2) 重点演習(刑事法理論研究)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 誠 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		憲法1 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 憲法演習2 重点演習(公法1)※
専	教授	門田 孝 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		憲法2 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 憲法演習1 公法総合演習※ 重点演習(公法2)※ 重点演習(公法理論研究)
専	教授	野田 和裕 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		基礎演習3※ 民法演習2A 民法演習2B 民法演習4 民事法総合演習※
専	教授	日山 恵美 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		法学概論※ 刑法C 刑法C演習 刑事法総合演習※ 刑法演習2※
専	教授	福永 実 ＜令和2年4月＞ 修士(政治学)
		行政法1 行政法2 公法総合演習※ 重点演習(公法1)※ 重点演習(公法2)※
専	教授	山川 和義 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		労働法1 労働法2 労働法演習 社会保障法 アジア法2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 誠 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		憲法1 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 憲法演習1 重点演習(公法1)※
専	教授	門田 孝 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		憲法2 基礎演習1※ 基礎演習2※ 基礎演習3※ 憲法演習2 公法総合演習※ 重点演習(公法2)※ 重点演習(公法理論研究)
専	教授	野田 和裕 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		基礎演習3※ 民法演習2A 民法演習2B 民法演習4 民事法総合演習※
専	教授	日山 恵美 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		法学概論※ 刑法C 刑法C演習 刑事法総合演習※ 刑法演習2※
専	教授	福永 実 ＜令和2年4月＞ 修士(政治学)
		行政法1 行政法2 公法総合演習※ 重点演習(公法1)※ 重点演習(公法2)※
専	教授	山川 和義 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		労働法1 労働法2 労働法演習 社会保障法 アジア法2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀田 尚徳 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		刑事訴訟法1 刑事訴訟法2 刑事訴訟法1演習 刑事訴訟法2演習 刑事法総合演習※ 重点演習(刑事法3)
専		
専	講師	菊池 亨輔 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		法学概論※ 法的思考法 法理学
実専	教授	小濱 意三 ＜令和2年4月＞ 法学士
		基礎演習3※ 民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2 模擬裁判 リーガル・クリニック エクスターンシップ ローヤリング
実み	教授	田上 剛 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		重点演習(刑事法1)※ 重点演習(刑事法4) 法曹倫理1※ 刑事訴訟実務基礎※ 法曹倫理2※
実み	教授	野田 隆史 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 重点演習(民事法2)※ 法曹倫理1※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2 法曹倫理2※
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	堀田 尚徳 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		刑事訴訟法1 刑事訴訟法2 刑事訴訟法1演習 刑事訴訟法2演習 刑事法総合演習※ 重点演習(刑事法3) 法学概論※
専	准教授	安永 祐司 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		民事訴訟法 民事手続法1 民事手続法2 民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 民事執行保全法
専	講師	菊池 亨輔 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		法学概論※ 法的思考法 法理学
実専	教授	小濱 意三 ＜令和2年4月＞ 法学士
		基礎演習3※ 民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2 模擬裁判 リーガル・クリニック エクスターンシップ ローヤリング
実み	教授	田上 剛 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		重点演習(刑事法1)※ 重点演習(刑事法4) 法曹倫理1※ 刑事訴訟実務基礎※ 法曹倫理2※
実み	教授	野田 隆史 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 重点演習(民事法2)※ 法曹倫理1※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2 法曹倫理2※
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
		川野 徳幸 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一朗 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		張 峻屹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 ＜令和2年4月＞ 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 ＜令和2年4月＞ (PhD in Law) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	教授	金子 慎治 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		市橋 勝 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士 Hiroshimaから世界平和を考える※
		川野 徳幸 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	志賀 賢治 ＜令和2年4月＞ 学士(法学) Hiroshimaから世界平和を考える※
		保田 浩志 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	教授	吉田 雄一朗 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		張 峻屹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 ＜令和2年4月＞ 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 ＜令和2年4月＞ (PhD in Law) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	教授	金子 慎治 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		市橋 勝 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	清水 欽也 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 純子 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森山(奥本) 美知子 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL ＜令和2年4月＞ 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	関 恒樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	馬場 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 ＜令和2年4月＞ 農学博士
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	石田 洋子 ＜令和2年4月＞ 博士(国際協力学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	小池 一彦 ＜令和2年4月＞ 博士(水産学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	清水 欽也 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	田中 純子 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森山(奥本) 美知子 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL ＜令和2年4月＞ 農学博士
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	関 恒樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
兼任	教授	馬場 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	実岡 寛文 ＜令和2年4月＞ 農学博士
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	石田 洋子 ＜令和2年4月＞ 博士(国際協力学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	永田 良太 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	教授	小池 一彦 ＜令和2年4月＞ 博士(水産学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河合 研空 ＜令和2年4月＞ 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 ＜令和2年4月＞ 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	坂田 桐子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) データリテラシー※
		工藤 美樹 ＜令和2年4月＞ 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	有廣 光司 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		粟井 和夫 ＜令和2年4月＞ 医学博士 医療情報リテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼任	教授	三須 敏幸 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) 人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報セキュリティ※
		森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河合 研空 ＜令和2年4月＞ 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 ＜令和2年4月＞ 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼任	教授	坂田 桐子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 ＜令和2年4月＞ 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼任	教授	柳原 宏和 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) データリテラシー※
兼任	教授	久保 達彦 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		吉村 健一 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学) 医療情報リテラシー※
兼任	教授	森 玲子 ＜令和2年4月＞ M.A(Social Science) 人文社会系キャリアマネジメント
兼任	教授	西村 浩二 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 情報セキュリティ※
		森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学) 人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ 外国の博士号
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	永山 博之 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	江頭 大藏 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		MOT入門
兼任	准教授	山根 達郎 ＜令和2年4月＞ 博士(国際公共政策)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	小宮山 道夫 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		SDGsへの学問的アプローチA※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	安嶋 紀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ 外国の博士号
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	宮永 文雄 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	永山 博之 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	江頭 大藏 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		MOT入門
兼任	准教授	山根 達郎 ＜令和2年4月＞ 博士(国際公共政策)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	小宮山 道夫 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	友次 晋介 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	VAN DER DOES LULI ＜令和2年4月＞ PhD (Social Sciences) (英国)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		SDGsへの学問的アプローチA※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐野 浩一郎 <令和2年4月> 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※
		日比野 忠史 <令和2年4月> 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	准教授	長谷川 祐治 <令和2年4月> 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※
		木下 博義 <令和2年4月> 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	永田 忠道 <令和2年4月> 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
		(ヘイズ) 櫻井 里穂 <令和2年4月> 博士(教育理論政策学) (米国) ダイバーシティの理解※
兼任	准教授	宮尾 淳一 <令和2年4月> 工学博士 データリテラシー※
兼任	准教授	森野 豊之 <令和2年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		大上 直秀 <令和2年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 <令和2年4月> PhD (Management) (米国) アントレプレナーシップ概論
		後藤 雄太 <令和2年4月> 博士(文学) 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 <令和2年4月> 博士(文学) 人間社会科学特別講義※
		大河内 治 <令和2年4月> Ph. D. (経済学) 人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐野 浩一郎 <令和2年4月> 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※
		日比野 忠史 <令和2年4月> 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	准教授	長谷川 祐治 <令和2年4月> 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※
		木下 博義 <令和2年4月> 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
兼任	准教授	永田 忠道 <令和2年4月> 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
		(ヘイズ) 櫻井 里穂 <令和2年4月> 博士(教育理論政策学) (米国) ダイバーシティの理解※
兼任	准教授	
		伊森 晋平 <令和2年4月> 博士(理学) データリテラシー※
兼任	准教授	
		大上 直秀 <令和2年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 <令和2年4月> PhD (Management) (米国) アントレプレナーシップ概論
		後藤 雄太 <令和2年4月> 博士(文学) 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 <令和2年4月> 博士(文学) 人間社会科学特別講義※
		大河内 治 <令和2年4月> Ph. D. (経済学) 人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	岩沢 和男 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	金 宰ウク ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	畑 浩人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		法社会学
兼担	助教	北梶 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼任	教授	田邊 誠 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		民事訴訟法 民事手続法1 民事手続法2 民事法総合演習※ 重点演習(民事法1)※ 民事執行保全法
兼任	教授	小笹 晃太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 剛 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	中矢(諏訪) 礼美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	岩沢 和男 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		情報セキュリティ※
兼担	講師	三木 大樹 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼担	講師	金 宰ウク ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	講師	畑 浩人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		法社会学
兼担	助教	北梶 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		情報セキュリティ※
兼担	助教	服部 稔 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		ストレスマネジメント
兼任	教授	小笹 晃太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	阿部 伸一 ＜令和2年4月＞ 学士(工学)
		医療情報リテラシー※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原田 淳 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	芥川 宏 ＜令和2年4月＞ 法学士
		重点演習(公法2)※
兼任	教授	廣瀬 裕亮 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		刑事訴訟実務基礎※
兼任	教授	川崎 信文 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		政治学
兼任	教授	風呂橋 誠 ＜令和2年4月＞ 法学士
		消費者法
兼任	教授	並川 雄一 ＜令和2年4月＞ 法学士
		不動産登記法
兼任	教授	原田 武彦 ＜令和2年4月＞ 法学士
		債権回収法
兼任	教授	板倉 集一 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		知的財産法1 知的財産法2
兼任	教授	岩元(菅尾) 裕介 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		民法法総合演習※ 重点演習(民法1)※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2
兼任	教授	中林 啓一 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		国際私法・取引法
兼任	教授	藤本 利一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		倒産処理法1
兼任	教授	小梁 吉章 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		倒産処理法2
兼任	准教授	仲田 誠一 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		税法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	原田 淳 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	芥川 宏 ＜令和2年4月＞ 法学士
		重点演習(公法2)※
兼任	教授	廣瀬 裕亮 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		刑事訴訟実務基礎※
兼任	教授	川崎 信文 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		政治学
兼任	教授	風呂橋 誠 ＜令和2年4月＞ 法学士
		消費者法
兼任	教授	並川 雄一 ＜令和2年4月＞ 法学士
		不動産登記法
兼任	教授	原田 武彦 ＜令和2年4月＞ 法学士
		債権回収法
兼任	教授	板倉 集一 ＜令和2年4月＞ 法学修士
		知的財産法1 知的財産法2
兼任	教授	岩元(菅尾) 裕介 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		民法法総合演習※ 重点演習(民法1)※ 法文書作成※ 民事訴訟実務基礎1 民事訴訟実務基礎2
兼任	教授	中林 啓一 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		国際私法・取引法
兼任	教授	藤本 利一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		倒産処理法1
兼任	教授	小梁 吉章 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		倒産処理法2
兼任	准教授	仲田 誠一 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		税法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	村岡 亮 ＜令和2年4月＞ 法学士
		税法
兼任	准教授	大島 義則 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		公法実務基礎※
兼任	准教授	伊藤 建 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		公法実務基礎※
兼任	講師	三角 幸子 ＜令和2年4月＞ 修士(経営学)
		Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	講師	隈元 美穂子 ＜令和2年4月＞ 修士(経営開発学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	川本 亮之 ＜令和2年4月＞ 学士(社会学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	村岡 亮 ＜令和2年4月＞ 法学士
		税法
兼任	准教授	大島 義則 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		公法実務基礎※
兼任	准教授	伊藤 建 ＜令和2年4月＞ 法務博士(専門職)
		公法実務基礎※
兼任	講師	隈元 美穂子 ＜令和2年4月＞ 修士(経営開発学)
		SDGsへの学問的アプローチA※
兼任	講師	原山 優子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<p><専任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年4月安永祐司准教授就任 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・志賀賢治教授, 保田浩志教授, 吉村健一教授, 森玲子教授, 友次晋介准教授, VAN DER DOES LULI准教授, 伊森晋平准教授, 三木大樹講師, 服部稔助教が兼任教員として就任。・工藤美樹教授, 有廣光司教授, 粟井和夫教授, 三須敏幸教授, 宮尾淳一准教授, 森野豊之准教授を担当から削除。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">・阿部伸一教授が兼任教員として就任。・田邊誠教授, 田中剛教授, 三角幸子講師, 川本亮之講師を担当から削除。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 者教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
12	6	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
14	1	1	0	16	0	15	2	1	0	18	0
(15)	(2)	(1)	(0)	(18)	(0)						
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
13	3	0				15	3	0			
(15)	(3)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	2	1	0	17	0	14	3	1	0	18	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[2]	[0]	[0]	[2]	[0]
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
14	3	0				15	3	0			
[1]	[0]	[0]				[2]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{16} = \boxed{106.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{16} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和元年)	<p>同一研究科内で、実務法学プログラムの英語名称のみ「Program in」を使用しており統一性が無く、誤解を招く表現でもあるため適切に改めることが望まれる。</p> <p>大学院共通科目が本研究科の目的を達成するように、教育内容の充実や質の向上に努めること。なお、各学問分野の専門性の質とともに、学際的にすることによる教育効果並びに専門教育と学際的教育を実施することによる相乗効果について担保すること。</p> <p>教員の年間最大担当単位数の上限を設定するなど、単位数とともに、実習指導の時間も含めて、教員負担が過度にならないように努めること。</p>	<p>助言事項 「Program for Law Practice Professionals」に変更した。 同じ専門職学位プログラムである教育開発プログラムとの統一性を図った。</p> <p>遵守事項 本研究科の2つのミッション、すなわち「人間と社会のための諸科学の追求」と「教育による持続可能で平和な世界の構築を目指す」に沿った人材育成の観点から、個々の学生にとって必要な大学院共通科目の履修を指導している。授業では、「異分野の学生が同じ場で学ぶ機会」を提供している。</p> <p>助言事項 本専攻教員の最大担当単位数は、年間約9単位であり、教員負担が過度にならないよう配慮している。</p>	<p>履行済</p> <p>履行中</p> <p>履行済</p>	<p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に立ち上げる。大学院共通科目についても、必要に応じて検討し、その充実に向けた要望等を、全学の関連部署に提出する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間社会科学研究科 実務法学専攻（専門職学位課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【民事手続法1 科目の概要】 受講者が民事訴訟の第一審手続の流れを理解していることを前提とする。前半では、法科大学院の1年生（または法学部）の民事訴訟法の講義では詳細に扱うことが難しい分野である多数当事者訴訟（共同訴訟・訴訟参加）、訴訟係属中の新たな訴えの提起（訴えの変更・反訴など）、上訴・再審（概論）について講義をし、後半では、既判力を中心とする判決の効力、処分権主義・弁論主義など、受講者の多くが難解と感じる事項について、民事訴訟法の判例百選等に取り上げられている重要な判例を教材として、掘り下げた内容を含む講義をする。 この講義は、受講者が、具体的な事例に含まれる民事訴訟法の基本的な論点を発見し、適切な対応策を考えることができることを目標とする。</p> <p>【民事手続法2 科目の概要】 受講者が民事訴訟の第一審手続の流れを理解していることを前提とする。講義の対象は、法律上の争訟、民事裁判権の範囲、裁判を受ける権利（非訟事件における手続保障）、当事者能力、訴訟能力、当事者適格（第三者による訴訟担当）、訴えの利益、重複提訴の禁止、訴訟における証明、証拠調べ（人証・物証）、人事訴訟、上訴・再審（詳論）の各事項で、民事訴訟法の判例百選等に取り上げられている判例を教材として、掘り下げた内容を含む講義をする。 この講義の履修後、受講者には、民事訴訟の具体的な事例から民事訴訟法の論点を発見し、適切な対応策について論理的に説明できることが期待される。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日までは、対面による授業は中止し、オンラインで授業を実施している。(2)</p> <p>※民事手続法1の科目の概要を教育効果を高めるために変更した。具体的には、多数当事者訴訟等を2年生後期で開講する民事手続法2に移し、訴訟における証明、証拠調べ等を2年生前期で開講する民事訴訟法1に移した。(2)</p> <p>【民事訴訟法1 科目の概要】 民事訴訟の第一審手続の基本的な構造・流れを最初の数回で確認する。以後これを前提とし、処分権主義・弁論主義、訴訟における証明、証拠調べ（人証・物証）、既判力を中心とする判決の効力など、受講者の多くが難解と感じる事項について、民事訴訟法の判例百選等に取り上げられている重要な判例を教材として、掘り下げた内容を含む講義をする。 この講義は、受講者が、具体的な事例に含まれる民事訴訟法の基本的な論点を発見し、適切な対応策を考えることができることを目標とする。</p> <p>※民事手続法2の科目の概要を教育効果を高めるために変更した。具体的には、訴訟における証明、証拠調べ等を2年生前期で開講する民事訴訟法1に移し、多数当事者訴訟等を2年生後期で開講する民事手続法2に移した。(2)</p> <p>【民事訴訟法2 科目の概要】 基本的に受講者が民事訴訟の第一審手続の構造・流れ及び民事手続法1の授業内容を理解していることを前提とするが、適宜復習のための機会も設ける。講義の主たる対象は、実体法上の権利・義務の主体以外の第三者や権利能力なき社団が訴訟に関与する場面や法科大学院の1年生（または法学部）の民事訴訟法の講義では詳細に扱うことが難しい分野である多数当事者訴訟（共同訴訟・訴訟参加）の場面といった応用問題である。そのほか、法律上の争訟、民事裁判権の範囲、裁判を受ける権利（非訟事件における手続保障）も取り扱う。民事訴訟法の判例百選等に取り上げられている判例を教材として、掘り下げた内容を含む講義をする。 この講義の履修後、受講者には、民事訴訟の具体的な事例から民事訴訟法の論点を発見し、適切な対応策について論理的に説明できることが期待される。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・実務法学専攻評価委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和2年4月に第1回を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期した。（年間3回程度開催予定）

c 委員会の審議事項等

次に掲げる事項について点検・評価を行う。

- (1) 中期目標、中期計画及び年度計画に関すること。
- (2) 外部評価に関すること。
- (3) 教員の個人評価に関すること。
- (4) 自己点検評価報告書の作成に関すること。
- (5) その他点検・評価に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・実務法学専攻教育方法等改善研修会（FD）
- ・教員相互の授業参観
- ・全学FD研修会
- ・新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・実務法学専攻独自で実施するFDへの参加（専攻内専任教員対象）
- ・教員相互に授業を参観
- ・全学で実施するFDへの参加
- ・全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加
- ・学生による授業改善アンケート

c 開催状況（教員の参加状況含む）

実務法学専攻FDについては令和2年4月に実施予定（以後、月1回程度で実施予定）であったが、新型コロナウイルス感染症に対する対応として、令和2年5月以降に延期した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図る。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。

併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

令和2年4月1日に、広島大学人間社会科学部実務法学専攻教育課程連携協議会を設置した。

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

9月、2月に開催予定

c 委員会の審議事項等

次に掲げる事項について、学長の諮問に応じて意見を述べる。

- (1) 授業科目の開発及び開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項。
- (2) 授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項。
- (3) その他研究科の教育課程及びその自己点検・評価に関する重要事項。

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

- ・令和2年9月に開催予定のため次年度以降記載予定

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- ・令和2年9月に開催予定のため次年度以降記載予定

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

- ・令和2年9月に開催予定のため次年度以降記載予定

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・今年度開設のため次年度以降記載予定

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・現在検討中

b 公表方法

- ・現在検討中

③ 認証評価を受ける計画

- ・法科大学院認証評価（令和5年） 受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有]

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。